TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝デジタル複合機

スキャンガイド

GA-1200J

●このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
●お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機 e-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この「スキャンガイド」は、以下のオプションを装着したe-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207用の説明書です。

- ネットワークプリンタユニット
- スキャナアップグレードキット
- 拡張キーボード

なお、上記オプションに加えて、ファクスキットを装着した場合に利用できる機能についても説明しています。

この「スキャンガイド」は、本機の色々なスキャン機能の利用方法や、TWAIN機能を利用するための、クライアントソフトウェアのインストール方法について説明しています。
スキャン機能を利用するために必要となる、本機やネットワークサーバーの設定方法については、以下の取扱説明書を参照してください。

- **ネットワーク管理ガイド[印刷編]**
- **ネットワーク管理ガイド[スキャン編]**
- **設定ガイド[印刷編]**
- **設定ガイド[スキャン編]**

また、お使いのコンピュータ、アプリケーションソフトウェア、ネットワークの設定方法や使用方法については、それぞれの製品に付属している取扱説明書を参照してください。

スキャン機能を使用する前に、本書をよくお読みください。また、本書をお手元に置いて、大切に保管してください。

使用許諾契約書

この契約は、お客様と東芝テック株式会社(以下「東芝テック」という)および/または東芝テックのサプライヤー(以下「サプライヤー」という)との間の契約です。ソフトウェアパッケージを開封するか或いはソフトウェアの使用を開始する事をもってお客様はこの契約に同意したことになります。契約条項を承認できない場合は、速やかにソフトウェアパッケージ及びマニュアル等の付属品をご返送ください。
ソフトウェアならびに印刷物(マニュアルなどの文書)の著作権を含む知的財産権その他権利は「東芝テック」(東京都品川区東五反田2丁目17番2号)および/または「サプライヤー」が保有しております。

1.定義

"ソフトウェア"とはプリンタドライバソフトウェア, TWAINドライバソフトウェアおよび本製品と一緒に提供されるCDに含まれるソフトウェアをいいます。
"指定機器"とは、お客様がソフトウェアと共に購入した本製品を言います。

2.使用許諾

お客様は、指定機器の各種機能を動作させる目的にのみソフトウェアを使用することができます。
お客様はソフトウェアを貸与またはリースすることはできません。
お客様は、本契約条項に明示されている場合を除き、ソフトウェアを使用、複製、修正、逆コンパイル、逆アセンブル又はその他いかなる方法によってもソフトウェアを変更することはできません。
前号の規程にかかわらず、お客様はバックアップ用としてソフトウェアを一部複製することができます。尚、複製物に含まれる著作権表示について、修正、削除等は行うことができません。
お客様は、ソフトウェアに付随するマニュアル及びその他印刷物を複製できません。

3.期間

お客様は、「東芝テック」および/または「サプライヤー」に対し文書にて通知することにより、いつでもこの契約を解約することができます。また、お客様がこの契約の条項に違反した場合には、この契約は自動的に解除されます。いずれの場合も、お客様には、「東芝テック」および/または「サプライヤー」からの連絡内容に従って、ソフトウェア及びそのバックアップを破棄もしくは返却していただきます。

4.保証

①「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、お客様が、ソフトウェアと共に　本製品を購入した日から90日以内は、ソフトウェアが記録されている媒体が通常の使用においては、材質、製造上、もしくは記録上の欠陥がないことを保証します。
②「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、ソフトウェアに含まれる機能がお客様の要件を満たしていること及びソフトウェアの動作が常に欠陥のない状態であることを保証するものではありません。
③「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、本項目上記①の保証以外はいかなる場合においても、明示又黙示の保証や表明をせず、一切責任を負いません。ソフトウェアに関し、第三者の権利の不侵害および、商品適合性またはある特定の使用目的への適合性を含み、またこれに限定せず、いかなる黙示の保証も否認されます。
④「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、ソフトウェアの使用または使用不能から発生する直接、間接、特別、偶発的または付随的障害につき、かかる損害を含み、またこれに限定せず、いかなる損害に対する補償を一切いたしません。

5.一般事項

お客様は、ソフトウェアについて、第三者に使用権を設定し、または譲渡することはできません。
お客様は、本契約をお読みになり、上記の条項を承認したことをご確認されたものとし、さらに本契約は、ソフトウェアに関する唯一完全な契約であり、かつ、本契約はお客様が本契約の主要事項に関連して受け取ったいかなる情報にも優先することに同意されたものとします。
本契約は日本国の法律あるいは、「サプライヤー」の選択により、本契約により生じた紛争及び本契約に関連する紛争に関して、関連する「サプライヤー」の指定した国の法律に準拠するものとします。

本書をお読みになる前に

取扱説明書の構成

e-STUDIO165/205またはe-STUDIO167/207の取扱説明書は、以下のように構成されています。目的に応じて適切な取扱説明書をお読みください。なお、本書は**スキャンガイド**です。

基本機能

取扱説明書[コピー編](冊子)
コピー機能を中心に、本機の基本的な使いかたを説明しています。また、必ず守っていただきたい安全上のご注意も記載しています。本機を使用する前に必ずお読みください。

ファクス機能

ファクス機能を使用するためには、オプションのファクスキットGD-1221Jが必要です。

取扱説明書[ファクス編](冊子)
ファクス機能の使いかたを説明しています。ファクスの送信/受信に関して、基本的なものから応用的なものまで、あらゆる機能を使用することができます。

印刷機能

印刷機能を使用するためには、オプションのネットワークプリンタユニットGA-1190Jが必要です。

クイックスタートガイド[印刷編](冊子)
GA-1190Jの付属品、必要な環境条件、ネットワークの接続概要など、印刷機能に関する基本的なことを説明しています。また、トラブルシューティングについても記載しています。印刷機能を使用する前に必ずお読みください。

ネットワーク管理ガイド[印刷編](PDFファイル)
ネットワークの接続、各コンポーネントの設定など、ネットワークを構築して印刷機能を使用するために必要なことを説明しています。

設定ガイド[印刷編](PDFファイル)

本書は、以下のような2部編成になっています。

本体編:　本機の操作パネルによる印刷関連の設定方法について説明しています。

TopAccess編:　付属ユーティリティ「TopAccess」の使いかたを説明しています。Webブラウザを利用して本機の設定や管理を行うことができます。

印刷ガイド(PDFファイル)

クライアントソフトウェアのインストール、プリンタドライバの使いかたなど、コンピュータから本機へ印刷するために必要なことを説明しています。

ネットワークファクスガイド(PDFファイル)

クライアントソフトウェアのインストール、N/W-Faxドライバの使いかた、付属アプリケーションソフトウェア「AddressBook Viewer」の使いかたなど、コンピュータからネットワークを経由してファクス送信するために必要なことを説明しています。

スキャン機能

スキャン機能を使用するためには、オプションのスキャナアップグレードキットGA-1200Jが必要です。

クイックスタートガイド[スキャン編](PDFファイル)

GA-1200Jの付属品、必要な環境条件、ネットワークの接続概要など、スキャン機能に関する基本的なことを説明しています。また、トラブルシューティングについても記載しています。スキャン機能を使用する前に必ずお読みください。

ネットワーク管理ガイド[スキャン編](PDFファイル)

ネットワークの接続、各コンポーネントの設定など、ネットワークを構築してスキャン機能を使用するために必要なことを説明しています。

設定ガイド[スキャン編](PDFファイル)

本書は、以下のような2部編成になっています。

本体編:　本機の操作パネルによるスキャン関連の設定方法について説明しています。

TopAccess編:　付属ユーティリティ「TopAccess」の使いかたを説明しています。Webブラウザを利用して本機の設定や管理を行うことができます。

スキャンガイド(PDFファイル、本書です)

TWAINドライバのインストールや使いかた、各種スキャン機能の使いかたなど、本機でスキャン機能を使用するために必要なことを説明しています。

PDFファイル形式の取扱説明書を読むには

PDF(Portable Document Format)ファイル形式の取扱説明書は、コンピュータにインストールされたAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerにより表示/印刷することができます。お使いになるコンピュータにAdobe ReaderまたはAdobe Acrobat Readerがインストールされていない場合は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードするなどして、あらかじめインストールしておいてください。

本書の読みかた

本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

注 意　操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。

補 足　操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。

関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

商標について

- Windows 98の正式名称は、Microsoft Windows 98 Operating Systemです。
- Windows Meの正式名称は、Microsoft Windows Me Operating Systemです。
- Windows 2000の正式名称は、Microsoft Windows 2000 Operating Systemです。
- Windows XPの正式名称は、Microsoft Windows XP Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、Safari、TrueTypeおよびLaserWriterは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader およびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Netscapeは、Netscape Communications Corporationの商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の登録商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

©2007, 2008 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved
本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。本書中の情報の使用については特許に関する法的責任は生じないものとします。

目次

はじめに 1

使用許諾契約書 2

本書をお読みになる前に 4

第1章　概要

スキャン機能について 12

Eメール送信 12

ネットワークフォルダに保管 12

画像を取り込む 13

スキャン速度について 13

ファクスを利用するスキャン機能について 14

インターネットファクス 14

オンランプゲートウェイ 15

オフランプゲートウェイ 16

Scan Utilities CD-ROMについて 17

操作パネルの名称と働き 18

本体操作パネル 18

拡張キーボード（オプション） 21

ブックパネル 22

第2章　Eメール送信

Eメール送信について 26

Eメール送信の操作手順 27

第3章　ネットワークフォルダに保管

ネットワークフォルダに保管する 32

ネットワークフォルダに保管するための操作手順 33

第4章　画像を取り込む

TWAINドライバで画像を取り込む 38

TWAINドライバの必要条件 38

TWAINドライバのインストール 40

TWAINドライバのアンインストール 42

本機の操作パネルでの操作 44

TWAINドライバでの画像の取り込み 47

はじめてTWAINドライバを起動するとき 49

検索して接続を設定する 49
手動で接続を設定する 52

メインウィンドウの使用方法 54
ボックス文書を削除する 56
ボックス／文書／ページのプロパティを表示する 57
新規デバイスを追加する 61
ボックス文書の取り込み先のデバイスを変更する 61

第5章　テンプレート

テンプレートについて 64

テンプレートの操作手順 65

第6章　インターネットファクス

インターネットファクスについて 68

インターネットファクス使用上のご注意 69

インターネットファクスを送信する 70

インターネットファクスを受信する 73
自動受信 73
手動受信 74

第7章　オンランプゲートウェイ

オンランプゲートウェイについて 76

第8章　オフランプゲートウェイ

オフランプゲートウェイについて 78

第9章　スキャン機能の設定

スキャン機能の設定について 80
解像度を変更する 80
ファイル名を入力する 81
ファイル形式を変更する 82
ファイルの保存先を変更する 82
両面原稿をスキャンする 83
原稿サイズを混載してスキャンする 83
画像回転をオンにする 84

第10章　宛先の指定方法

宛先の指定方法について **86**
直接入力 86
ワンタッチボタン 87
短縮番号 88
ID検索 89
グループ番号 91
送信履歴 92
受信履歴 93
同報（マルチ） 94
同報（マルチ）の宛先確認 **96**
指定した宛先を確認する 96
指定した宛先を取り消す 96
指定した宛先を修正する 97

第11章　電話帳に登録する

電話帳に登録する方法について **100**
文字入力のしかた 100
局名の入力 101
Eメールアドレスの入力 110
ダイヤル登録のしかた **111**
短縮番号の登録 111
ワンタッチ番号の登録 116
グループ番号の登録 120
グループの宛先確認 125

第12章　トラブルシューティング

TWAINドライバエラー **128**
TWAINドライバエラー状況 128

第13章　付録

ダイヤルリスト **132**
短縮番号リスト 133
グループ番号リスト 134
ワンタッチリスト 135
スキャン結果の確認 **136**
通信管理記録（ジャーナル）による確認 136
メッセージ表示パネルによる確認 139
送信レポート（メモリ送信結果表） **140**

エラーコード表 141
文字コード表 146

索引 151

1

概要

スキャン機能の概要について説明しています。

スキャン機能について 12
Eメール送信 12
ネットワークフォルダに保管 12
画像を取り込む 13
スキャン速度について 13

ファクスを利用するスキャン機能について 14
インターネットファクス 14
オンランプゲートウェイ 15
オフランプゲートウェイ 16

Scan Utilities CD-ROMについて 17

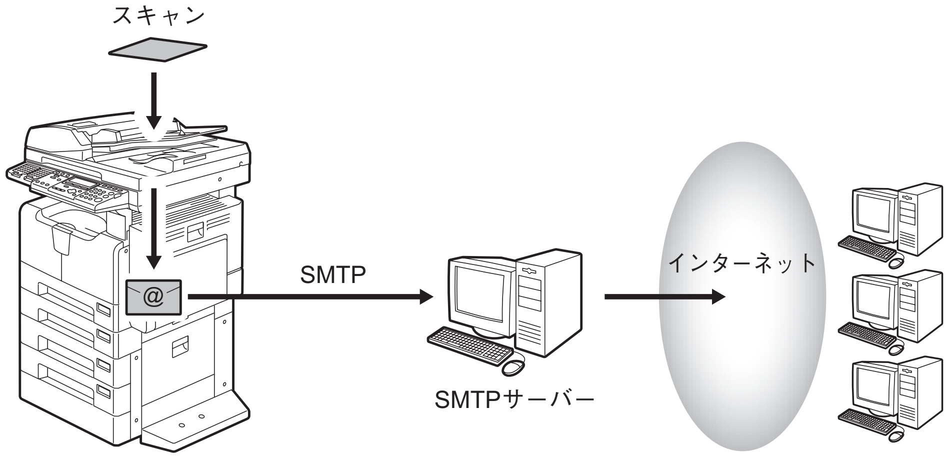
操作パネルの名称と働き 18
本体操作パネル 18
拡張キーボード(オプション) 21
ブックパネル 22

スキャン機能について

スキャン機能の概要について説明します。

Eメール送信

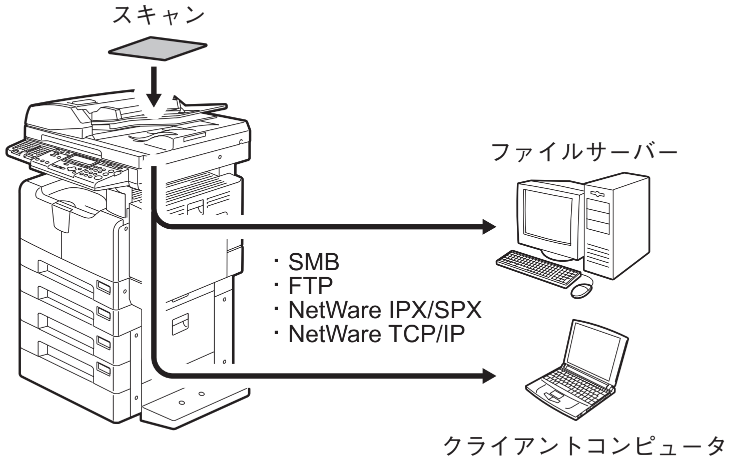
スキャンした画像を、指定したEメールアドレスへ送信することができます。画像をTIFF形式またはPDF形式のファイルに変換し、Eメールの添付ファイルとして送信します。



「Eメール送信」の操作方法は、📖 P.25「Eメール送信」を参照してください。

ネットワークフォルダに保管

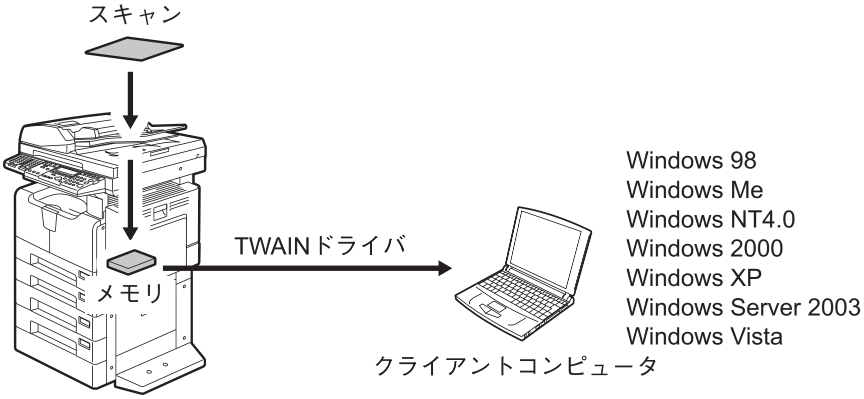
スキャンした画像を、クライアントコンピュータやFTPサーバーなどに、TIFF形式やPDF形式のファイルとして保存できます。



「ネットワークフォルダに保管」の操作方法は、📖 P.31「ネットワークフォルダに保管」を参照してください。

画像を取り込む

スキャンした画像を、TWAIN対応アプリケーションソフトウェアを使用して、本機からクライアントコンピュータへ取り込むことができます。なお、この機能を使用するためには、事前に付属のTWAINドライバを本機へインストールしておくことが必要です。



「画像を取り込む」の操作方法は、📖 P.37「画像を取り込む」を参照してください。

注 意

Macintoshコンピュータおよび UNIXワークステーションでは、TWAINデータの保存機能を使用することはできません。

スキャン速度について

スキャン速度は、解像度および原稿内容（スキャンデータの容量）によって異なります。
各解像度におけるスキャン速度は以下のとおりです。ただし、これらの値は原稿内容によって増減することがありますので、画像を読み込むときの目安として参考にしてください。

解像度	スキャン速度
150dpi 200dpi 300dpi 400dpi	約20 ページ／分
600dpi	約14 ページ／分

ファクスを利用するスキャン機能について

ファクスキット（GD-1221J）を装着することで、さらに便利な機能をお使いいただけます。

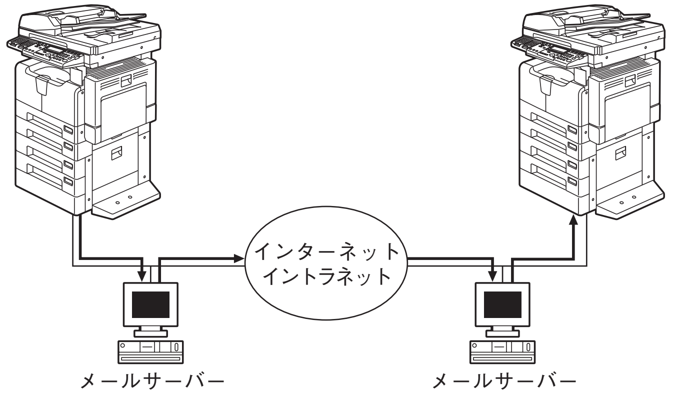
補 足

オプションのファクスキットが必要です。

インターネットファクス

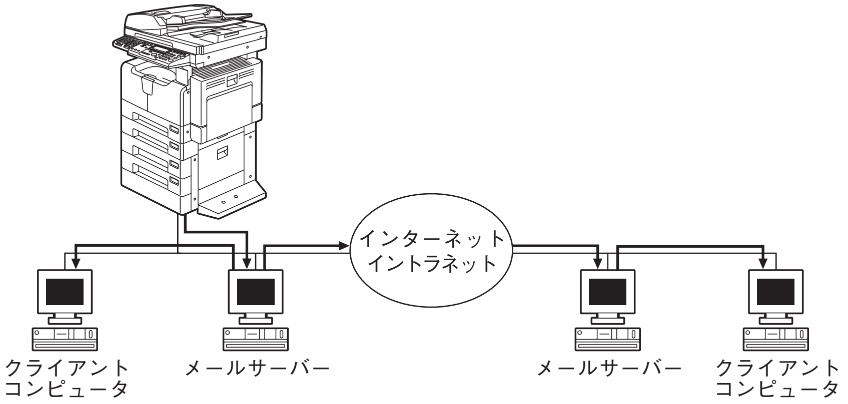
読み込んだ画像をTIFF-FX（Profile S）形式のファイルにし、Eメールの添付ファイルとして送受信することができます。公衆回線を使用しないため、通信費を低減することができます。インターネットファクス機とクライアントコンピュータのどちらにも送信できます。

- インターネットファクス機 → インターネットファクス機



→ Eメール通信
― LAN

- インターネットファクス機 → クライアントコンピュータ

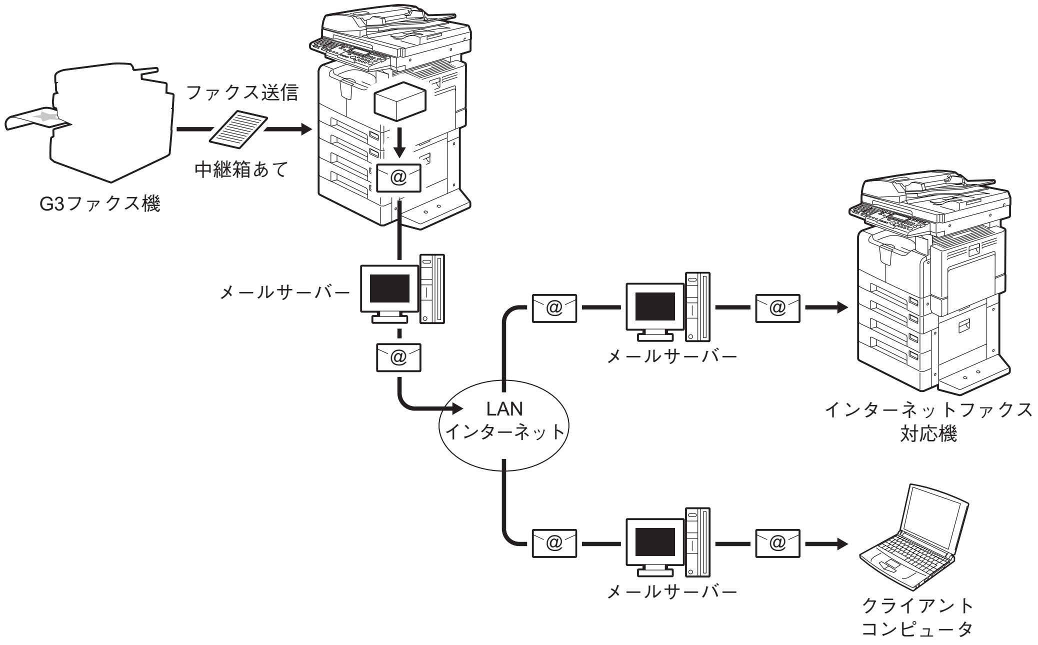


→ Eメール通信
― LAN

インターネットファクスの操作方法は、📖 P.67「インターネットファクス」を参照してください。

オンランプゲートウェイ

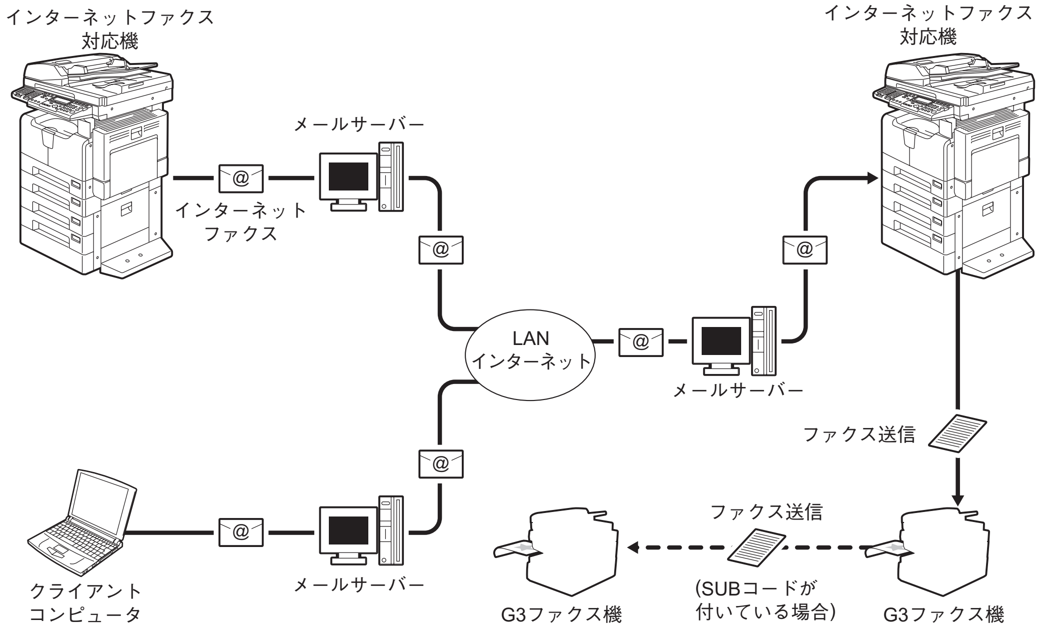
G3ファクスから送信されたファクスを、本機の中継箱を経由して、中継箱に登録されたEメールアドレスに、インターネットファクスで送信する機能です。
中継箱の設定が必要です。



オンランプゲートウェイの操作方法は、P.75「オンランプゲートウェイ」を参照してください。

オフランプゲートウェイ

本機あてに送信されたインターネットファクスを、他のファクスにファクス送信します。最終宛先がインターネットファクス非対応機であるようなときに、公衆回線を使う距離を短くすることで、通信費を低減することができます



オフランプゲートウェイの操作方法は、P.77「オフランプゲートウェイ」を参照してください。

Scan Utilities CD-ROMについて

Scan Utilities CD-ROMには、以下のコンテンツが収録されています。

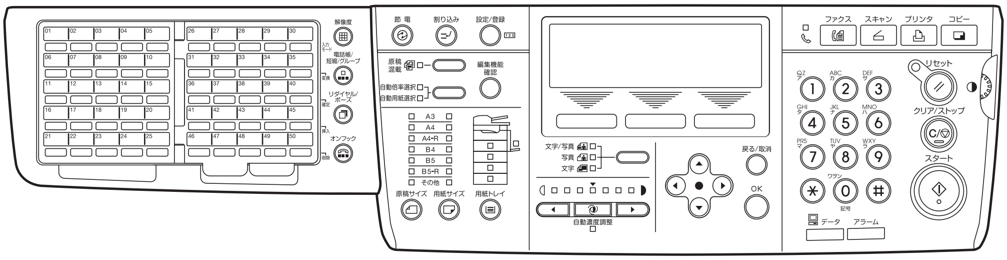
クライアントソフトウェア・インストーラ

[Scan Utilities CD-ROM]: ￥setup.exe
お使いのコンピュータに、TWAINドライバをインストールするための、セットアッププログラムです。

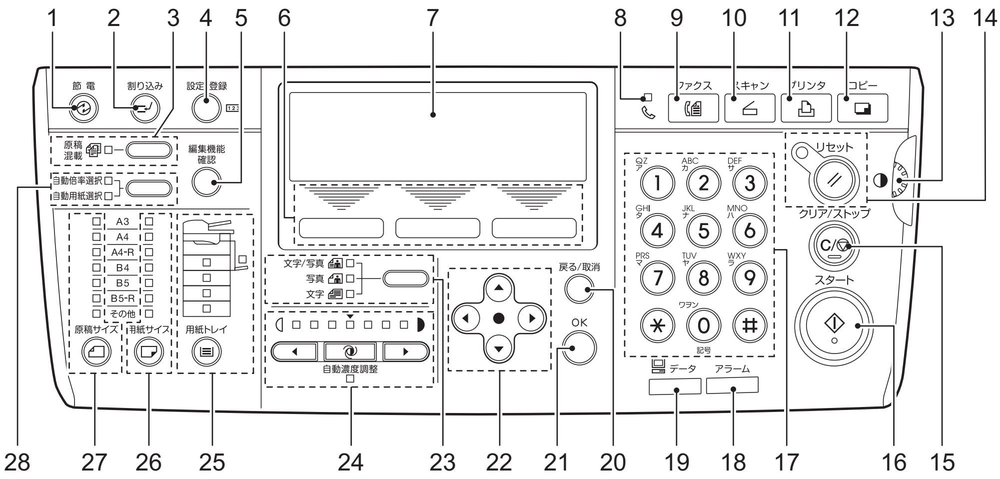
TWAINドライバ

[Scan Utilities CD-ROM]: ￥TWAIN￥＜language＞

操作パネルの名称と働き



本体操作パネル



1. [節電] ボタン

しばらくの間使用しないときにこのボタンを押すと、本装置は節電モードとなり、メッセージ表示パネルおよび他のランプはオフ状態となります。
もう一度このボタンを押すことにより節電モードは解除され、通常モードに戻ります。
以下の場合にも、節電モードが解除され、通常モードに戻ります。

- 印刷データ受信時
- インターネットファクスやEメール受信印刷時
- ファクス受信時（オプションのファクスキットが必要です）

2. [割り込み] ボタン

すでに始まっているコピー動作の途中で、別の原稿のコピーをしたいときに押します。もう1回このボタンを押すと、元の状態に戻りコピーを継続することができます。
＊ スキャンモードでは使用しません。

3. [原稿混載] ボタン

サイズが異なる原稿をコピーするときに押します。
＊ スキャンモードでは使用しません。

4. [設定/登録] ボタン

本機の初期設定を変更するときに押します。

5. [編集機能確認]ボタン

現在設定されているコピー機能を確認するときに押します。

＊ スキャンモードでは使用しません。

6. セレクトボタン

コピーメニュー操作時に使用します。各ボタンに対応する操作はメッセージ表示パネルの下段に表示されます。詳細は、**取扱説明書[コピー編]**を参照してください。

＊ スキャンモードでは使用しません。

7. メッセージ表示パネル

本機の状態や操作手順、ユーザに対する各種の指示等（操作メニュー、動作状況、時刻、電話番号、局名）を文字と絵で表示します。

8. ファクス通信ランプ

ファクス通信中に点滅します。また、FAXハンドセット（オプション）や外付け電話機の受話器を取ったときにも点滅します。

オプションのファクスキット（GD-1221J）が必要です。

9. [ファクス]ボタン

インターネットファクスモードを選択するときに押します。

オプションのファクスキット（GD-1221J）が必要です。

10. [スキャン]ボタン

スキャンモードに切り替えるときに押します。

11. [プリンタ]ボタン

印刷ジョブを中止するときなどに使用します。詳細は、**設定ガイド[印刷編]**を参照してください。

＊ スキャンモードでは使用しません。

12. [コピー]ボタン

コピーモードに切り替えるときに押します。

＊ スキャンモードでは使用しません。

13. コントラスト調整つまみ

メッセージ表示パネルの明るさを調整します。

14. [リセット]ボタン

設定したすべての通信付加機能メニューなどをクリアし、初期設定に戻すことができます。また、エラー表示を消すときに押します。

補 足

オートクリア

[リセット]ボタンを押さなくても、スキャン終了時または最後にボタンが押されてからオートクリア設定時間（出荷時設定45秒）が経過すると、自動的に初期設定へ戻って基本画面が表示されます。なお、部門管理機能を使用中は、部門コード入力画面に戻ります。詳細は、**取扱説明書[コピー編]**を参照してください。

15. [クリア/ストップ]ボタン
操作や原稿送信などを途中でストップしたり、エラー表示を消すときに押します。

16. [スタート]ボタン
送信や手動受信、またはスキャンを開始するときに押します。

17. テンキー
0から9までの数字と＊、＃の記号が入力できます。また、電話番号や局名を入力するときに使います。

18. アラームランプ
紙がつまる、トナーがなくなるなどのエラーが生じたときに点滅します。

19. データランプ
ネットワーク経由でプリントデータを送受信しているときに点滅します。

20. [戻る/取消]ボタン
メニュー操作時に、設定を取り消して1つ前の画面に戻ります。

21. [OK]ボタン
操作や設定を確定します。

22. [▲/▼/◀/▶](上下左右)ボタン
メニュー操作時に、設定したい項目を選択します。選択された項目は反転表示されます。

23. 原稿モードボタン
原稿モード(文字/写真、写真、文字)の切り替えができます。また、選択された原稿モードのランプが点灯します。

24. 濃度調整ボタン
画像の濃度を設定します。自動濃度調整時は、 (自動濃度調整)ボタンのランプが点灯します。

25. [用紙トレイ]ボタン
給紙元として使用したいカセットまたは手差しトレイを選択します。現在選択している給紙元のランプが点灯します。また、給紙元の用紙がなくなると、ランプが点滅します。
＊ スキャンモードでは使用しません。

26. [用紙サイズ]ボタン
使用する用紙のサイズを選択します。現在選択しているサイズの用紙がカセットや手差しトレイにセットされていない場合は、ランプが点滅します。
＊ スキャンモードでは使用しません。

27. [原稿サイズ]ボタン
原稿のサイズを指定します。
＊ スキャンモードでは使用しません。

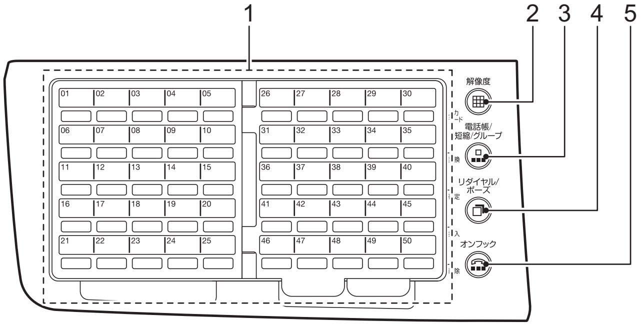
28. [自動用紙選択・自動倍率選択]ボタン

自動用紙選択：セットした原稿のサイズを本機が検知して、同じサイズの用紙を自動的に選択します。

自動倍率選択：使用する用紙のサイズをあらかじめ設定します。セットした原稿のサイズを本機が検知して、用紙のサイズに合ったコピー倍率に自動的に設定します。

＊　スキャンモードでは使用しません。

拡張キーボード（オプション）



1.　ブックパネル・・・P.22ページ

2.　[解像度]ボタン

スキャンするときの解像度（読み取りの細かさ）を設定します。

3.　[電話帳/短縮/グループ]ボタン

宛先を、ID検索、短縮番号やグループ番号で指定するときに押します。

4.　[リダイヤル/ポーズ]ボタン

オンフックまたはFAXハンドセット（オプション）で直前にかけた相手に再びダイヤルするときに押します。ファクスリダイヤル待ちの状態のとき、このボタンによりすぐにダイヤルを開始します。（手動リダイヤル）

また、ポーズ（約3秒の待ち時間）が必要なときに押します。

オプションのファクスキット（GD-1221J）が必要です。

＊　スキャンモードでは使用しません。

5.　[オンフック]ボタン

受話器を取らずにダイヤルするときに使います。

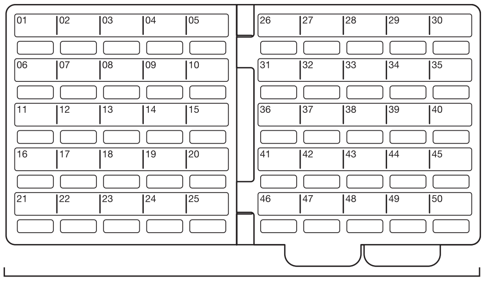
オプションのファクスキット（GD-1221J）が必要です。

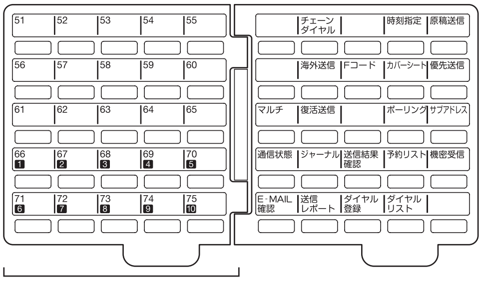
＊　スキャンモードでは使用しません。

ブックパネル

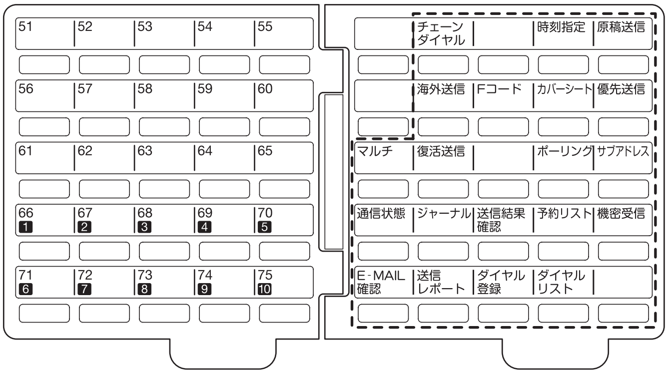
ワンタッチボタン1～75

インターネットファクス/Eメールの送信時、宛先を指定するためのワンタッチボタンとして、1から75までのボタンを使用します。ただし、テンプレート機能を有効にしている場合、66から75までのボタンはテンプレート用として使用します。・・・P.87ページ





ダイレクトファンクションアクセスボタン



1. **チェーンダイヤルボタン**
   複数のダイヤルを組み合わせて送信します。
   オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
   ＊ スキャンモードでは使用しません。

2. **時刻指定ボタン**
   通信予約の日時を指定します。
   オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
   ＊ スキャンモードでは使用しません。

3. **原稿送信ボタン**
   メモリ入力しないで送るときに指定します。
   オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
   ＊ スキャンモードでは使用しません。

4. 海外送信ボタン
通信速度を変更します。
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
＊ スキャンモードでは使用しません。

5. Fコードボタン
Fコード機能を持つファクシミリと、メールボックス通信や中継同報送信を行います。
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
＊ スキャンモードでは使用しません。

6. カバーシートボタン
原稿にカバーシートを付けるとき指定します。
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
＊ スキャンモードでは使用しません。

7. 優先送信ボタン
優先送信予約を行います。
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
＊ スキャンモードでは使用しません。

8. マルチボタン
同報(マルチ)送信するときに押します。
📖 P.94「同報(マルチ)」

9. 復活送信ボタン
通信エラーになったデータを再送信します。
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
＊ スキャンモードでは使用しません。

10. ポーリングボタン
ポーリング通信の指定を行います。
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
＊ スキャンモードでは使用しません。

11. サブアドレスボタン
サブアドレスを付加します。
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
＊ スキャンモードでは使用しません。

12. 通信状態ボタン
通信状態を知りたいとき、通信の中断、通信予約を取り消すときに押します。
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
＊ スキャンモードでは使用しません。

13. ジャーナルボタン
通信管理記録表を印刷します。

14. 送信結果確認ボタン
メッセージ表示パネルに送信結果を表示したうえで、過去150件の送信結果表を印刷します。

15. 予約リストボタン

予約リストを印刷します。
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
＊ スキャンモードでは使用しません。

16. 機密受信ボタン

機密受信の指定を行います。
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。
＊ スキャンモードでは使用しません。

17. E-MAIL確認ボタン

E-MAILやインターネットファクスの受信確認を行います。
📖 P.74「手動受信」
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。

18. 送信レポートボタン

1件分の送信レポートを印刷します。
オプションのファクスキット(GD-1221J)が必要です。

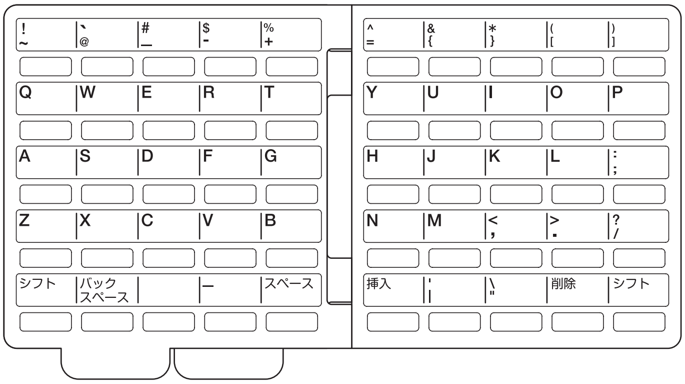
19. ダイヤル登録ボタン

短縮番号、ワンタッチ番号、グループ番号の登録を行います。
📖 P.111「ダイヤル登録のしかた」

20. ダイヤルリストボタン

登録した短縮番号、ワンタッチ番号、グループ番号などのリストを印刷します。
📖 P.132「ダイヤルリスト」

キーボード



Eメールアドレスの入力を行います。
📖 P.110「Eメールアドレスの入力」

2

Eメール送信

スキャンした画像をEメールに添付して送信する方法について説明しています。

Eメール送信について 26

Eメール送信の操作手順..27

Eメール送信について

スキャンした画像を、マルチページのTIFF形式やPDF形式のファイルとして、Eメールに添付して送信することができます。
読み込むときに、画像濃度や解像度などを変更できます。
最大30MBまでのファイルを送信できます。大きなファイルを分割して送信することもできます。分割して送信したファイルは、受信されるときに1つのファイルに復元されます。
1つのEメールを、同時に最大375件に送信できます。

補足

- Eメールを送信するためのネットワーク設定が必要です。スキャンに関係するネットワーク設定の詳細は、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。その他のネットワーク設定は、**設定ガイド[印刷編]**を参照してください。
- TopAccessで、分割設定やEメールの本文などを変更することができます。詳しくは**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。
- 送信したEメールの件名には、添付ファイル名称と送信日時が自動的に付加されます。
- Eメール送信の結果を確認することができます。詳細は、P.136「スキャン結果の確認」を参照してください。

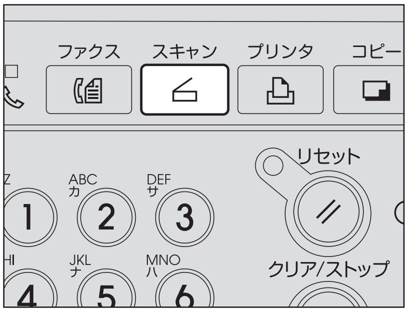
Eメール送信の操作手順

1 原稿をセットします。

補 足

- 原稿のセット方法は、**取扱説明書[コピー編]**を参照してください。
- スキャンできる原稿のサイズは、A4、A3、A5-R、B5、B5-R、B4、A4-R、FOLIO です。
- 自動両面原稿送り装置（オプション）による原稿サイズの同幅混載が可能です。
  📖 P.83「原稿サイズを混載してスキャンする」

2 [スキャン]ボタンを押します。



3 ▲/▼ボタンで「Eメール送信」を選び、[OK]ボタンを押します。

Eメール送信画面が表示されます。

スキャンメニューを選択下さい	
1.Eメール送信	▲
2.ネットワークフォルダに保管	
3.画像を取り込む	▼

4 ▼ボタンを押してスキャン条件を設定し、[戻る/取消]ボタンを押します。

E-mailアドレス入力 （MAX192）	
2006-08-20 11:56	M : 100%
解像度 : 200dpi	
	通信付加機能 ▼

スキャン条件を変更しない場合は、▼ボタンを押さずに手順5に進んでください。

1. ファイル形式	: PDF	▲
2. 両面	: オフ	
3. 混在サイズ原稿	: オフ	
4. 画像回転	: オフ	▼

補 足

- Eメール送信で設定可能な項目と初期設定は、以下のとおりです。

項目	初期設定	選択可能設定値	参照
解像度		150dpi	P.80「解像度を変更する」
	○	200dpi	
		300dp	
		400dp	
		600dp	
ファイル形式	○	PDF	P.82「ファイル形式を変更する」
		マルチページTIFF	
		シングルページTIFF	
両面*1	○	オフ	P.83「両面原稿をスキャンする」
		左右とじ	
		上下とじ	
混在サイズ原稿*1	○	オフ	P.83「原稿サイズを混載してスキャンする」
		オン	
画像回転	○	オフ	P.84「画像回転をオンにする」
		オン	

＊1 自動両面原稿送り装置(オプション)装着時のみ有効となります。

- 原稿モードと濃度も変更できます。変更方法については、**取扱説明書[コピー編]**を参照してください。
- [戻る/取消]ボタンを押すと、Eメール送信メインメニューに戻ります。

5 宛先を指定します。

宛先の指定方法については、以下を参照してください。

P.86「直接入力」
P.87「ワンタッチボタン」
P.88「短縮番号」
P.89「ID検索」
P.91「グループ番号」
P.92「送信履歴」
P.93「受信履歴」
P.94「同報(マルチ)」

E-mailアドレス入力 (MAX192)
2006-08-20 11:56 M : 100%
解像度 : 200dpi
通信付加機能 ▼

補 足

- Eメールアドレスが登録されていない宛先は指定できません。
- 自動原稿送り装置(オプション)または自動両面原稿送り装置(オプション)に原稿をセットしている場合は、原稿の読み込みを行い、送信します。
- 原稿ガラス上に原稿をセットしている場合は、手順6以降を実施してください。

- 原稿サイズを検知できなかった場合には、原稿サイズ指定画面が表示されます。(▲)/(▼)ボタンで原稿サイズを選択し、[OK]ボタンを選択してください。

原稿サイズを指定して下さい
1.A4 ▲
2.A3
3.B5 ▼

- 原稿の読み込みを開始します。

処理中
受付番号 :022
読み取りページ :001

6 次原稿がある場合には、次原稿を原稿ガラス上にセットします。

(▲)/(▼)ボタンで「はい」を選択し、[OK]ボタンを押します。

次原稿読み取り開始
1.はい ▲
2.いいえ ▼

補 足

すべての原稿を読み込むまで、手順6を実施します。

7 次原稿がない場合には、(▲)/(▼)ボタンで「いいえ」を選択します。[OK]ボタンを押すと送信が始まります。

E-mailアドレス入力 (MAX192)
2006-08-20 11:56 M : 099%
解像度 : 200dpi
通信付加機能 ▼

補 足

読み込んだ画像のデータサイズが30MBを超えた場合、「メモリオーバーです」というメッセージが操作パネルに表示され、読み込みが自動的に停止します。このとき、すでに読み込んだデータに対しては自動的に処理が実行されますので、残りの画像を読み込む際には、[リセット]ボタンを押してから再操作を行ってください。

3

ネットワークフォルダに保管

読み込んだ画像を、PDF形式やTIFF形式のファイルとして保存する方法について説明しています。

ネットワークフォルダに保管する 32
ネットワークフォルダに保管するための操作手順 33

ネットワークフォルダに保管する

スキャンした画像を、ネットワーク上のコンピュータやFTPサーバーに、PDF形式やTIFF形式のファイルとして保存することができます。
読み込むときに、画像濃度や解像度などを変更できます。
読み込んだ画像データの保存先は、最大2か所まで登録可能です。ネットワークフォルダに保管実行時に、登録されている保存先から1か所選択します。

補 足

- この機能をご利用になるためには、保存先の設定が必要です。保存先のコンピュータやFTPサーバーの設定に方法については、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。
- ネットワークフォルダに保管の結果を確認することができます。
  詳細は、📖 P.136「スキャン結果の確認」を参照してください。
- ネットワークフォルダに保管のテンプレートを作成すれば、登録済みの2か所以外の保存先も指定できます。

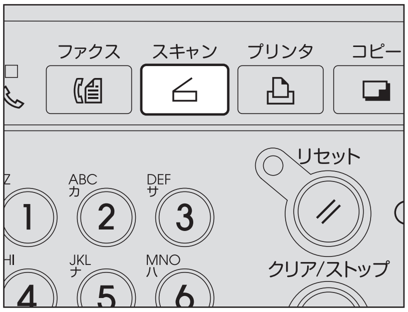
ネットワークフォルダに保管するための操作手順

1 **原稿をセットします。**

補 足

- 原稿のセット方法は、**取扱説明書[コピー編]**を参照してください。
- スキャンできる原稿のサイズは、A4、A3、A5-R、B5、B5-R、B4、A4-R、FOLIOです。
- 自動両面原稿送り装置(オプション)による原稿サイズの同幅混載が可能です。
📖 P.83「原稿サイズを混載してスキャンする」

2 **[スキャン]ボタンを押します。**



3 **▲/▼ボタンで「ネットワークフォルダに保管」を選び、[OK]ボタンを押します。**

ネットワークフォルダに保管画面が表示されます。

スキャンメニューを選択下さい
1.Eメール送信 ▲
2.ネットワークフォルダに保管
3.画像を取り込む ▼

4 **▼ボタンを押してスキャン条件を設定し、[戻る/取消]ボタンを押します。**

TO FILE (リモート1)
2006-08-20 11:56 M : 100%
解像度 : 200dpi
通信付加機能 ▼

スキャン条件を変更しない場合は、▼ボタンを押さずに手順5に進んでください。

1.ファイル名	▲
2.ファイル形式	: PDF
3.保存先を選択して下さい	: リモート1
4.両面	: オフ ▼

補 足

- ネットワークフォルダに保管で設定可能な項目と初期設定は、以下のとおりです。

項目	初期設定	選択可能設定値	参照
解像度		150dpi	P.80「解像度を変更する」
	○	200dpi	
		300dp	
		400dp	
		600dp	
ファイル名	初期ファイル名を任意変更可能		P.81「ファイル名を入力する」
ファイル形式	○	PDF	P.82「ファイル形式を変更する」
		マルチページTIFF	
		シングルページTIFF	
保存先*2		リモート1	P.82「ファイルの保存先を変更する」
		リモート2	
両面*1	○	オフ	P.83「両面原稿をスキャンする」
		左右とじ	
		上下とじ	
混在サイズ原稿*1	○	オフ	P.83「原稿サイズを混載してスキャンする」
		オン	
画像回転	○	オフ	P.84「画像回転をオンにする」
		オン	

＊1　自動両面原稿送り装置（オプション）装着時のみ有効となります。
＊2　機体管理者により保存先が1か所しか設定されていない場合は、設定されている保存先が初期設定となります。

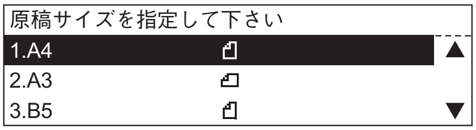
- 原稿モードと濃度も変更できます。変更方法については、**取扱説明書［コピー編］**を参照してください。
- ［戻る/取消］ボタンを押すと、ネットワークフォルダに保管メインメニューに戻ります。

5 ［スタート］ボタンを押します。

補 足

- 自動原稿送り装置（オプション）または自動両面原稿送り装置（オプション）に原稿をセットしている場合は、原稿の読み込みを行い、保存します。
- 原稿ガラス上に原稿をセットしている場合は、手順6以降を実施してください。

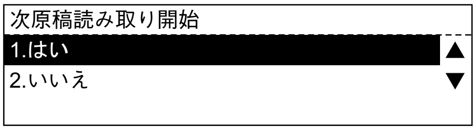
- 原稿サイズを検知できなかった場合には、原稿サイズ指定画面が表示されます。▲/▼ボタンで原稿サイズを選択し、［OK］ボタンを選択してください。



- 原稿の読み込みを開始します。

6 次原稿がある場合には、次原稿を原稿ガラス上にセットします。

▲/▼ボタンで「はい」を選択し、[OK]ボタンを押します。



補 足

すべての原稿を読み込むまで、手順6を実施します。

7 次原稿がない場合には、▲/▼ボタンで「いいえ」を選択します。[OK]ボタンを押すと保存が始まります。

補 足

読み込んだ画像のデータサイズが30MBを超えた場合、「メモリオーバーです」というメッセージが操作パネルに表示され、読み込みが自動的に停止します。このとき、すでに読み込んだデータに対しては自動的に処理が実行されますので、残りの画像を読み込む際には、[リセット]ボタンを押してから再操作を行ってください。

4

画像を取り込む

TWAINドライバを使用して、コンピュータに画像を取り込む方法について説明しています。

TWAIN ドライバで画像を取り込む 38
TWAIN ドライバの必要条件 38
TWAIN ドライバのインストール 40
TWAIN ドライバのアンインストール 42
本機の操作パネルでの操作 44
TWAIN ドライバでの画像の取り込み 47
はじめてTWAIN ドライバを起動するとき 49
TWAIN ドライバの必要条件 38
検索して接続を設定する 49
手動で接続を設定する 52

TWAINドライバで画像を取り込む

付属のTWAINドライバを本機へインストールすると、TWAIN対応アプリケーションソフトウェアを使用して、本機のメモリに保存されている画像をクライアントコンピュータへ取り込むことができます。

操作の手順は以下のとおりです。手順1のTWAINドライバのインストールは最初に1度だけ実施し、画像を取り込むときには手順2と手順3を実施してください。
1. TWAINドライバを本機へインストールする。
2. 本機の操作パネルを使用して、画像をスキャンする。(スキャンした画像のファイルは、本機のメモリへ保存されます。)
3. TWAIN対応アプリケーションソフトウェアを使用して、本機のメモリに保存されている画像をクライアントコンピュータへ取り込む。

注 意

- Macintoshコンピュータおよび UNIXワークステーションは、TWAINドライバにより画像を取り込むことはできません。
- TWAIN対応アプリケーションであってもTWAINドライバで動作しないものがあります。お使いのアプリケーションの説明書またはオンラインヘルプを参照してください。
- Windows NT 4.0、Windows XPおよびWindows Server 2003には、TWAIN対応アプリケーションは付属されておりません。別途購入が必要です。
- アプリケーションによっては、カラー、原稿サイズ、解像度の混在した複数ページ原稿のTWAIN取り込みに対応していないものがあります。これらのアプリケーションに画像を取り込む場合は、1ページごと別々に取り込んでください。
- 取り込んだ画像ファイルの画質は、お使いのアプリケーションによって異なります。十分な画質で取り込みできなかった場合は、他のアプリケーションを使用してください。
- 画像を取り込んだ結果を確認することができます。詳細は、📖 P.136「スキャン結果の確認」を参照してください。

TWAINドライバの必要条件

TWAINドライバは、以下の環境で使用することができます。
- **ディスプレイ解像度**
  1024 x 768ドット以上
- **ディスプレイ色**
  High Color(16ビット)以上を推奨
- **CPU**
  Pentium 133 MHz(Pentium 266 MHz以上を推奨)
- **OS**
  Windows 98(Windows 98 Second Edition推奨)
  Windows Me
  Windows NT 4.0 Service Pack 6a
  Windows 2000 Service Pack 4
  Windows XP Service Pack 1/Service Pack 2
  Windows Server 2003 Service Pack 1 以降
  Windows Vista

- **必要なソフトウェア**
  TWAIN対応アプリケーション（TWAINドライバを使用時）
  Microsoft Internet Explorer 5.5 Service Pack 2またはそれ以上

TWAINドライバのインストール

1 **Scan Utilities CD-ROMをコンピュータのCD-ROMドライブにセットします。**

インストーラが自動的に起動しないときは、CD-ROMをエクスプローラで開き、「Setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動してください。

2 **[次へ]をクリックします。**

「使用許諾契約」画面が表示されます。

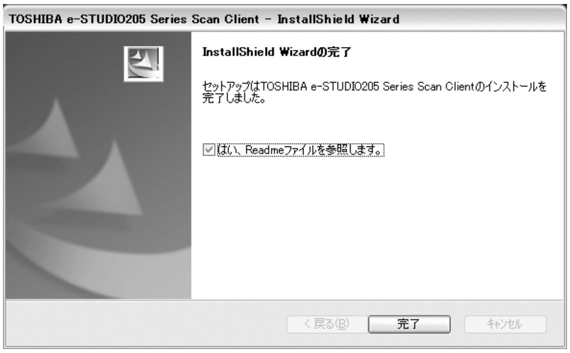
3 **使用許諾契約に同意する場合は、[はい]をクリックします。**

「インストール先の選択」画面が表示されます。

4 **内容を確認し、[次へ]をクリックします。**

ファイルのコピーが始まります。ファイルのコピーが完了すると、「InstallShield Wizardの完了」画面が表示されます。

5 [完了]をクリックします。



Readmeファイルが表示されます。TWAINドライバをご使用になるうえで、重要なお知らせが書かれていますので、必ずお読みください。
再起動を要求する画面が表示された場合は、「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックします。

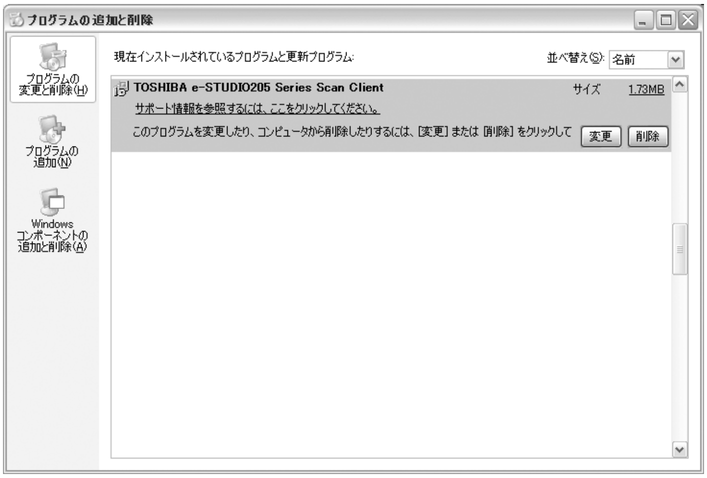
TWAINドライバのアンインストール

TWAINドライバをアンインストールします。ここでは、TWAINドライバのみをアンインストールする手順について説明します。
画面はWindows XPからアンインストールする例で説明します。別のバージョンのWindowsをお使いの場合も、手順は同じです。

1 「コントロールパネル」を開き、「プログラムの追加と削除」をダブルクリックします。

「プログラムの追加と削除」ダイアログボックスが表示されます。

2 一覧から「TOSHIBA e-STUDIO205 Series Scan Client」を選択し、[変更]または[削除]をクリックします。



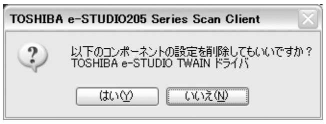
「InstallShield Wizard」ダイアログボックスが表示されます。

3 「変更」または[削除]を選択し、[次へ]をクリックします。

4 TOSHIBA e-STUDIO TWAINドライバのチェックボックスを解除し、[次へ]をクリックします。

手順3で「削除」を選択した場合は、削除確認のダイアログボックスが表示されますので、[OK]をクリックします。

5 [はい]をクリックします。



6 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、[完了]をクリックして、コンピュータを再起動します。

いくつかのファイルは、再起動後に削除されます。

本機の操作パネルでの操作

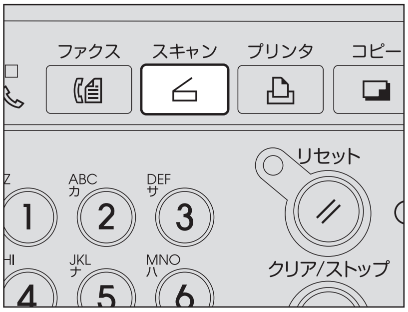
TWAINドライバを使用して画像ファイルを取り込む前に、本機の操作パネルを操作して、本機のメモリに画像ファイルを保存する必要があります。

1 原稿をセットします。

補 足

- 原稿のセット方法は、**取扱説明書[コピー編]**を参照してください。
- スキャンできる原稿のサイズは、A4、A3、A5-R、B5、B5-R、B4、A4-R、FOLIOです。
- 自動両面原稿送り装置(オプション)による原稿サイズの同幅混載が可能です。
  P.83「原稿サイズを混載してスキャンする」

2 [スキャン]ボタンを押します。



3 ▲/▼ボタンで「画像を取り込む」を選び、[OK]ボタンを押します。

画像を取り込むための画面が表示されます。

スキャンメニューを選択下さい
1.Eメール送信 ▲
2.ネットワークフォルダに保管
3.画像を取り込む ▼

4 ▼ボタンを押して、スキャン条件を設定し、[戻る/取消]ボタンを押します。

TO TWAIN
2006-08-20 11:56 M : 100%
解像度 : 200dpi
通信付加機能 ▼

スキャン条件を変更しない場合は、▼ボタンを押さずに、手順5に進んでください。

1. 両面	:オフ	▲
2. 混在サイズ原稿	:オフ	
3. 画像回転	:オフ	
		▼

補 足

- 画像を取り込む際に設定可能な項目と初期設定は、以下のとおりです。

項目	初期設定	選択可能設定値	参照
解像度		150dpi	📖 P.80「解像度を変更する」
	○	200dpi	
		300dp	
		400dp	
		600dp	
両面*1	○	オフ	📖 P.83「両面原稿をスキャンする」
		左右とじ	
		上下とじ	
混在サイズ原稿*1	○	オフ	📖 P.83「原稿サイズを混載してスキャンする」
		オン	
画像回転	○	オフ	📖 P.84「画像回転をオンにする」
		オン	

＊1　自動両面原稿送り装置（オプション）装着時のみ有効となります。

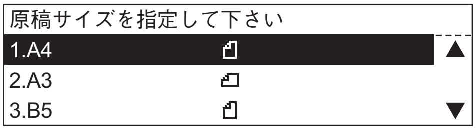
- 原稿モードと濃度も変更できます。変更方法については、**取扱説明書［コピー編］**を参照してください。
- ［戻る/取消］ボタンを押すと、画像を取り込むメインメニューに戻ります。

5 ［スタート］ボタンを押します。

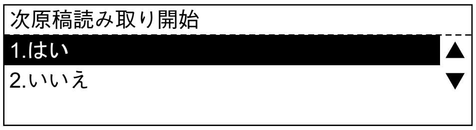
補 足

- 自動原稿送り装置（オプション）または自動両面原稿送り装置（オプション）に原稿をセットしている場合は、原稿の読み込みを行い、保存します。
- 原稿ガラス上に原稿をセットしている場合は、手順6以降を実施してください。

- 原稿サイズを検知できなかった場合には、原稿サイズ指定画面が表示されます。▲/▼ボタンで原稿サイズを選択し、［OK］ボタンを選択してください。
- 原稿の読み込みを開始します。



6 次原稿がある場合には、次原稿を原稿ガラス上にセットします。▲/▼ボタンで「はい」を選択し、［OK］ボタンを押します。



補 足

すべての原稿を読み込むまで、手順6を実施します。

7 次原稿がない場合には、▲/▼ボタンで「いいえ」を選択します。[OK]ボタンを押すと保存が始まります。

補 足

読み込んだ画像のデータサイズが30MBを超えた場合、「メモリオーバーです」というメッセージが操作パネルに表示され、読み込みが自動的に停止します。このとき、すでに読み込んだデータは本機のメモリへ画像ファイルとして自動的に保存されますので、残りの画像を読み込む際には、クライアントコンピュータへの画像ファイル取り込み、メモリからの画像ファイル削除を実行し、その後に再操作を行ってください。

📖 P.47「TWAINドライバでの画像の取り込み」

TWAINドライバでの画像の取り込み

本機のメモリに保管された画像ファイルを、Windows 98/Me/2000のアクセサリである「イメージング」などのTWAIN対応アプリケーションを使用して取り込みます。

1 **TWAIN対応アプリケーションを起動します。**

2 **[ファイル]メニューから[デバイスの選択](または[TWAIN対応機器の選択]など)を選択します。**

3 **操作環境により、次のようなダイアログボックスが表示されることがあります。この場合は、「e-STUDIO TWAIN driver」を選択し、[OK]をクリックします。**

4 **[ファイル]メニューから[イメージの取得](または[TWAIN対応機器からの入力]など)を選択します。**

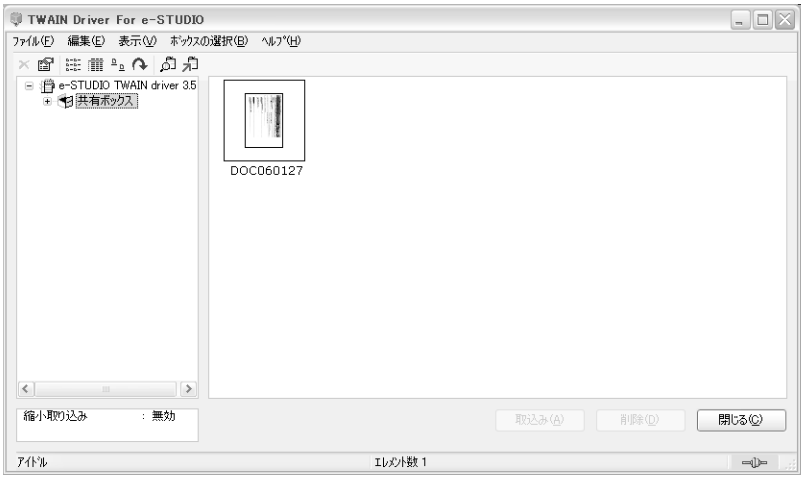
「TWAIN Driver for e-STUDIO」ダイアログボックスが表示されます。

補 足

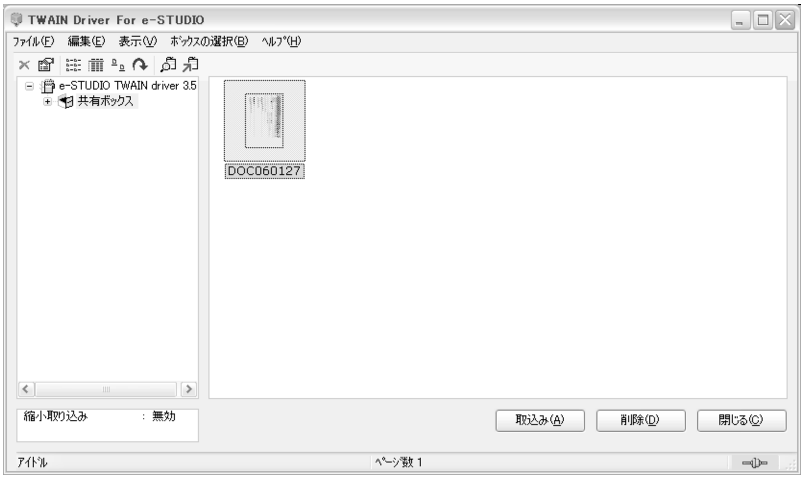
はじめてTWAINドライバを使いイメージの取得を行う場合は、「TopAccessDocMonローカル検索」ダイアログボックスが表示されます。表示された場合は、ネットワーク内の本機を検索し、接続をセットアップしてください。

📖 P.49「はじめてTWAINドライバを起動するとき」

5 **ツリーウィンドウで、「共有ボックス」を選択します。**



6 取り込む画像ファイルを選択し、[取込み]をクリックします。



7 画像ファイルを取り込んだ後に、本機のメモリ内のファイルを削除する場合は「はい」を、本機のメモリ内に残しておく場合は「いいえ」をクリックします。

[キャンセル]をクリックすると、画像ファイルの取り込みを中止します。

8 ダウンロード状況を示すダイアログボックスが表示されます。ダウンロードが完了すると、TWAIN対応アプリケーションに、取り込んだ画像ファイルが表示されます。

はじめてTWAINドライバを起動するとき

はじめてTWAINドライバを使って本機にアクセスする場合は、「TopAccessDocMonローカル検索」ダイアログボックスが表示されます。表示された場合は、「TopAccessDocMonローカル検索」ダイアログボックスを使って、本機への接続をセットアップします。
本機への接続は、ネットワーク上の本機を検索するか、または本機のネットワークアドレスを直接入力することで、セットアップすることができます。

検索して接続を設定する

ネットワーク上の本機を検索し、接続を設定することができます。

1 **「TopAccessDocMonローカル検索」ダイアログボックスで[検索開始]をクリックします。**

ネットワーク上の互換装置がすべて検索されます。

2 検索処理を完了すると、検索された装置が一覧表示されます。

注 意

ネットワーク上に多くのクライアントが存在する場合、検索処理に時間が長くかかることがあります。その場合は、[詳細設定]ボタンをクリックし、検索設定を変更することができます。

装置

検索する装置の種類を選択します。本装置を検索する場合は、「e-STUDIO205 Seriesの検索」を選択してください。

ネットワーク - IPX/SPX検索を有効にします

TWAINドライバはIPX/SPX接続をサポートしていないため、この項目は無効になります。

ネットワーク - TCP/IP検索を有効にします

TCP/IPネットワークに接続されているデバイスを検索する場合にチェックします。お使いのコンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされているときにのみ、使用することができます。
この場合は、「IPv4」にチェックマークを付け、「From」(開始)と「to」(終了)の各項へIPアドレスの検索範囲を入力してください。なお、「IPv6」は無効です。

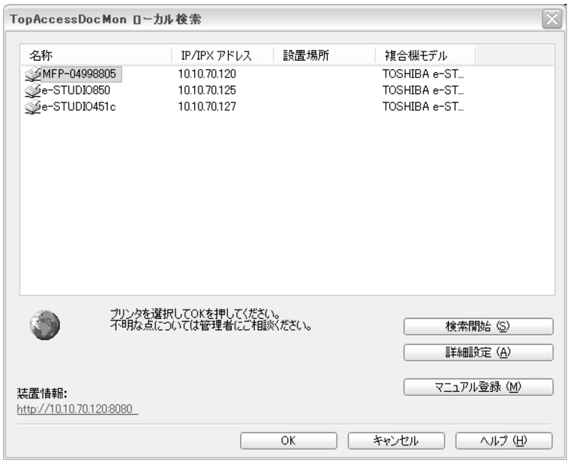
ローカルサブネットを有効にします

ローカルサブネットのデバイスを検索する場合にチェックします。

範囲を指定します

IPアドレスの範囲を限定してデバイスを検索する場合にチェックします。これを選択した場合は、「From」および「To」フィールドにIPアドレスをそれぞれ入力し、検索範囲を指定します。

3 一覧から本機を選択し、[OK]をクリックします。

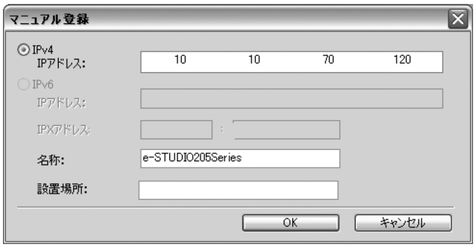


本機に接続し、TWAINドライバウィンドウが表示されます。

手動で接続を設定する

1 **「TopAccessDocMonローカル検索」ダイアログボックスで[マニュアル登録]をクリックします。**

2 **以下の項目を入力します。**



IPアドレス

本機のIPアドレスを入力します。なお、「IPv6」は無効です。

IPXアドレス

TWAINドライバはIPX接続をサポートしないため、この項目は無効になります。

名称

本機の装置名を入力します。

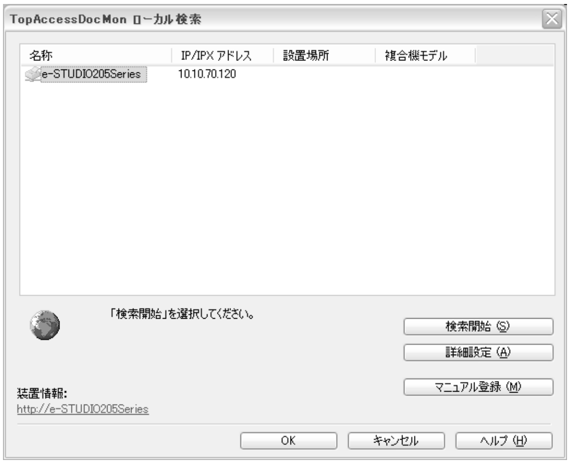
設置場所

本機の設置場所を入力します。

3 **[OK]をクリックします。**

入力したデバイスが「TopAccessDocMonローカル検索」ダイアログボックスのリストに追加されます。

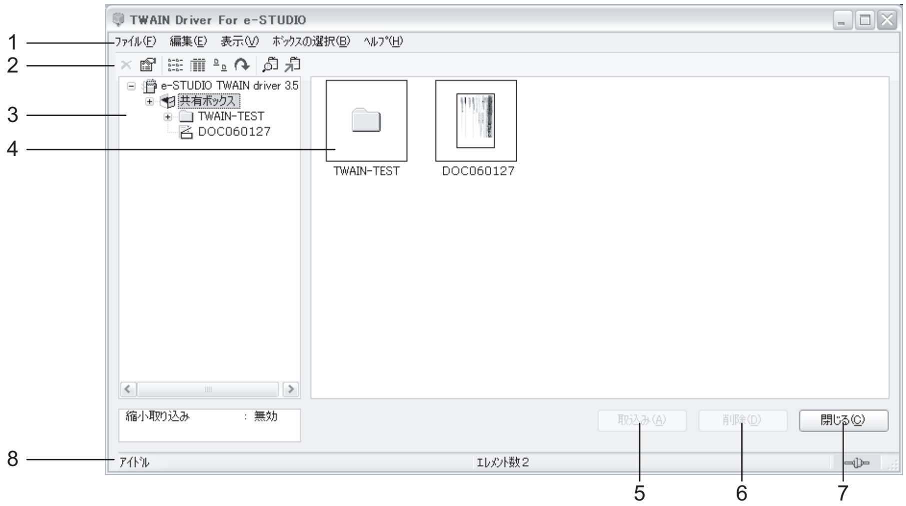
4 本機を選択し、[OK]をクリックします。



本機に接続し、TWAINドライバウィンドウが表示されます。

メインウィンドウの使用方法

TWAINドライバを起動すると、メインウィンドウが表示されます。ボックス文書の取り込みのほか、このウィンドウからさまざまな機能を操作することができます。



1) メニューバー

以下のメニューからさまざまな機能を選択することができます。

ファイルメニュー:

- **取込み**:選択した文書またはページをアプリケーションに取り込む場合にクリックします。
- **削除**:選択したページや文書を削除する場合にクリックします。
  P.56「ボックス文書を削除する」
- **プロパティ**:選択したページや文書のプロパティを表示する場合にクリックします。
  P.57「ボックス/文書/ページのプロパティを表示する」
- **閉じる**:TWAINドライバメインウィンドウを閉じる場合にクリックします。

編集メニュー:

- **全て選択**:コンテンツウィンドウに表示されているすべてのページを選択する場合にクリックします。ツリーウィンドウで文書を選択する場合のみ、有効です。
- **縮小読み取り***:保存されたファイリングボックス文書を取り込むときまたは保存するときに、600×600dpiで保管された文書を300×300dpiに変更したい場合にこのメニューを選択します。メニューの横にチェックマークが表示されている場合は、この機能が有効になっていることを示します。
  この機能は、コピーまたは印刷操作によりファイリングボックスに保管された600×600dpiの文書にのみ有効です。このメニューを再度クリックすると、ファイリングボックス文書の解像度を変更する操作を中止します。
  * 本機はこの機能に対応していません。

表示メニュー：

- **リスト**：コンテンツウィンドウの表示をリスト表示にする場合にクリックします。
- **詳細**：コンテンツウィンドウの表示を詳細表示にする場合にクリックします。
- **サムネールサイズ**：「小」、「中」、「大」から目的のサムネイルサイズをクリックし、コンテンツウィンドウの表示をサムネイル表示にします。
- **並べ替え**：アイコンを目的の配列で並べ替えます。「名前」、「サイズ」、「タイプ」、「作成日時」から選択します。
- **更新**：コンテンツウィンドウの情報を更新する場合にクリックします。

ボックスの選択：

- **接続先の検索**：本機を新たにネットワークへ追加する場合にクリックし、「TopAccessDocMonローカル検索」ダイアログボックスを表示します。
  📖 P.61 「新規デバイスを追加する」
- **接続先選択**：ボックス文書の取り込み先のデバイスを変更する場合にクリックします。
  📖 P.61 「ボックス文書の取り込み先のデバイスを変更する」

ヘルプ：

- **ヘルプ**：オンラインヘルプを起動する場合にクリックします。
- **バージョン情報**：バージョン情報を表示する場合にクリックします。

2) ツールバー

「削除」、「プロパティ」、「リスト」、「詳細」、「サムネール」、「更新」、「接続先の検索」、「接続先選択」のツールアイコンが表示されます。

3) ツリーウィンドウ

ボックス、フォルダおよび文書をツリー形式で表示します。クリックして、ボックスやフォルダ、文書を開くと、コンテンツウィンドウに内容が表示されます。

4) コンテンツウィンドウ

ツリーウィンドウで選択したボックス、フォルダまたは文書の内容を表示します。

5) [取込み]

選択した文書またはページの取り込みを実行します。

6) [削除]

選択した文書またはページを削除する場合にクリックします。

7) [閉じる]

TWAINドライバのメインウィンドウを閉じます。

8) ステータスバー

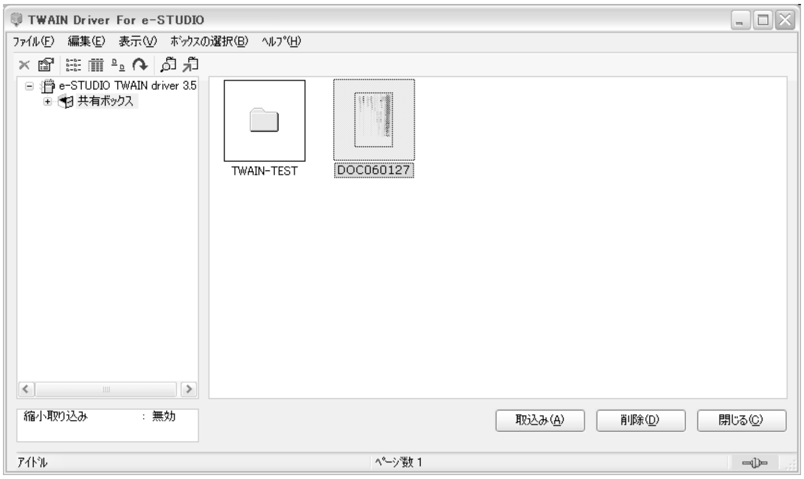
接続状況や選択しているボックス、文書、ページの数、接続している本機のIPアドレスなどを表示します。

ボックス文書を削除する

TWAINドライバのメインウィンドウを使用して、ボックスからのボックス文書の削除やボックス文書からのページの削除を操作することができます。

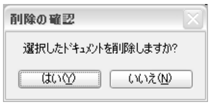
ボックスから文書を削除する

1 **削除する文書またはページを選択し、[削除]をクリックします。**



「削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。

2 **[はい]をクリックします。**



選択した文書またはページが削除されます。

注 意

文書を手動で削除しなかった場合、文書はメモリ内に7日間保存され、その後削除されます。フォルダは手動で削除できません。フォルダは、中にファイルが1つもない場合にのみ、以下の条件で自動的に消去されます。

- フォルダを作成してから7日後。(フォルダを削除できなかった場合は、7日に1回フォルダ内を確認し、フォルダ内にファイルがなくなった時点で、フォルダを削除します。)
- そのフォルダを作成するテンプレートを削除するとき。

ボックス／文書／ページのプロパティを表示する

［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択すると、選択しているボックス、文書やページの情報ダイアログボックスが表示されます。

📖 P.57「ボックスプロパティ」
📖 P.58「フォルダプロパティ」
📖 P.59「文書プロパティ」
📖 P.60「ページプロパティ」

ボックスプロパティ

ボックスを選択し、［ファイル］メニューから［プロパティ］を選択すると、「ボックス情報」ダイアログボックスが表示されます。

- **アイテム数**：ボックスに含まれているフォルダおよび文書の数を表示します。
- **サイズ**：　ボックスに含まれているデータサイズを表示します。
- **文書保存期間**：ボックスに設定されている文書の保存期間を表示します。本機はこの機能に対応していません。
- **通知先メールアドレス**： ボックスに含まれている通知先メールアドレスを表示します。本機はこの機能に対応していません。
- **状態**：ボックスの現在の使用状況を表示します。
- **作成日時**：ボックスが作成された日時を表示します。
- **更新日時**：ボックス設定が最後に変更された日時を表示します。
- **暗証番号**：ボックスに暗証番号が設定されているかどうかを表示します。本機はこの機能に対応していません。

フォルダプロパティ

フォルダを選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択すると、「フォルダ情報」ダイアログボックスが表示されます。

補 足

フォルダはテンプレートを使用して作成できます。フォルダの作成方法については、**設定ガイド [スキャン編]** TWAIN 設定を参照してください。

- **フォルダ**:フォルダの場所を表示します。
- **アイテム数**:フォルダに含まれている文書の数を表示します。
- **状態**:フォルダの現在の使用状況を表示します。
- **作成日時**:フォルダが作成された日時を表示します。
- **更新日時**:フォルダ設定が最後に変更された日時を表示します。

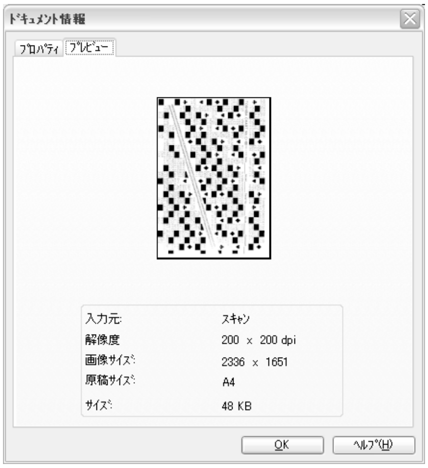
文書プロパティ

文書を選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択すると、「ドキュメント情報」ダイアログボックスが表示されます。

プロパティタブ
プロパティタブには、文書プロパティが表示されます。

- **入力元**：ボックスに保管したときの入力元の操作を表示します。
- **フォルダ**：文書が保存されているボックスまたはフォルダのパスを表示します。
- **サイズ**：文書サイズを表示します。
- **ページ数**：文書の総ページ数を表示します。
- **状態**：「待機中」の場合は、文書がダウンロード可能であることを示します。「使用中」の場合は、文書を編集中などによりダウンロードできない、または削除できないことを示します。
- **作成日時**：文書の作成日時を表示します。
- **更新日時**：文書の更新日時を表示します。
- **最終アクセス日時**：最後に文書へアクセスした日時を表示します。

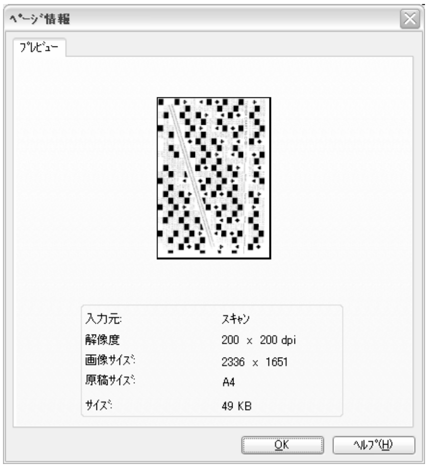
プレビュータブ
プレビュータブには、選択した文書の最初のページのサムネイルイメージが表示されます。



- **入力元**:ボックスに保管したときの入力元の操作を表示します。
- **解像度**:文書の最初のページの解像度を表示します。
- **画像サイズ**:文書の最初のページのピクセルサイズを表示します。
- **原稿サイズ**:文書の最初のページの用紙サイズを表示します。
- **サイズ**:文書の最初のページのファイルサイズを表示します。

ページプロパティ

ページを選択し、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択すると、「ページ情報」ダイアログボックスが表示されます。



- **入力元**:ボックスに保管したときの入力元の操作を表示します。
- **解像度**:ページの解像度を表示します。
- **画像サイズ**:ページのピクセルサイズを表示します。
- **原稿サイズ**:ページの用紙サイズを表示します。
- **サイズ**:ページのファイルサイズを表示します。

新規デバイスを追加する

ネットワーク内に複数台の本機がある場合に、本機を検索して、新しい接続先を追加することができます。この操作を実行すると、TWAINドライバを使用して接続できる本機を複数追加することができます。
新しい接続先の追加は、[ボックスの選択]メニューの[接続先の検索]から行います。[接続先の検索]をクリックすると、「TopAccessDocMonローカル検索」ダイアログボックスが表示されます。ネットワーク内を検索し、接続先を追加することができます。操作のしかたについては以下のセクションを参照してください。
📖 P.49「はじめてTWAINドライバを起動するとき」

補 足

接続リストに新しい接続先を追加すると、ボックス文書の取り込み先を変更することができます。接続先の変更は[ボックスの選択]メニューから[接続先選択]を選択すると実行することができます。
📖 P.61「ボックス文書の取り込み先のデバイスを変更する」

ボックス文書の取り込み先のデバイスを変更する

接続先を複数追加した場合、TWAINドライバを使ってボックス文書を取り込む際に、取り込み先のデバイスを変更することができます。

ボックス文書の取り込み先のデバイスを選択する

1 **[ボックスの選択]メニューから[接続先選択]を選択します。**

「デバイス選択」ダイアログボックスが表示されます。

2 接続したいデバイスを選択し、[OK]をクリックします。

ボックス文書の取り込み先のデバイスが、選択したデバイスに変更されます。

5

テンプレート

よく使うスキャン設定をワンタッチボタンに登録し、ボタン1つで設定を呼び出すことのできるテンプレート機能について説明しています。

テンプレートについて 64
テンプレートの操作手順 65

テンプレートについて

各スキャン機能に、濃度、解像度、画像回転、ファイル形式などの設定をしたテンプレートを、ワンタッチボタンに登録しておくことができます。
原稿ガラス上や自動原稿送り装置(オプション)に原稿を置き、テンプレートが登録されているワンタッチボタンを押すだけで、お好みのスキャン操作を行えます。

補 足

- テンプレートを使用するためには、本機のテンプレート設定をオンにする必要があります。詳しくは、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。
- テンプレートはTopAccess上で作成します。宛先を指定済みのEメール送信もテンプレートにできます。詳しくは、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。
- テンプレートは10個作成可能で、ワンタッチボタンの66から75に登録することができます。
- テンプレート機能をオンにすると、宛先登録に使用できるワンタッチボタンが、1から65の65個となります。

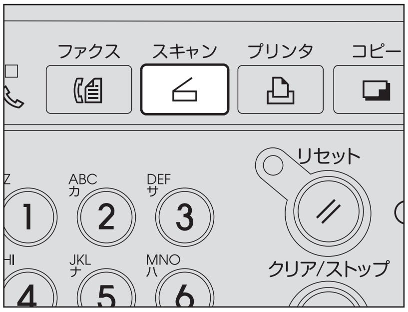
テンプレートの操作手順

1 **原稿をセットします。**

補 足

- 原稿のセット方法は、**取扱説明書[コピー編]**を参照してください。
- スキャンできる原稿のサイズは、A4、A3、A5-R、B5、B5-R、B4、A4-R、FOLIOです。

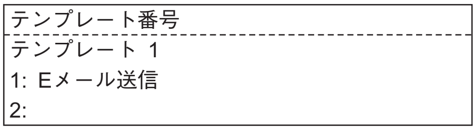
2 **[スキャン]ボタンを押します。**



3 **ご利用になるテンプレートが登録されているワンタッチボタンを押し、[スタート]ボタンを押します。**

P.22「ワンタッチボタン1～75」

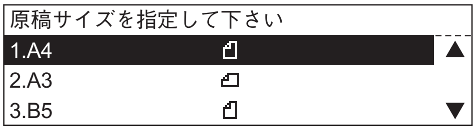
ワンタッチボタンを押すと、テンプレート名称の確認画面が約2秒間表示され、その間は[スタート]ボタンを押しても動作しません。
なお、当該ワンタッチボタンにテンプレートが登録されていない場合には、そのことを示すメッセージが約2秒間表示されます。



補 足

- テンプレートを登録できるのは、66(テンプレート1)から75(テンプレート10)のワンタッチボタンです。
- 自動原稿送り装置(オプション)または自動両面原稿送り装置(オプション)に原稿をセットしている場合は、原稿の読み込みを行い、テンプレートに登録されている設定で、スキャン機能が実行されます。
- 原稿ガラス上に原稿をセットしている場合は、手順4以降を実施してください。

- 原稿サイズを検知できなかった場合には、原稿サイズ指定画面が表示されます。▲/▼ボタンで原稿サイズを選択し、[OK]ボタンを選択してください。



- 原稿の読み込みを開始します。

メモリ入力中	
受付番号	: 022
読み取りページ	: 001

4 **次原稿がある場合には、次原稿を原稿ガラス上にセットします。**

▲/▼ボタンで「はい」を選択し、[OK]ボタンを押します。

次原稿読み取り開始	
1.はい	▲
2.いいえ	▼

補 足

すべての原稿を読み込むまで、手順４を実施します。

5 **次原稿がない場合には、▲/▼ボタンで「いいえ」を選択します。[OK]ボタンを押します。**

6

インターネットファクス

インターネットファクスの送信方法とインターネットファクスおよび添付ファイル付きEメールの受信方法について説明しています。

インターネットファクスについて 68

インターネットファクス使用上のご注意 69

インターネットファクスを送信する 70

インターネットファクスを受信する 73

自動受信..73

手動受信..74

インターネットファクスについて

インターネットファクスとは、原稿をTIFF-FX(Profile S)形式の添付ファイルにしてEメールとして通信する方法です。電話回線を使わずにインターネットを使用するので、通信コストの削減をはかれます。
インターネットファクスでは電話番号の代わりにEメールアドレスを指定し、読み取った原稿をインターネットファクス対応機やコンピュータへ送信します。
またインターネットファクス対応機は、インターネットファクスを受信すると、通常のファクスと同じように自動的に出力されます。
本機では、最大5MBまでのファイルを送信できます。大きなファイルを分割して送信することもできます。同時に送信できる宛先は、最大375件です。

補 足

- インターネットファクス機能をご利用になるためには、オプションのファクスキットが必要です。
- インターネットファクス機能をご利用になるためには、Eメールを送信するためのネットワーク設定が必要です。スキャンに関係するネットワーク設定の詳細は、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。その他のネットワーク設定は、**設定ガイド[印刷編]**を参照してください。
- TopAccessで、分割設定やEメールの本文などを変更することができます。詳しくは**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。
- インターネットファクスの送受信の結果を確認することができます。また、以下の結果表を出力することができます。詳しくは📖 P.136「スキャン結果の確認」を参照してください。

通信結果表
メモリ送信結果表
同報送信結果表

インターネットファクス使用上のご注意

インターネットファクス機能を使って送信された原稿は、Eメールと同じです。インターネット通信には、インターネット間のデータのやりとりをサポートする機能や、さまざまな障害が発生することがあります。インターネットファクス機能を使う前に、以下のインターネット通信の注意事項をお読みください。

- インターネットファクスで送信された原稿は、お使いのメールサーバーに転送され、そこからさらにインターネットへと送信されます。インターネットファクスでは、通常のファクス送信と異なり送信先の相手と直接通信を行うわけではありません。送信された原稿は、メールサーバーに正常に送信した時点で、送信を完了したものとして扱います。
- インターネット通信は秘匿性が低いので、重要な書類などは通常のファクス送信で行うことをお勧めします。
- インターネット通信は、ネットワークの混雑などにより、送信されてから相手先に届くまでに時間がかかることがあります。
- メールサーバーの設定によっては、許容量以上の原稿を送信すると正常に送信できないことがあります。
- 宛先を複数設定した場合、受信側でヘッダページの印刷機能が設定されていると、送信先がすべて印字されます。情報の流出に注意が必要な場合は、一度に複数の宛先に送信することは避けてください。

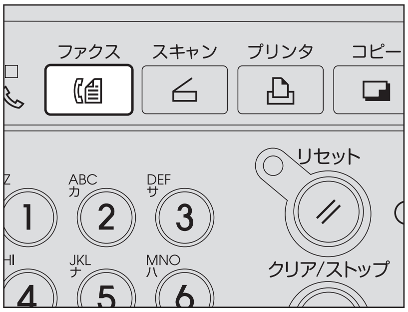
インターネットファクスを送信する

1 原稿をセットします。

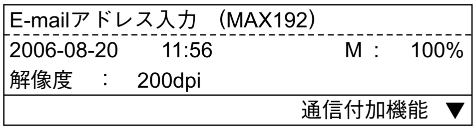
補 足

- 原稿のセット方法は、**取扱説明書[コピー編]**を参照してください。
- スキャンできる原稿のサイズは、A4、A3、A5-R、B5、B5-R、B4、A4-R、FOLIOです。
- 異なる原稿サイズを混載することはできません。

2 [ファクス]ボタンを2回押します。



インターネットファクス画面が表示されます。



3 ▼ボタンを押して、スキャン条件を設定し、[戻る/取消]ボタンを押します。

スキャン条件を変更しない場合は、▲/▼ボタンを押さずに、手順4に進んでください。

補 足

- インターネットファクスで設定可能な項目と初期設定は、以下のとおりです。

項目	初期設定	選択可能設定値
両面送信*1	○	オフ
		オン

＊1　自動両面原稿送り装置（オプション）装着時のみ有効となります。

- 原稿モードと濃度も変更できます。変更方法については、**取扱説明書［コピー編］**を参照してください。

4 宛先を指定します。

宛先の指定方法については、以下を参照してください。

P.86「直接入力」
P.87「ワンタッチボタン」
P.88「短縮番号」
P.89「ID検索」
P.91「グループ番号」
P.92「送信履歴」
P.93「受信履歴」
P.94「同報（マルチ）」

E-mailアドレス入力　（MAX192）
2006-08-20　　11:56　　　　M：　100%
解像度　：　200dpi
通信付加機能 ▼

補 足

- Eメールアドレスが登録されていない宛先は指定できません。
- 自動原稿送り装置（オプション）または自動両面原稿送り装置（オプション）に原稿をセットしている場合は、原稿の読み込みを行い、送信します。
- 原稿ガラス上に原稿をセットしている場合は、手順5以降を実施してください。

- 原稿サイズを検知できなかった場合には、原稿サイズ指定画面が表示されます。▲/▼ボタンで原稿サイズを選択し、［OK］ボタンを選択してください。

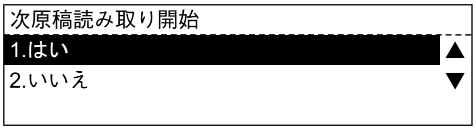
原稿サイズを指定して下さい
1.A4 ▲
2.A3
3.B5 ▼

- 原稿の読み込みを開始します。

メモリ入力中
受付番号　:022
読み取りページ　:001
メモリ残量　:099%

5 **次原稿がある場合には、次原稿を原稿ガラス上にセットします。**

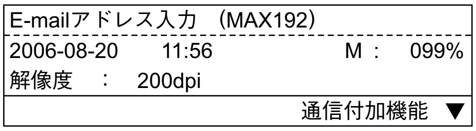
▲/▼ボタンで「はい」を選択し、[OK]ボタンを押します。



補 足

すべての原稿を読み込むまで、手順5を実施します。

6 **次原稿がない場合には、▲/▼ボタンで「いいえ」を選択します。[OK]ボタンを押すと送信が始まります。**



補 足

読み込んだ画像のデータサイズが5MBを超えた場合、「メモリオーバーです」というメッセージが操作パネルに表示され、読み込みが自動的に停止します。このとき、すでに読み込んだデータに対しては自動的に処理が実行されますので、残りの画像を読み込む際には、[リセット]ボタンを押してから再操作を行ってください。

インターネットファクスを受信する

本機は指定の間隔でメールサーバーにアクセスし、新着インターネットファクス/Eメールの有無を確認することができます。新着インターネットファクス/Eメールがあれば、自動的に受け取り、印刷します。添付ファイルだけでなく、本文も印刷できます。ヘッダ付きのインターネットファクスも印刷できます。

また、インターネットファクスモードのときに、[E-MAIL確認]ボタンを押すと、メールサーバーにアクセスして、新着インターネットファクス/Eメールの有無を確認することができます。新着インターネットファクス/Eメールがあれば自動的に受け取り、印刷します。
大きな画像ファイルが分割で送信されてきた場合には、復元して印刷します。
ヘッダ付きのインターネットファクスも受信できます。

本機が受信印刷できる画像形式は、TIFF Profile S、TIFF Profile F、TIFF Profile J形式です。解像度は、200×100、150×150、200×200、200×400、300×300、400×400(dpi)のいずれかである必要があります。

補 足

- ヘッダや本文に日本語(2バイト文字)が使われていた場合は、ヘッダや本文は正しく印刷されません。
- インターネットファクス/Eメール を別のEメール アドレスに転送することもできます。
  詳しくは、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。

注 意

添付画像が6MB以上の大きさのときや、受信したEメールの添付画像が、本機で印刷できない形式だった場合には、エラーとなります。エラー時に、エラーメッセージを記載したレポートを印刷するように設定することもできます。詳しくは**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。
分割送信されてきたEメールの場合、復元後のデータサイズが30MBを超えるとエラーとなり、最初のページをエラーログとして印刷します。
上記のようなエラーが発生したときには、受信したデータは自動的に削除されてしまいますので、データサイズを小さくして再送信するように送信者へ依頼してください。

自動受信

本機は、一定の間隔で、メールサーバーから自動的にインターネットファクス/Eメールを受け取ることができます。初期設定は5分です。
サーバーにアクセスする間隔(ポーリングレート)の設定については、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。

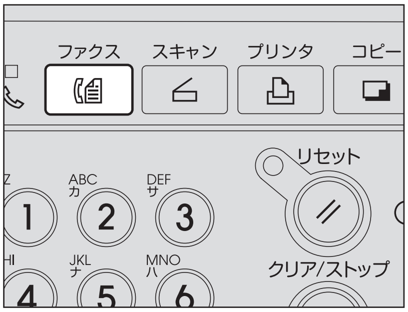
補 足

受信するためには、POP3サーバーの設定が必要です。詳しくは、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。

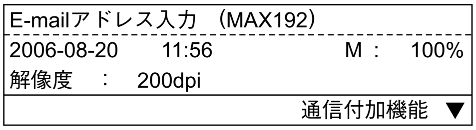
手動受信

手動で、メールサーバーにアクセスし、新着インターネットファクス/Eメールの有無を確認する方法です。

1 **［ファクス］ボタンを2回押します。**

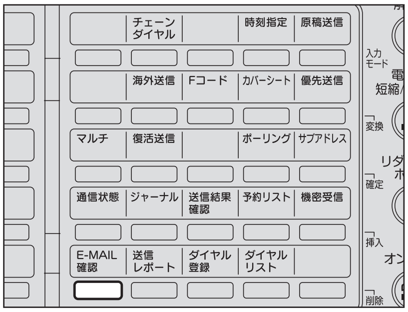


インターネットファクス画面が表示されます。



2 **［E-MAIL確認］ボタンを押します。**

画面に「検索中です」と表示されます。



3 **新着インターネットファクス/Eメールがある場合は、画面に「印刷中」と表示して、そのインターネットファクス/Eメールを印刷します。**

新着インターネットファクス/Eメールがない場合は、画面に「新規E-mailはありません」と2秒間表示して、インターネットファクス画面へ戻ります。

インターネットファクス/Eメールの受信印刷可能な用紙は、以下のとおりです。

A3, A4, A5-R, B4, B5, Folio

インターネットファクス/Eメールの受信時に、印刷可能な用紙がカセットにセットされていなかった場合には、手差しトレイに用紙をセットして印刷してください。

7

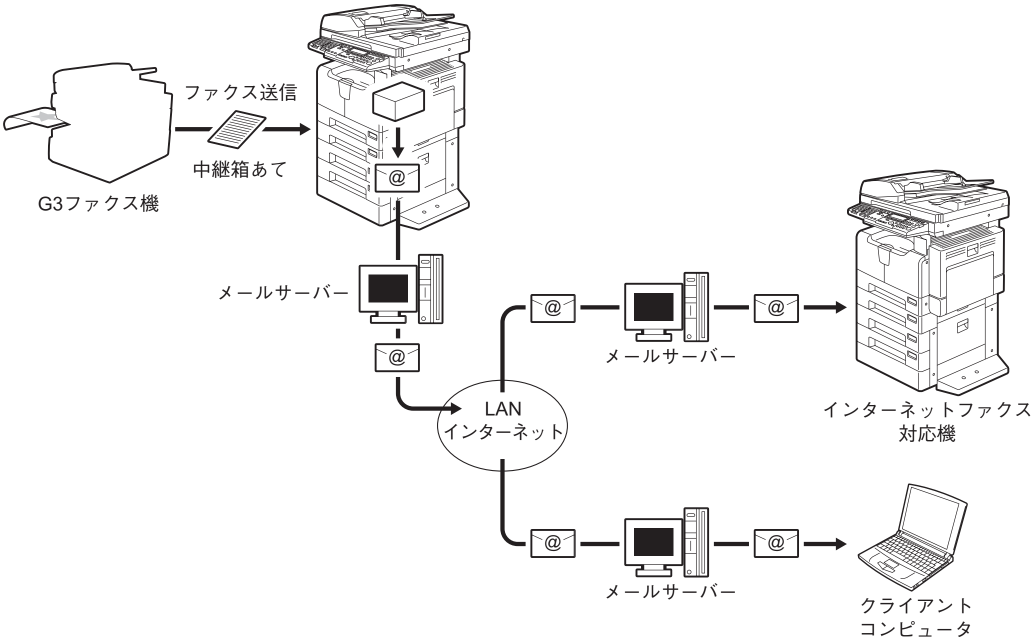
オンランプゲートウェイ

オンランプゲートウェイについて説明しています。

オンランプゲートウェイについて......76

オンランプゲートウェイについて

オンランプゲートウェイとは、受信したファクスデータを本機の中継箱に入れ、その中継箱に設定してあるＥメールアドレスに、インターネットファクスで送信する機能です。



本機のオンランプゲートウェイ機能を使用することで、インターネットファクス送信機能のないファクスから、インターネットファクスしか受信できない最終宛先（モデムが装着されていないコンピュータなど）に、インターネットファクスを送信できるようになります。
オンランプゲートウェイを利用するためには、以下のどちらかの設定が必要となります。

1. **本機に、転送用の中継箱が開設されており、受信したファクスに、転送用の中継箱のFコードが付加されている**
2. **本機にインターネットファクス受信転送機能が設定されている**
   詳しくは、**取扱説明書［ファクス編］**、**設定ガイド［スキャン編］**を参照してください。

補 足

- オプションのファクスキットが必要です。
- インターネットファクス送信の設定が必要です。詳しくは**設定ガイド［スキャン編］**を参照してください。
- オンランプゲートウェイの送受信の結果は、ジャーナルで確認することができます。また、以下の受付表や結果表を出力することができます。詳しくは**P.136「通信管理記録（ジャーナル）による確認」**および**取扱説明書［ファクス編］**を参照してください。

通信受付表	通信結果表
自局メイルボックス 他局メイルボックス 中継子局受付表	メモリ送信結果表 同報送信結果表 中継親局結果表 中継子局結果表 中継孫局結果表

8

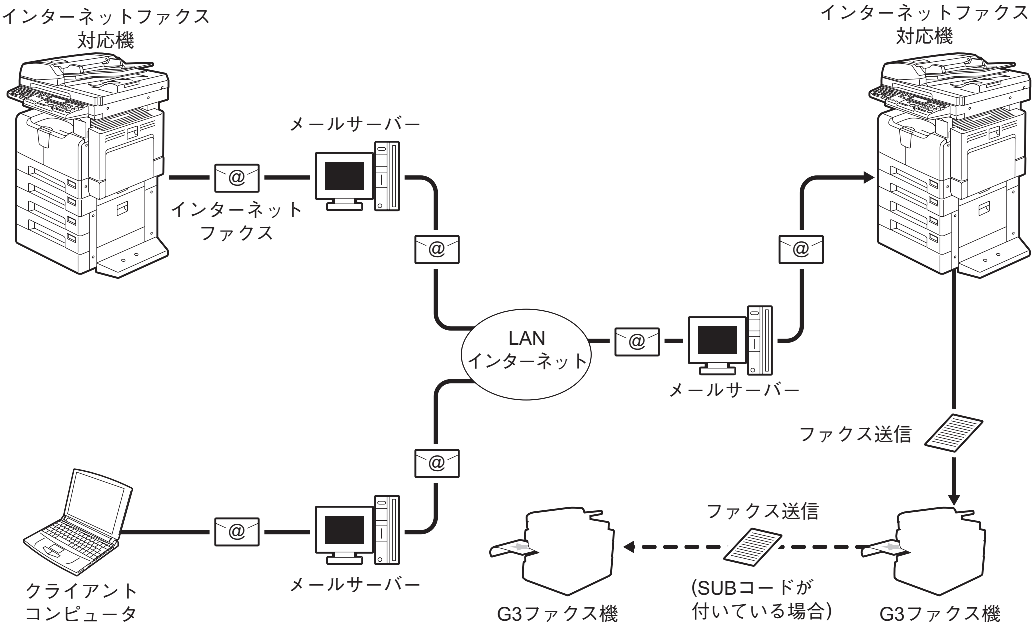
オフランプゲートウェイ

オフランプゲートウェイについて説明しています。

オフランプゲートウェイについて..78

オフランプゲートウェイについて

本機あてに送信されたインターネットファクスを、他のファクスにファクス送信する機能です。最終宛先がインターネットファクス非対応機であるようなときに、公衆回線を使う距離を短くすることができます。



補 足

- オプションのファクスキットが必要です。
- 本機および本機が含まれるネットワークの設定が必要です。詳しくは**ネットワーク管理ガイド[スキャン編]**および**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。
- DNSサーバーでの本機のホスト名が、host1.toshibatec-ifax.comである場合、本機に送信されるインターネットファクスのアドレスは、以下のフォーマットになっている必要があります。

  FAX=XXXXXXXXXXX@host1.toshibatec-ifax.com

  ＊ XXXXXXXXXXX 最終宛先となる電話番号
  詳しくは**取扱説明書[ファクス編]**を参照してください。
- オフランプゲートウェイの送受信の結果は、ジャーナルで確認することができます。また、以下の結果表を出力することができます。詳しくは**P.136「通信管理記録(ジャーナル)による確認」**および取扱説明書[ファクス編]を参照してください。

通信結果表
メモリ送信結果表 同報送信結果表

9

スキャン機能の設定

スキャン機能の色々な設定の変更方法について説明しています。

スキャン機能の設定について 80
解像度を変更する 80
ファイル名を入力する 81
ファイル形式を変更する..82
ファイルの保存先を変更する 82
両面原稿をスキャンする..83
原稿サイズを混載してスキャンする..83
画像回転をオンにする 84

スキャン機能の設定について

スキャン機能では解像度などの項目の設定を変更することができます。
各スキャン機能選択後、画面に「通信付加機能▼」と表示されている状態で、[解像度]ボタンや▼ボタンを押し、各項目を変更します。

実施するスキャン機能によって、変更できる項目や初期値は異なります。詳しくは、以下の表を参照してください。スキャンを実施すると、変更した設定値は初期値に戻ります。

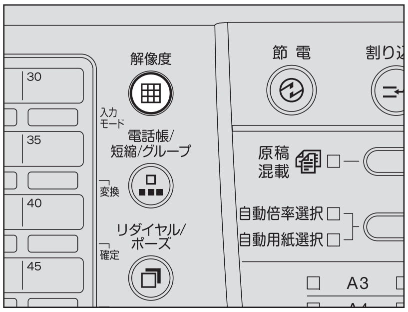
項目名	Eメール送信	ネットワークフォルダに保管	画像を取り込む
解像度	○(200dpi)	○(200dpi)	○(200dpi)
ファイル名	×	○(初期ファイル名)	×
ファイル形式	○(PDF)	○(PDF)	×
保存先	×	*2	×
両面*1	○(オフ)	○(オフ)	○(オフ)
混在サイズ原稿*1	○(オフ)	○(オフ)	○(オフ)
画像回転	○(オフ)	○(オフ)	○(オフ)

○:変更可能
×:変更または設定不可
(　)内は初期値

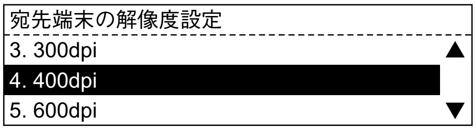
＊1　自動両面原稿送り装置(オプション)装着時のみ有効となります。
＊2　ファイルの保存先を、リモート1,リモート2から選択します。

解像度を変更する

1 [解像度]ボタンを押します。



2 ▲/▼ボタンで解像度を選択し、[OK]ボタンを押します。



ファイル名を入力する

1 **▼ボタンを押します。**

変更可能な項目が表示されます。

TO FILE （リモート1）
2006-08-20 11:56 M： 100%
解像度 ： 200dpi
通信付加機能 ▼

2 **▲/▼ボタンで「ファイル名」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

1.ファイル名	▲
2.ファイル形式	: PDF
3.保存先を選択して下さい	: リモート1
4.両面	: オフ ▼

3 **ファイル名を入力し、[OK]ボタンを押します。**

入力可能な文字数は、最大で半角64文字/全角32文字です。文字の入力方法については、以下を参照してください。

📖 P.104「文字入力のしかた」

AI辞書変換
入力=
DOC060820

注 意

- ファイル名入力画面を表示すると、通常時には「DOCYYMMDD.xxx」（YYMMDD：年月日）が初期表示され、テンプレート使用時にはあらかじめ設定してあるファイル名が初期表示されます。ファイル名を変更しない場合は、そのまま[OK]ボタンを押してください。なお、保存先のフォルダに同名のファイルが既存する場合は、ファイル名の末尾へ3桁の数字が順番に付加されます。（例：DOCYYMMDD-001.xxx）
- 以下の半角文字を入力することはできません。また、ファイル名の先頭へ半角スペースを入力することはできません。
  [ ] * ? / ￥ " | < > , : ; = +

ファイル形式を変更する

1 ▽ボタンを押します。

変更可能な項目が表示されます。

```
E-mailアドレス入力 (MAX192)
2006-08-20    11:56         M :   100%
解像度  :  200dpi
                          通信付加機能 ▼
```

2 △/▽ボタンで「ファイル形式」を選択し、[OK]ボタンを押します。

```
1. ファイル形式            : PDF    ▲
2. 両面                    : オフ
3. 混在サイズ原稿          : オフ
4. 画像回転                : オフ   ▼
```

3 △/▽ボタンで「PDF」、「マルチページTIFF」、「シングルページTIFF」を選択し、[OK]ボタンを押します。

「PDF」、「マルチページTIFF」を選択した場合は、複数ページファイルとして保存されます。

「シングルページTIFF」を選択した場合は、自動的に作成されたフォルダ内に1ページ1ファイルとして保存されます。

```
ファイル形式
1. PDF                              ▲
2. マルチページTIFF
3. シングルページTIFF               ▼
```

ファイルの保存先を変更する

1 ▽ボタンを押します。

変更可能な項目が表示されます。

```
TO FILE (リモート1)
2006-08-20    11:56         M :   100%
解像度  :  200dpi
                          通信付加機能 ▼
```

2 △/▽ボタンで「保存先を選択して下さい」を選択し、[OK]ボタンを押します。

```
1. ファイル名                       ▲
2. ファイル形式            : PDF
3. 保存先を選択して下さい  : リモート1
4. 両面                    : オフ   ▼
```

3 △/▽ボタンで、「リモート1」または「リモート2」を選択し、[OK]ボタンを押します。

「リモート1」、「リモート2」に保存先フォルダを設定する方法については、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。

```
4. 保存先を選択して下さい
1. リモート1                        ▲
2. リモート2
                                    ▼
```

両面原稿をスキャンする

1 ▼ボタンを押します。

変更可能な項目が表示されます。

E-mailアドレス入力 (MAX192)
2006-08-20 11:56 M : 100%
解像度 : 200dpi
通信付加機能 ▼

2 ▲/▼ボタンで「両面」を選択し、[OK]ボタンを押します。

1. ファイル形式	: PDF	▲
2. 両面	: オフ	
3. 混在サイズ原稿	: オフ	
4. 画像回転	: オフ	▼

3 ▲/▼ボタンで「左右とじ」または「上下とじ」を選択し、[OK]ボタンを押します。

両面
1. オフ ▲
2. 左右とじ
3. 上下とじ ▼

原稿サイズを混載してスキャンする

1 ▼ボタンを押します。

変更可能な項目が表示されます。

E-mailアドレス入力 (MAX192)
2006-08-20 11:56 M : 100%
解像度 : 200dpi
通信付加機能 ▼

2 ▲/▼ボタンで「混在サイズ原稿」を選択し、[OK]ボタンを押します。

1. ファイル形式	: PDF	▲
2. 両面	: オフ	
3. 混在サイズ原稿	: オフ	
4. 画像回転	: オフ	▼

3 ▲/▼ボタンで「オン」を選択し、[OK]ボタンを押します。

原稿サイズを混載しない場合、「オフ」を選択します。

混在サイズ原稿
1. オフ ▲
2. オン
▼

4 同じ幅の原稿をセットし、送信操作を行います。

混載可能な原稿サイズの組み合わせは、以下の通りです。
A3 - A4
B4 - B5
A4-R - FOLIO

補足

原稿のセット方法は、**取扱説明書[コピー編]**を参照してください。

注意

- 原稿サイズの混載は、自動両面原稿送り装置(オプション)を装着している場合にのみ有効です。
- 異なる幅の原稿サイズを混載することはできません。

画像回転をオンにする

1 ▽ボタンを押します。

変更可能な項目が表示されます。

E-mailアドレス入力 (MAX192)	
2006-08-20 11:56	M : 100%
解像度 : 200dpi	
	通信付加機能 ▼

2 △/▽ボタンで「画像回転」を選択し、[OK]ボタンを押します。

1. ファイル形式	: PDF	▲
2. 両面	: オフ	
3. 混在サイズ原稿	: オフ	
4. 画像回転	: オフ	▼

3 △/▽ボタンで「オン」または「オフ」を選択し、[OK]ボタンを押します。

「オン」を選択すると、A4-Rの向きにセットした原稿が、A4の向きの画像になります。

画像回転	
1. A → A オフ	▲
2. A → A オン	
	▼

10

宛先の指定方法

Eメール送信機能、インターネットファクス機能使用時の、宛先の指定方法について説明しています。

宛先の指定方法について 86
直接入力..86
ワンタッチボタン 87
短縮番号..88
ID検索 89
グループ番号..91
送信履歴..92
受信履歴..93
同報(マルチ)..94

同報(マルチ)の宛先確認 96
指定した宛先を確認する..96
指定した宛先を取り消す..96
指定した宛先を修正する..97

宛先の指定方法について

Eメール送信やインターネットファクスでは、機能を使用する際に宛先を入力します。色々な宛先の指定方法がありますので、用途に応じて使いやすい方法をお選びください。

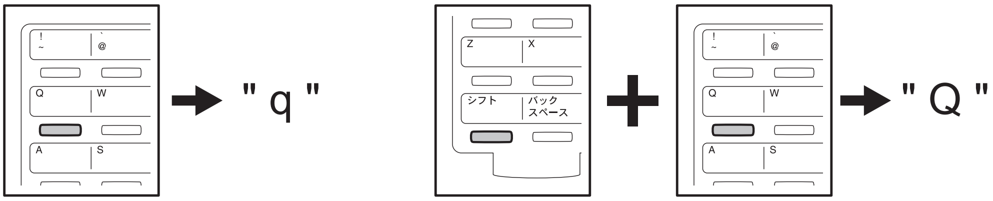
補 足

- 最大192文字(半角)まで入力できます。
- ワンタッチボタン、短縮番号、ID検索、グループ番号で宛先を指定する場合は、本機の電話帳を使用します。したがって、あらかじめ電話帳に宛先を登録しておく必要があります。宛先を電話帳に登録する方法は、P.99「電話帳に登録する」を参照してください。

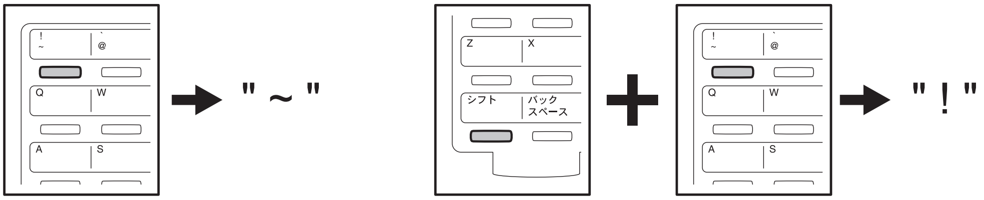
直接入力

Eメールやインターネットファクス送信時に、その場でEメールアドレスを入力する方法です。
画面に「E-mailアドレス入力 (MAX192)」と表示されているときに、ブックパネルのボタンを押して、Eメールアドレスを入力します。
アルファベットと記号は、拡張キーボードのブックパネルのタブを2枚ともめくった状態で入力します。数字はテンキーを使用して入力します。
P.18「本体操作パネル」
P.24「キーボード」

アルファベットの表示のあるボタンを押すと、半角の小文字を入力できます。[シフト]ボタンを押しながらボタンを押すと、半角の大文字を入力できます。



記号の表示は2段になっています。記号のボタンを押すと、下に表示されている記号を入力できます。[シフト]ボタンを押しながら記号のボタンを押すと、上に表示されている記号を入力できます。



1 **ブックパネルとテンキーで、Eメールアドレスを入力します。**

user01@toshibatec.com
2006-08-20　　11:56　　　　M：　100%
解像度　：　200dpi

2 **［スタート］ボタンを押します。**

補 足

複数のEメールアドレスを入力する場合や、複数の宛先の1つが、直接入力のEメールアドレスである場合には、［マルチ］ボタンを押してから、Eメールアドレスを入力してください。

P.96「同報（マルチ）の宛先確認」

ワンタッチボタン

1から75のワンタッチボタンにEメールアドレスを登録しておき、Eメールやインターネットファクス送信時に、そのワンタッチボタンを押すだけで、宛先を指定する方法です。

P.22「ワンタッチボタン1～75」

画面に「E-mailアドレス入力（MAX192）」と表示されているときに、ワンタッチボタンを1つ押します。

ワンタッチ番号
ワンタッチ番号=　　　　　10
東芝

ワンタッチ番号と、そのワンタッチボタンに割り当てられている局名が、メッセージ表示パネルに約2秒間表示されます。

補 足

- 指定できる宛先は1件です。
- ワンタッチボタンで宛先を指定するためには、電話帳にEメールアドレスとワンタッチ番号を登録しておく必要があります。ワンタッチ番号は1から75までの75個です。[*1]

＊1 テンプレート機能有効時は、ワンタッチ番号は1から65までの65個となります。
📖 P.116「ワンタッチ番号の登録」

- 押したワンタッチボタンに宛先が登録されていないときは、アラームが鳴り、メッセージ表示パネルに、「登録されていません」と表示されます。約2秒後に「E-mailアドレス入力(MAX192)」が表示されている画面に戻りますので、宛先が登録されているワンタッチボタンを押してください。

ワンタッチ番号
ワンタッチ番号= 10

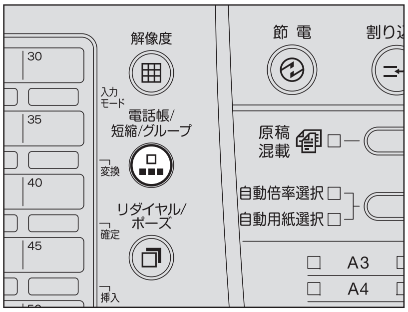
登録されていません

- ワンタッチリストを出力すると、ワンタッチボタンに登録されている宛先を確認することができます。
📖 P.132「ダイヤルリスト」

短縮番号

3桁の短縮番号にEメールアドレスを登録しておき、Eメールやインターネットファクス送信時に短縮番号を入力することで、宛先を指定する方法です。
画面に「E-mailアドレス入力(MAX192)」と表示されているときに操作して、宛先を指定します。

1 [電話帳/短縮/グループ]ボタンを押します。



2 ▲/▼ボタンで「1.短縮番号」を選択し、[OK]ボタンを押します。

ダイヤルリスト
1.短縮番号 ▲
2.ID検索
3.グループ番号 ▼

3 テンキーで短縮番号を入力し、[OK]ボタンまたは[スタート]ボタンを押します。

短縮番号と、その短縮番号の局名が、メッセージ表示パネルに約2秒間表示されます。

ダイヤルリスト	
短縮番号=	010
東芝	

補 足

- 指定できる宛先は1件です。
- 短縮番号で宛先を指定するためには、電話帳にEメールアドレスと短縮番号を登録しておく必要があります。短縮番号には、1から999までの3桁の番号を使います。最大300件まで登録できます。
  📖 P.111「短縮番号の登録」
- 入力した短縮番号に宛先が登録されていないときは、アラームが鳴り、メッセージ表示パネルに、「登録されていません」と表示されます。約2秒後に短縮番号入力画面に戻りますので、宛先が登録されている短縮番号を入力してください。

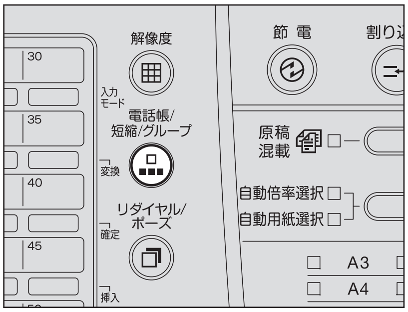
ダイヤルリスト	
短縮番号=	010
登録されていません	

- 短縮番号リストを出力すると、短縮番号に登録されている宛先を確認することができます。
  📖 P.132「ダイヤルリスト」

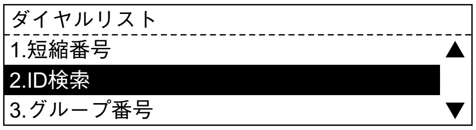
ID検索

Eメールやインターネットファクス送信時に、検索文字で宛先を検索して指定する方法です。画面に「E-mailアドレス入力（MAX192）」と表示されているときに操作して、宛先を指定します。

1 [電話帳/短縮/グループ]ボタンを押します。

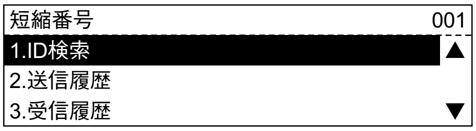


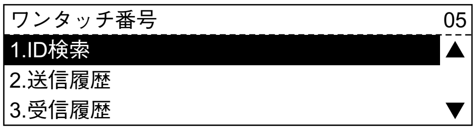
2 ▲/▼ボタンで「2.ID検索」を選択し、[OK]ボタンを押します。



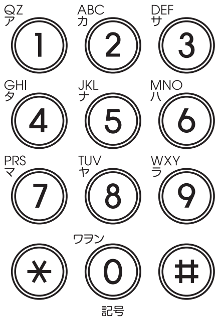
補 足

短縮番号やワンタッチ番号に宛先を登録する際にも、登録済みの宛先の中から、ID検索でEメールアドレスを探すことができます。その場合は「1.ID検索」を選択してください。



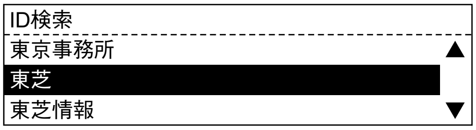


3 テンキーで検索文字を入力し、[OK]ボタンを押します。



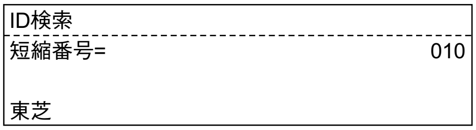
ダイヤルボタン ＼ 押す回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	ア	イ	ウ	エ	オ	Q	Z	1	
2	カ	キ	ク	ケ	コ	A	B	C	2
3	サ	シ	ス	セ	ソ	D	E	F	3
4	タ	チ	ツ	テ	ト	G	H	I	4
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	J	K	L	5
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	M	N	O	6
7	マ	ミ	ム	メ	モ	P	R	S	7
8	ヤ	ユ	ヨ	T	U	V	8		
9	ラ	リ	ル	レ	ロ	W	X	Y	9
0	ワ	ヲ	ン	0	記号				

＊ 「記号」を入力すると、検索文字として記号が登録されている宛先を、すべて表示します。



4 ▲/▼ボタンで宛先を選択し、[OK]ボタンまたは[スタート]ボタンを押します。

短縮番号と、その短縮番号の局名が、メッセージ表示パネルに約2秒間表示されます。



補 足

- 指定できる宛先は1件です。
- ID検索を利用するためには、電話帳に検索文字を登録しておく必要があります。検索文字には、半角英数字、半角カタカナ、半角記号を使用できます。
  📖 P.99「電話帳に登録する」
- 入力した検索文字が登録されている宛先が1件もない場合には、アラームが鳴り、メッセージ表示パネルに、「登録されていません」と表示されます。約2秒後に検索文字入力画面に戻りますので、再度検索文字を入力してください。

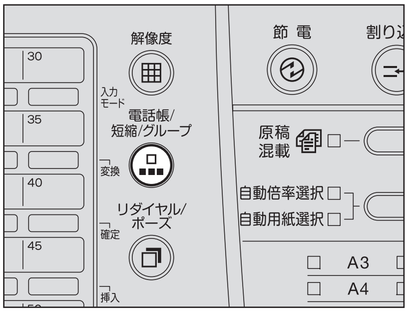
```
ID検索
ト

登録されていません
```

- ダイヤルリストの各リストで、登録されている宛先の検索文字を確認することができます。
  📖 P.132「ダイヤルリスト」

グループ番号

複数の宛先を登録したグループを作成しておき、Eメールやインターネットファクス送信時に、グループ番号を入力することで、宛先を検索して指定する方法です。同じ原稿を複数の宛先に送信するときに便利です。
画面に「E-mailアドレス入力 (MAX192)」と表示されているときに操作して、宛先を指定します。

1 **[電話帳/短縮/グループ番号]ボタンを押します。**



2 **▲/▼ボタンで「3.グループ番号」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

```
ダイヤルリスト
1.短縮番号        ▲
2.ID検索
3.グループ番号    ▼
```

3 **テンキーでグループ番号を入力し、[OK]ボタンまたは[スタート]ボタンを押します。**

グループ番号と、そのグループ番号の局名が、メッセージ表示パネルに約2秒間表示されます。

```
ダイヤルリスト
------------------------------------
グループ番号=                   0530

東芝グループ
```

補 足

- ファクスキット(オプション)を装着している場合は、グループ種類が「E-mailアドレス設定」として作成されているグループを宛先に指定してください。
- 指定できるグループは1件です。1つのグループに、375件の宛先を入れることができます。
  P.120「グループ番号の登録」
- 入力したグループ番号がないときは、アラームが鳴り、メッセージ表示パネルに、「登録されていません」と表示されます。約2秒後にグループ番号入力画面に戻りますので、登録されているグループ番号を入力してください。

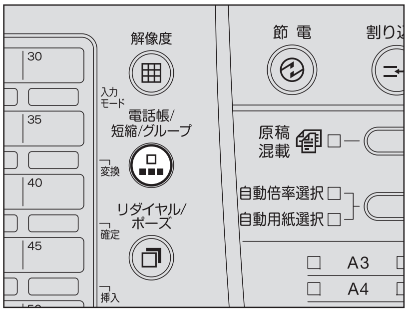
```
ダイヤルリスト
------------------------------------
グループ番号=                   0530

登録されていません
```

- グループ番号リストを出力すると、登録されているグループを確認することができます。
  P.132「ダイヤルリスト」

送信履歴

本機から送信したことのある宛先の中から宛先を選びます。最大20件の宛先が表示されます。

1 **[電話帳/短縮/グループ番号]ボタンを押します。**



2 **▲/▼ボタンで「4.送信履歴」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

送信履歴が表示されます。

```
ダイヤルリスト
------------------------------------
3.グループ番号                     ▲
4.送信履歴
5.受信履歴                         ▼
```

補 足

短縮番号やワンタッチ番号に宛先を登録する際にも、登録済みの宛先の中から、ID検索でEメールアドレスを探すことができます。その場合は「2.送信履歴」を選択してください。

```
短縮番号                    001
1.ID検索                     ▲
2.送信履歴
3.受信履歴                   ▼
```

```
ワンタッチ番号               05
1.ID検索                     ▲
2.送信履歴
3.受信履歴                   ▼
```

3 **▲/▼ボタンで宛先を選択し、[OK]ボタンまたは[スタート]ボタンを押します。**

```
送信履歴
user01@toshibatec.com
user02@toshibatec.com
user03@toshibatec.com
```

補 足

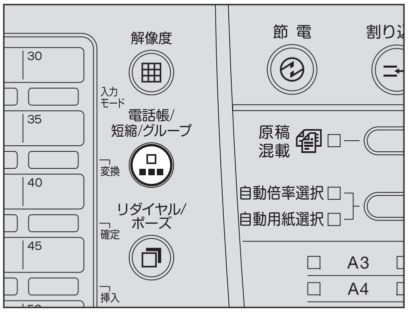
- 送信履歴にEメールやインターネットファクスの宛先がないときは、アラームが鳴り、メッセージ表示パネルに、「該当するアドレスはありません」と表示されます。約2秒後にダイヤルリスト画面に戻りますので、他の宛先選択方法で宛先を指定してください。
- 短縮番号の選択による送信はできません。

```
送信履歴

該当するアドレスはありません
```

受信履歴

本機で受信したことのある宛先の中から宛先を選びます。最大20件の宛先が表示されます。

1 **[電話帳/短縮/グループ番号]ボタンを押します。**



2 **▲/▼ボタンで「5.受信履歴」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

受信履歴が表示されます。

ダイヤルリスト	
3.グループ番号	▲
4.送信履歴	
5.受信履歴	▼

補 足

短縮番号やワンタッチ番号に宛先を登録する際にも、登録済みの宛先の中から、ID検索でEメールアドレスを探すことができます。その場合は「3.受信履歴」を選択してください。

短縮番号	001
1.ID検索	▲
2.送信履歴	
3.受信履歴	▼

ワンタッチ番号	05
1.ID検索	▲
2.送信履歴	
3.受信履歴	▼

3 **▲/▼ボタンで宛先を選択し、[OK]ボタンまたは[スタート]ボタンを押します。**

受信履歴
user01@toshibatec.com
user02@toshibatec.com
user03@toshibatec.com

補 足

受信履歴にEメールやインターネットファクスの宛先がないときは、アラームが鳴り、メッセージ表示パネルに、「該当するアドレスはありません」と表示されます。約2秒後にダイヤルリスト画面に戻りますので、他の宛先選択方法で宛先を指定してください。

受信履歴
該当するアドレスはありません

同報（マルチ）

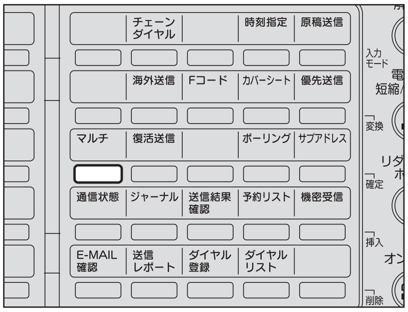
Eメールやインターネットファクス送信時に、複数の宛先を指定する方法です。ワンタッチボタン、短縮番号、ID検索、グループ番号を組み合わせて選択できます。Eメールアドレスを直接入力することもできます。1度の送信で指定できる最大宛先数は、375件です。

画面に「E-mailアドレス入力 (MAX192)」と表示されているときに操作して、宛先を指定します。

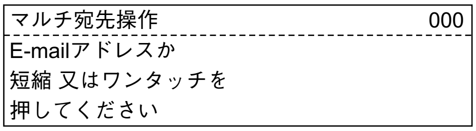
補 足

電話番号のみが登録されている宛先は、指定できません。

1 **[マルチ]ボタンを押します。**



マルチ宛先操作画面が表示されます。

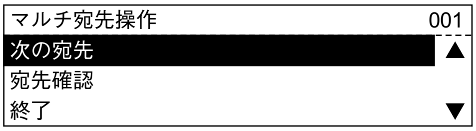


2 **宛先を指定します。**

宛先の指定方法については、以下を参照してください。

P.86「直接入力」
P.87「ワンタッチボタン」
P.88「短縮番号」
P.89「ID検索」
P.91「グループ番号」
P.92「送信履歴」
P.93「受信履歴」

3 **宛先を指定すると、マルチ宛先操作確認画面が表示されます。続けて宛先を指定する場合には、▲/▼ボタンで「次の宛先」を選択し、[OK]ボタンを押します。**



- 手順2と手順3を繰り返し、宛先を選択してください。すべての宛先の指定が終了したら、手順4に進んでください。
- 指定した宛先を、変更したり取り消したりする場合は、P.96「同報(マルチ)の宛先確認」を参照してください。

4 **すべての宛先の指定が終了したら、▲/▼ボタンで[終了]を選択し、[OK]ボタンまたは[スタート]ボタンを押します。**

同報(マルチ)の宛先確認

マルチ宛先操作確認画面にて指定した宛先に対し、確認、取り消し、修正を行います。

指定した宛先を確認する

1 **マルチ宛先操作確認画面で、▲/▼ボタンを使って「宛先確認」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

マルチ宛先操作	004
次の宛先	▲
宛先確認	
終了	▼

2 **指定されている宛先がすべて表示されます。▲/▼ボタンで確認してください。**

[戻る/取消]ボタンを押すと、マルチ宛先操作確認画面に戻ります。

001.東芝	▲
002.関西支社	
003.関東支社	▼
取り消し　◀　▶　修正	

指定した宛先を取り消す

1 **マルチ宛先操作確認画面で、▲/▼ボタンを使って「宛先確認」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

マルチ宛先操作	004
次の宛先	▲
宛先確認	
終了	▼

2 **指定されている宛先が、すべて表示されます。▲/▼ボタンで、取り消したい宛先を選択し、◀ボタンを押します。**

001.東芝	▲
002.関西支社	
003.関東支社	▼
取り消し　◀　▶　修正	

3 **▲/▼ボタンで「1.はい」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

取り消しを中止する場合は「いいえ」を選択し、[OK]ボタンを押します。

取り消しますか?	
短縮番号=	050
1.はい	▲
2.いいえ	▼

4 **取り消した宛先の確認画面が約2秒間表示され、宛先選択画面に戻ります。**

マルチ宛先操作	004
短縮番号=	050
関西支社	
取り消しました	

001.東芝	▲
002.関東支社	
003.九州支社	▼
取り消し　◀　▶　修正	

続けて取り消す場合には、手順2から実施してください。
取り消しを終了する場合には、[戻る/取消]ボタンを押してください。マルチ宛先操作確認画面に戻ります。

指定した宛先を修正する

1 **マルチ宛先操作確認画面で、▲/▼ボタンを使って「宛先確認」を選択し、[OK] ボタンを押します。**

マルチ宛先操作	004
次の宛先	▲
宛先確認	
終了	▼

2 **指定されている宛先が、すべて表示されます。▲/▼ボタンで、修正したい宛先を選択し、▶ボタンを押します。**

001.東芝			▲
002.関西支社			
003.関東支社			▼
取り消し	◀	▶	修正

3 **修正したい宛先の確認画面が約2秒間表示され、宛先入力画面が表示されます。**

直接入力（ワンタッチボタン/短縮番号に未登録）の宛先を選択した場合、宛先の確認画面は表示されずに、すぐに宛先入力画面が表示されます。

マルチ宛先操作	004
短縮番号＝	020
関東支社	

マルチ宛先操作	004
短縮番号＝(1-999)	
	▌

4 **宛先を指定します。**

宛先の指定方法については、以下を参照してください。

P.86「直接入力」
P.87「ワンタッチボタン」
P.88「短縮番号」
P.89「ID検索」
P.91「グループ番号」
P.92「送信履歴」
P.93「受信履歴」

002.東芝			
003.関西支社			
004.東北支社			
取り消し	◀	▶	修正

宛先が入れ替わります。

5 **続けて修正する場合には、手順2から実施してください。**

修正を終了する場合には、[戻る/取消] ボタンを押してください。マルチ宛先操作確認画面に戻ります。

11

電話帳に登録する

本機の操作パネルから、電話帳にEメールアドレスを登録する方法について説明しています。

電話帳に登録する方法について....................100
文字入力のしかた....................100
局名の入力....................101
Eメールアドレスの入力....................110
ダイヤル登録のしかた....................111
短縮番号の登録....................111
ワンタッチ番号の登録....................116
グループ番号の登録....................120

電話帳に登録する方法について

本機の電話帳にEメールアドレスを登録するには、本機の操作パネルを使用する方法と、TopAccessを使用する方法があります。ここでは、本機の操作パネルから、電話帳に局名やEメールアドレスを登録する方法について説明します。
TopAccessから登録する方法については、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。

文字入力のしかた

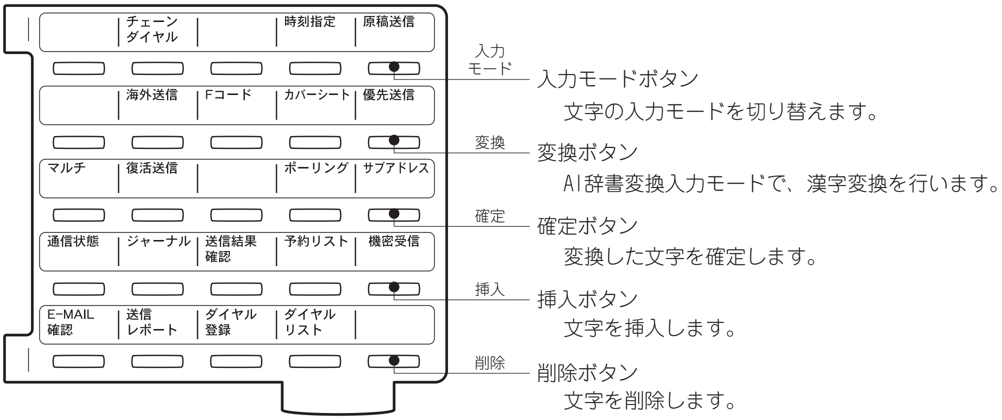
本機には、以下の項目を登録できます。
- 局名
- 電話番号
- サブ番号
- オプション指定
- Eメールアドレス
- Eメールオプション

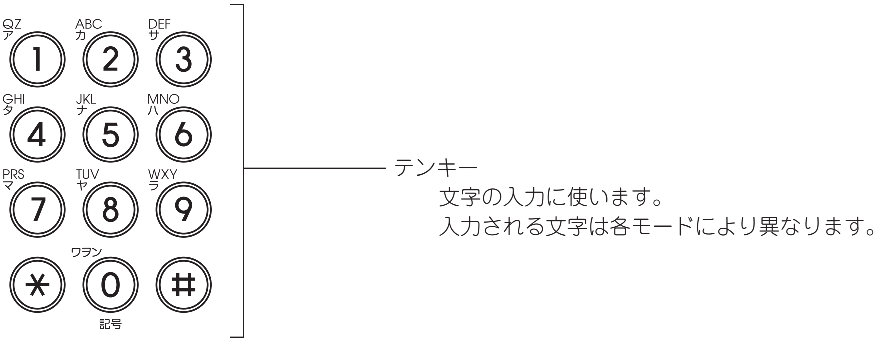
局名はテンキーで入力します。Eメールアドレスのアルファベットは拡張キーボードのブックパネルで入力し、数字はテンキーで入力します。

補 足

電話番号、サブ番号、オプション指定は、ファクスキット(オプション)装着時のみ登録できます。詳しくは、**取扱説明書[ファクス編]**を参照してください。

文字入力に使うボタン





局名の入力

操作パネルのテンキーで入力します。数字、英字(大文字／小文字)、記号、カタカナ、ひらがな、漢字を入力できます。

文字は、[入力モード]で文字の種類を切り替えてからテンキーおよび▲▼◀▶で入力します。

入力モードの種類は以下のとおりです。

- AI辞書変換入力モード　:本装置の辞書* を使って漢字を入力します。
- ひらがな入力モード　:ひらがなを入力します。
- 半角カタカナ入力モード　:半角カタカナを入力します。
- 半角英数字入力モード　:半角英数字を入力します。
- 文字コード入力モード　:文字コード表のコード番号で入力します。

補足

- 本機の辞書には、会社名・人名・地名・共通語(学校、図書館、株式等)・部所名(総務、人事等)が登録されています。
- 第二水準文字には対応していません。

テンキーと入力する文字の関係

テンキーで入力される文字は入力モードにより異なります。各入力モードでの文字の割り当ては、次のとおりです。

ひらがな入力モードで入力される文字

テンキー左上に記されているカタカナをひらがなで入力します。

テンキー	押す回数→														
1	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ					
2	か	き	く	け	こ	が	ぎ	ぐ	げ	ご					
3	さ	し	す	せ	そ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ					
4	た	ち	つ	て	と	っ	だ	ぢ	づ	で	ど				
5	な	に	ぬ	ね	の										
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	ば	び	ぶ	べ	ぼ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
7	ま	み	む	め	も										
8	や	ゆ	よ	ゃ	ゅ	ょ									
9	ら	り	る	れ	ろ										
0	わ	を	ん												

半角カタカナ入力モードで入力される文字

テンキー左上に記されているカタカナを入力します。

テンキー	押す回数→									
1	ア	イ	ウ	エ	オ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ
2	カ	キ	ク	ケ	コ					
3	サ	シ	ス	セ	ソ					
4	タ	チ	ツ	テ	ト	ッ				
5	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ					
6	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ					
7	マ	ミ	ム	メ	モ					
8	ヤ	ユ	ヨ	ャ	ュ	ョ				
9	ラ	リ	ル	レ	ロ					
0	ワ	ヲ	ン	゛	゜	ー	.			

半角英数字入力モードで入力される文字

テンキー左上に記されている英字と数字を入力します。

テンキー	押す回数→																			
1	Q	Z	1	q	z															
2	A	B	C	2	a	b	c													
3	D	E	F	3	d	e	f													
4	G	H	I	4	g	h	i													
5	J	K	L	5	j	k	l													
6	M	N	O	6	m	n	o													
7	P	R	S	7	p	r	s													
8	T	U	V	8	t	u	v													
9	W	X	Y	9	w	x	y													
0	(	+	)	ｽﾍﾟｰｽ	0	!	“	#	$	%	&	‘	*	,	-	.	/	:	=	?	@

文字コード入力モードで入力される文字

「文字コード表」に掲載されている文字を入力することができます。なお、使用できない文字のコードを入力した場合は、その際に表示はされますが、[OK]ボタンを押すと「〓」に置き換わります。

📖 P.146「文字コード表」

AI辞書変換入力モードで入力される文字

入力する漢字の読みを、テンキー左上に記されているカタカナに従い入力します。

テンキー	対応する文字
1	あ行（あいうえお）
2	か行（かきくけこ）
3	さ行（さしすせそ）
4	た行（たちつてと）
5	な行（なにぬねの）
6	は行（はひふへほ）
7	ま行（まみむめも）
8	や行（やゆよ）
9	ら行（らりるれろ）
0	わ行（わをん）

入力モードの切り替えかた

文字の種類は、メッセージ表示パネルの1行目に表示されます。[入力モード]ボタンを押して、入力したい文字の種類に合わせます。
入力モードは、[入力モード]ボタンを押すごとに次のように切り替わります。

＊「　」内は、メッセージ表示パネルの表示です。

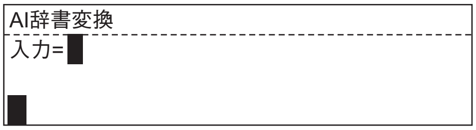
→ 漢字「AI辞書変換」→ ひらがな「ひらがな（あいう・・・）」→ 半角カタカナ「ｶﾀｶﾅ（ｱｲｳ…）」→ 半角英数字「ALPHABET（ABC2abc...）」→ 文字コード「文字コード」→（漢字に戻る）

文字入力のしかた

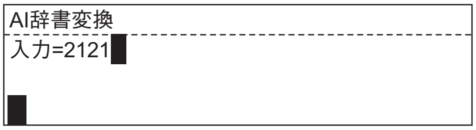
漢字（AI辞書変換入力）の入力のしかた

例）「海外」と入力

1 **[入力モード]ボタンを押して、AI辞書変換入力モードにします。**

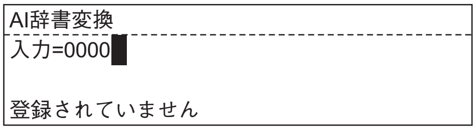


2 **ひらがな読みの「かいがい」に対応する[2 1 2 1]を、テンキーで入力します。**

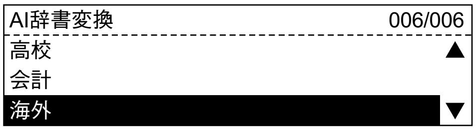


3 **[変換]ボタンを押すと、候補漢字が表示されます。**

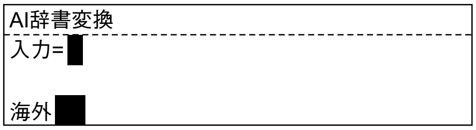
候補漢字が登録されていない場合、2秒間「登録されていません」と表示します。



4 **▲/▼ボタンで候補を選択し、[確定]ボタンを押します。**



文字が確定します。



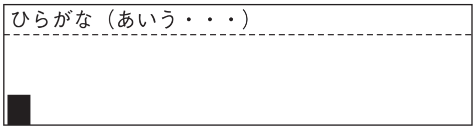
補 足

候補漢字に該当する候補がない場合は、文字コード入力で入力してください。
📖 P.146「文字コード表」

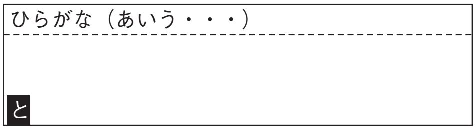
ひらがなの入力のしかた

例)「とうしば」と入力

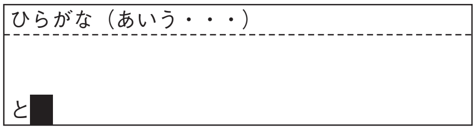
1 **[入力モード]ボタンを押して、ひらがな入力モードにします。**



2 **テンキーで[4]を数回押して、「と」を入力します。**



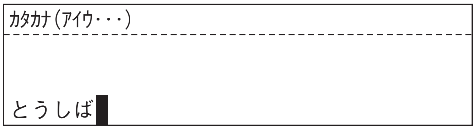
3 **▶ボタンまたは[確定]ボタンを押して、カーソルを右に移動させます。**



補 足

異なるテンキーの文字を入力するときは、▶ボタンまたは[確定]ボタンを押さずに、そのまま入力することができます。

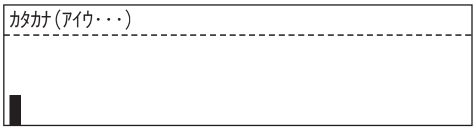
4 **同様に、次の文字をテンキーで入力します。**



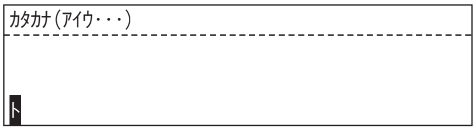
半角カタカナの入力のしかた

例)「トウシバ゛」と入力

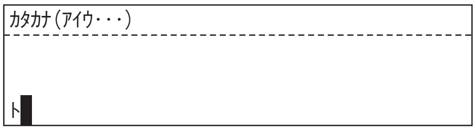
1 **[入力モード]ボタンを押して、半角カタカナ入力モードにします。**



2 **テンキーで[4]を数回押して「ト」を入力します。**



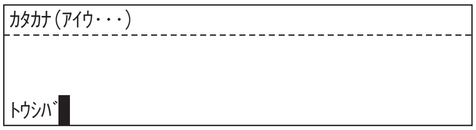
3 **▶ボタンまたは[確定]ボタンを押して、カーソルを右に移動させます。**



補 足

異なるテンキーの文字を入力するときは、▶ボタンまたは[確定]ボタンを押さずに、そのまま入力することができます。

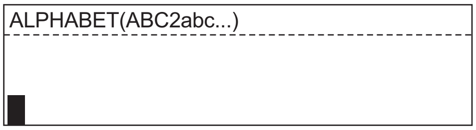
4 **同様に、次の文字をテンキーで入力します。**



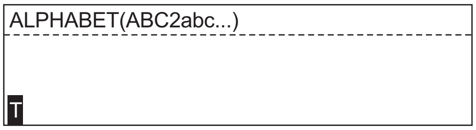
半角英数字の入力のしかた

例)「TOSHIBA」と入力

1 **[入力モード]ボタンを押して、半角英数字入力モードにします。**



2 **テンキーの[8]を押して、「T」を入力します。**



3 ▶ボタンまたは[確定]ボタンを押して、カーソルを右に移動させます。

```
ALPHABET(ABC2abc...)
--------------------

T
```

補足

異なるテンキーの文字を入力するときは、▶ボタンまたは[確定]ボタンを押さずに、そのまま入力することができます。

4 同様に、次の文字をテンキーで入力します。

```
ALPHABET(ABC2abc...)
--------------------

TOSHIBA
```

文字コード入力のしかた

例)「東芝」と入力

1 [入力モード]ボタンを押して、文字コード入力モードにします。

```
文字コード
--------------------
入力=
```

2 文字コード表で「東」の文字コードを探し、入力します。

P.146「文字コード表」

```
文字コード
--------------------
入力=3776
```

3 入力したコードに該当する文字が表示されます。

```
文字コード
--------------------
入力=

東
```

4 同様に、次の文字をテンキーで入力します。

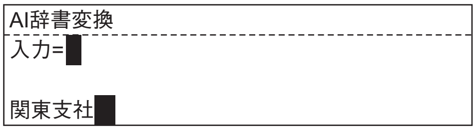
```
文字コード
--------------------
入力=

東芝
```

文字の修正のしかた

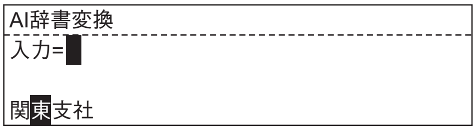
上書き
すでに入力されている文字の上に、修正する文字を入力します。

1 **(▼)ボタンを1回押して、入力中の文字列が表示されている行に、カーソルを移動させます。**

ひらがな、半角カタカナ、半角英数字の各入力モードのときは、この操作は不要です。

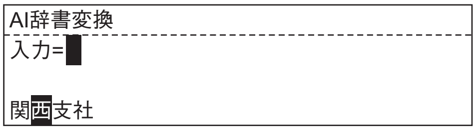


2 **(◀)/(▶)ボタンで、上書きする文字にカーソルを合わせます。**



3 **(▲)ボタンを1回押して、「入力=」と表示されている行に、カーソルを移動させます。新しい文字を入力し、[確定]ボタンを押します。**

ひらがな、半角カタカナ、半角英数字の各入力モードのときは、この操作は不要です。

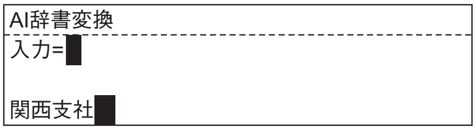


補 足

半角文字の上に全角文字を上書きする場合、半角文字は2文字上書きされます。

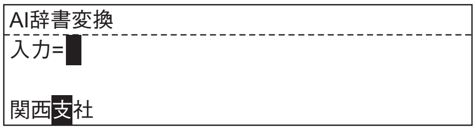
挿入
すでに入力されている文字の間に文字を挿入します。

1 **(▼)ボタンを1回押して、入力中の文字列が表示されている行に、カーソルを移動させます。**



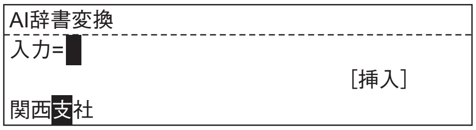
ひらがな、半角カタカナ、半角英数字の各入力モードのときは、この操作は不要です。

2 **(◀)/(▶)ボタンで、を挿入する位置の後ろの文字にカーソルを合わせます。**

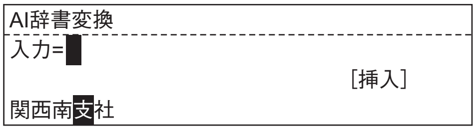


3 **[挿入]ボタンを押します。**

挿入モードとなり、画面に[挿入]と表示されます。もう一度[挿入]ボタンを押すと表示は消え、上書きモードに戻ります。



4 **ボタンを1回押して、「入力=」と表示されている行に、カーソルを移動させます。新しい文字を入力し、[確定]ボタンを押します。**



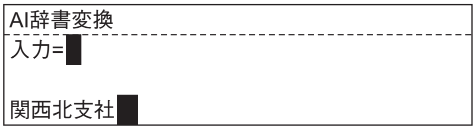
ひらがな、半角カタカナ、半角英数字の各入力モードのときは、この操作は不要です。

削除

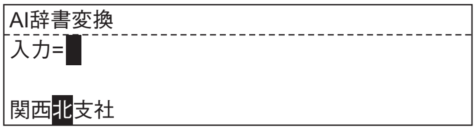
不要な文字を削除します。

1 **ボタンを1回押して、入力中の文字列が表示されている行に、カーソルを移動させます。**

ひらがな、半角カタカナ、半角英数字の各入力モードのときは、この操作は不要です。

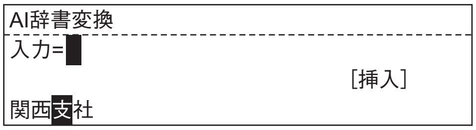


2 **/ボタンで、削除する文字にカーソルを合わせます。**



3 **[挿入]ボタンを押し、画面に「[挿入]」と表示されている状態で、[削除]ボタンを押します。**

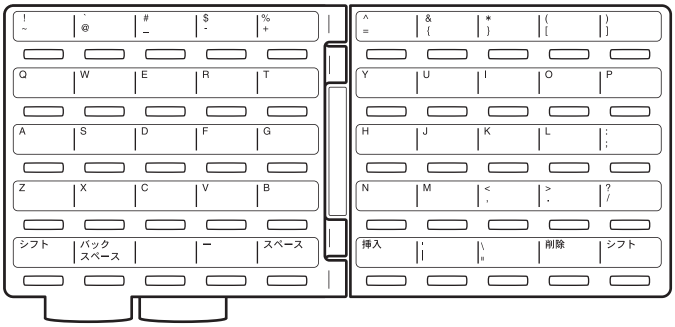
文字が削除されます。



画面に"[挿入]"と表示されていない状態で、[削除]ボタンを押すと、カーソルのあった文字が空白となります。

Eメールアドレスの入力

Eメールアドレスは、拡張キーボードのブックパネルのタブを、2枚ともめくった状態で入力します。数字はテンキーを使用して入力します。



1)　[シフト]ボタン
アルファベットの大文字や、上の段に表示されている文字を入力するときに押します。

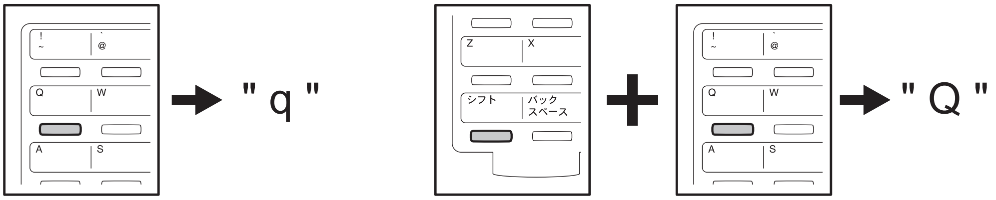
2)　[バックスペース]ボタン
カーソルのある文字の、1つ前の文字を削除します。

3)　[スペース]ボタン
1文字分の空白を入れます。

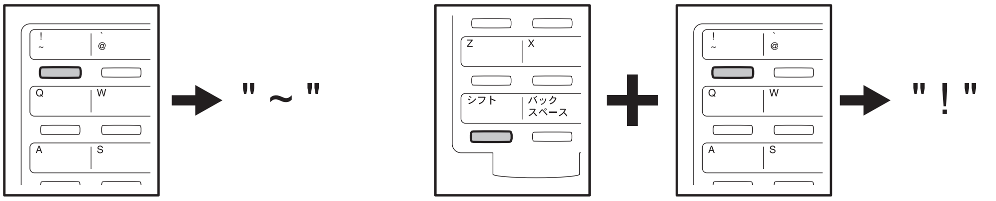
4)　[挿入]ボタン
選択している文字の1つ前に、文字を入れます。

5)　[削除]ボタン
選択した文字を削除します。

アルファベットの表示のあるボタンを押すと、半角の小文字を入力できます。[シフト]ボタンを押しながらボタンを押すと、半角の大文字を入力できます。



記号の表示は2段になっています。記号のボタンを押すと、下の段に表示されている文字を入力できます。[シフト]ボタンを押しながら記号のボタンを押すと、上に表示されている文字を入力できます。



ダイヤル登録のしかた

短縮番号の登録

本機の電話帳に宛先を登録する場合は、短縮番号かワンタッチ番号のどちらかを入力する必要があります。短縮番号は300件、ワンタッチ番号は75件登録できます。1つの宛先に、短縮番号とワンタッチ番号の両方を入力することもできます。
短縮番号は3桁の数字で、1から999までのお好みの番号を使うことができます。ワンタッチ番号は1から75までの番号が使えます。

補 足

- 短縮番号の登録は、TopAccessから行うこともできます。TopAccessから登録する方法については、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。
- テンプレート機能をオンにしている場合には、登録できるワンタッチ番号は65件となります。
- 短縮番号リストを出力すると、短縮番号が登録されている宛先を確認できます。
P.132「ダイヤルリスト」

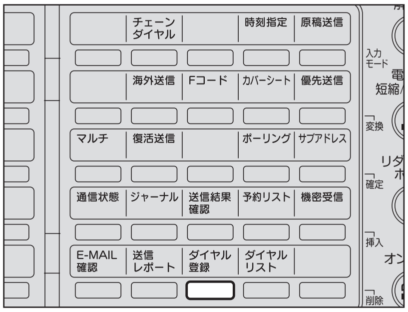
短縮番号の登録のしかた

1 **[スキャン]ボタンを押して、スキャンモードに切り替えます。**
次に、▲/▼ボタンで「Eメール送信」を選択し、[OK]ボタンを押します。

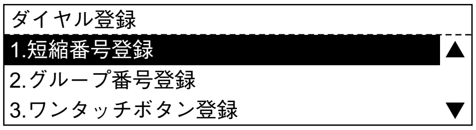
注 意

ファクスキットが装着されている場合は、以下のモードでも登録可能となります。
- [ファクス]ボタンを1回押してファクスモードに切り替える。
- [ファクス]ボタンを2回押して、インターネットファクスモードに切り替える。

2 **ダイレクトファンクションアクセスボタンの ダイヤル登録 を押します。**



ダイヤル登録選択画面が表示されます。



3 **△/▽ボタンで「1.短縮番号登録」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

短縮番号登録選択画面が表示されます。

ダイヤル登録
1.短縮番号登録 ▲
2.グループ番号登録
3.ワンタッチボタン登録 ▼

4 **テンキーで短縮番号(1～999)を入力し、[OK]ボタンを押します。**

短縮番号は、先頭に00を付けて入力することもできます。

短縮番号
短縮番号=(1-999)
1

補 足

入力した短縮番号がすでに使われている場合は、「登録済みです」というメッセージが約2秒間表示されたのち、短縮番号修正画面になります。

△/▽ボタンで実施する項目を選択し、[OK]ボタンを押してください。

短縮番号 001
TOSHIBA
登録済みです

短縮番号 001
1.取り消し ▲
2.修正
3.変更なし ▼

「1.取り消し」

登録されている宛先情報を取り消します。手順4から実施してください。

「2. 修正」

登録されている宛先情報を修正します。手順5から実施してください。

「3. 変更なし」

登録されている宛先情報を変更しません。手順4から実施してください。

5 **△/▽ボタンで「2.局名」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

局名の入力画面が表示されます。

短縮番号 001
1.終了 ▲
2.局名
3.電話番号 ▼

6 **テンキーで局名(最大、半角で20文字、全角で10文字)を入力し、[OK]ボタンを押します。**

📖 P.101「局名の入力」

ひらがな(あいう・・・)

7 **検索文字を確認または設定し、[OK]ボタンを押します。**

📖 P.89「ID検索」

短縮番号 001
[OK] :登録終了 [0-9] :検索文字修正
局名 =東芝
検索文字 = ト

8 **▲/▼ボタンで「6.E-mailアドレス」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

Eメールアドレス入力画面が表示されます。

短縮番号	001
4.サブ番号	▲
5.オプション指定	
6.E-mailアドレス	▼

9 **拡張キーボードとテンキーでEメールアドレスを入力し、[OK]ボタンを押します。**

[電話帳/短縮/グループ番号]ボタンを押し、ID検索、送信履歴、受信履歴から選択して、Eメールアドレスを入力することもできます。

📖 P.89「ID検索」
📖 P.92「送信履歴」
📖 P.93「受信履歴」
📖 P.110「Eメールアドレスの入力」

短縮番号	001
E-mailアドレスか	
短縮を押してください	

補 足

- 送信レポートの出力が不要の場合は、手順15に進んでください。
- 送信レポートは、インターネットファクス送信時のみ出力されます。インターネットファクスを送信するためには、ファクスキット(オプション)が必要です。
- 電話番号、サブ番号、オプション指定は、ファクスキット(オプション)装着時のみ登録できます。詳しくは、**取扱説明書[ファクス編]**を参照してください。

10 **▲/▼ボタンで「7.E-mailオプション」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

短縮番号	001
5.オプション指定	▲
6.E-mailアドレス	
7.E-mailオプション	▼

11 **▲/▼ボタンで「2.オン」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

E-mailオプション	
1.オフ	▲
2.オン	
	▼

12 **▲/▼ボタンで「2.送信レポート」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

E-mailオプション	
1.終了	▲
2.送信レポート	
	▼

13 **「2.オン」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

送信レポート
1.オフ ▲
2.オン
▼

補 足

送信レポートの出力条件や原稿の付加は、ファクスの「メモリ送信結果表」と同じ設定となります。詳しくは、**取扱説明書[ファクス編]**を参照してください。

14 **(▲)/(▼)ボタンで「1.終了」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

E-mailオプション
1.終了 ▲
2.送信レポート
▼

15 **(▲)/(▼)ボタンで「1.終了」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

短縮番号 001
1.終了 ▲
2.局名
3.電話番号 ▼

注 意

局名とEメールアドレスは、必ず入力してください。これらが入力されていない状態で手順15を行うと、アラームが鳴り、「宛先が未登録です」のメッセージが表示されます。約2秒後に短縮番号の登録画面に戻りますので、再度手順4から実施してください。

短縮番号 001
宛先が未登録です

16 入力中の宛先を、ワンタッチボタンに割り当てる場合には、割り当てたいワンタッチボタンを押します。

短縮番号　001
登録するワンタッチか、
又は「OK」を押して下さい

P.22「ワンタッチボタン1～75」

ワンタッチボタンに割り当てない場合は、[OK]ボタンを押します。

「操作完了しました」のメッセージが、約2秒間表示され、短縮番号登録画面に戻ります。続けて短縮番号の登録を行う場合は、手順4～手順15を行ってください。

短縮番号　001
操作完了しました

短縮番号
短縮番号=（1-999）

補 足

押したワンタッチボタンがすでに使われている場合は、「登録済みです」というメッセージが約2秒間表示されたのち、ワンタッチ番号修正画面になります。

短縮番号　001
ワンタッチ番号=　02
東芝
登録済みです

(▲)/(▼)ボタンで実施する項目を選択し、[OK]ボタンを押してください。

短縮番号　0
1.取り消し ▲
2.修正
3.変更なし ▼

「1.取り消し」

登録されている宛先情報を取り消します。手順16から実施してください。

「2. 変更なし」

登録されている宛先情報を変更しません。手順16から実施してください。

17 [リセット]ボタンを押して、基本画面に戻ります。

ワンタッチ番号の登録

ワンタッチ番号は75件登録できます。1つの宛先に、ワンタッチ番号と短縮番号の両方を入力することもできます。
ワンタッチ番号は1から75までの番号が使えます。短縮番号は3桁の数字で、1から999までのお好みの番号が使えます。

補 足

- ワンタッチ番号の登録は、TopAccessから行うこともできます。TopAccessから登録する方法については、**設定ガイド[スキャン編]**を参照してください。
- テンプレート機能をオンにしている場合には、登録できるワンタッチ番号は65件となります。
- ワンタッチリストを出力すると、短縮番号が登録されている宛先を確認できます。
  P.132「ダイヤルリスト」

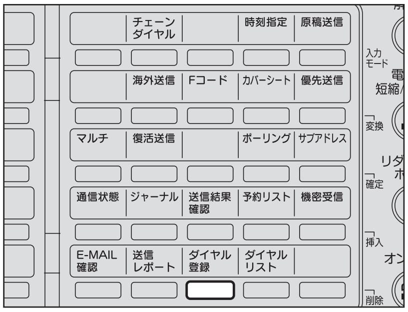
ワンタッチ番号の登録のしかた

1 ［スキャン］ボタンを押して、スキャンモードに切り替えます。
次に、▲/▼ボタンで「Eメール送信」を選択し、［OK］ボタンを押します。

補 足

ファクスキットが装着されている場合は、以下のモードでも登録可能となります。
- ［ファクス］ボタンを1回押してファクスモードに切り替える。
- ［ファクス］ボタンを2回押して、インターネットファクスモードに切り替える。

2 ダイレクトファンクションアクセスボタンの ダイヤル登録 を押します。



ダイヤル登録選択画面が表示されます。

ダイヤル登録
1.短縮番号登録 ▲
2.グループ番号登録
3.ワンタッチボタン登録 ▼

3 **▲/▼ボタンで「3.ワンタッチボタン登録」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

ワンタッチボタン登録選択画面が表示されます。

```
ダイヤル登録
1.短縮番号登録            ▲
2.グループ番号登録
3.ワンタッチボタン登録    ▼
```

4 **登録を行うワンタッチボタン(1～75)を押します。**

```
ワンタッチ番号
ワンタッチキーを押して下さい
```

補 足

入力したワンタッチボタンがすでに使われている場合は、「登録済みです」というメッセージが約2秒間表示されたのち、ワンタッチ番号修正画面になります。

```
ワンタッチ番号            05
ワンタッチ番号=           05
TOSHIBA
登録済みです
```

▲/▼ボタンで実施する項目を選択し、[OK]ボタンを押してください。

```
ワンタッチ番号            05
1.取り消し                ▲
2.修正
3.変更なし                ▼
```

「1.取り消し」

登録されている内容を取り消して、新しい登録を行います。手順4から実施してください。

「2.修正」

登録されている内容を修正します。手順5から実施してください。

「3.変更なし」

登録されている内容を変更しないで、ワンタッチ登録画面に戻ります。手順4から実施してください。

5 **▲/▼ボタンで「2.局名」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

局名の入力画面が表示されます。

```
ワンタッチ番号            05
1.終了                    ▲
2.局名
3.電話番号                ▼
```

6 **テンキーで局名(最大、半角で20文字、全角で10文字)を入力し、[OK]ボタンを押します。**

P.101「局名の入力」

```
ひらがな(あいう・・・)
```

7 検索文字を確認または設定し、[OK]ボタンを押します。

P.89「ID検索」

ワンタッチ番号 05
［OK］：登録終了 ［0-9］：検索文字修正
局名 =東芝
検索文字 = ト

8 ▲/▼ボタンで「6.E-mailアドレス」を選択し、[OK]ボタンを押します。

Eメールアドレス入力画面が表示されます。

ワンタッチ番号 05
4.サブ番号 ▲
5.オプション指定
6.E-mailアドレス ▼

9 拡張キーボードとテンキーでEメールアドレスを入力し、[OK]ボタンを押します。

［電話帳/短縮/グループ番号］ボタンを押し、ID検索、送信履歴、受信履歴から選択して、Eメールアドレスを入力することもできます。

P.89「ID検索」
P.92「送信履歴」
P.93「受信履歴」
P.110「Eメールアドレスの入力」

ワンタッチ番号 05
E-mailアドレスか
短縮を押してください

補 足

- 送信レポートの出力が不要の場合は、手順15に進んでください。
- 送信レポートは、インターネットファクス送信時のみ出力されます。インターネットファクスを送信するためには、ファクスキット（オプション）が必要です。
- 電話番号、サブ番号、オプション指定は、ファクスキット（オプション）装着時のみ登録できます。詳しくは、**取扱説明書［ファクス編］**を参照してください。

10 ▲/▼ボタンで「7.E-mailオプション」を選択し、[OK]ボタンを押します。

ワンタッチ番号 05
5.オプション指定 ▲
6.E-mailアドレス
7.E-mailオプション ▼

11 ▲/▼ボタンで「2.オン」を選択し、[OK]ボタンを押します。

E-mailオプション
1.オフ ▲
2.オン
▼

12 (▲)/(▼)ボタンで「2.送信レポート」を選択し、[OK]ボタンを押します。

E-mailオプション
1.終了 ▲
2.送信レポート
▼

13 「2.オン」を選択し、[OK]ボタンを押します。

送信レポート
1.オフ ▲
2.オン
▼

補 足

送信レポートの出力条件や原稿の付加は、ファクスの「メモリ送信結果表」と同じ設定となります。詳しくは、**取扱説明書[ファクス編]**を参照してください。

14 (▲)/(▼)ボタンで「1.終了」を選択し、[OK]ボタンを押します。

E-mailオプション
1.終了 ▲
2.送信レポート
▼

15 (▲)/(▼)ボタンで「1.終了」を選択し、[OK]ボタンを押します。

ワンタッチ番号 05
1.終了 ▲
2.局名
3.電話番号 ▼

「操作完了しました」のメッセージが、約2秒間表示され、ワンタッチ番号選択画面に戻ります。

ワンタッチ番号 05
操作完了しました

ワンタッチ番号
ワンタッチキーを押して下さい

続けて短縮番号の登録を行う場合は、手順4〜手順15を行ってください。

注意

局名とEメールアドレスは、必ず入力してください。これらが入力されていない状態で手順15を行うと、アラームが鳴り、「宛先が未登録です」のメッセージが表示されます。約2秒後にワンタッチ番号の登録画面に戻りますので、再度手順4から実施してください。

ワンタッチ番号	05
宛先が未登録です	

16 **[リセット]ボタンを押して、基本画面に戻ります。**

グループ番号の登録

同じ原稿を送信することの多い宛先を、1つのグループに登録しておくことで、複数の宛先に一度にEメールを送信できます。

補足

- ファクスキット(オプション)を装着している場合は、グループ種類を「E-mailアドレス設定」としてグループ作成してください。
- 最大で50グループ作成できます。
- 1つのグループには、最大で375件の宛先を登録できます。
- グループ番号は4桁の数字で、1から1999までのお好みの番号を使うことができます。
- 作成したグループをワンタッチボタンに登録することもできます。
- グループ番号リストを出力すると、グループの登録宛先を確認できます。
  📖 P.132「ダイヤルリスト」

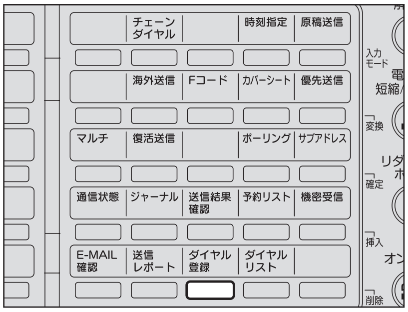
グループ番号の登録のしかた

1 **[スキャン]ボタンを押して、スキャンモードに切り替えます。**
次に、▲/▼ボタンで「Eメール送信」を選択し、[OK]ボタンを押します。

注 意

ファクスキットが装着されている場合は、以下のモードでも登録可能となります。
- [ファクス]ボタンを1回押してファクスモードに切り替える。
- [ファクス]ボタンを2回押して、インターネットファクスモードに切り替える。

2 **ダイレクトファンクションアクセスボタンの［ダイヤル登録］を押します。**



ダイヤル登録選択画面が表示されます。

ダイヤル登録
1.短縮番号登録 ▲
2.グループ番号登録
3.ワンタッチボタン登録 ▼

3 **▲/▼ボタンで「2.グループ番号登録」を選択し、[OK]ボタンを押します。**

グループ種類選択画面が表示されます。

ダイヤル登録
1.短縮番号登録 ▲
2.グループ番号登録
3.ワンタッチボタン登録 ▼

補 足

ファクスキット（オプション）が装着されている場合には、「E-mailアドレス設定」を選択して、グループを作成してください。

グループ番号
1.電話番号設定 ▲
2.E-mailアドレス設定
▼

4 **テンキーでグループ番号（1～1999）を入力し、[OK]ボタンを押します。**

グループ番号
グループ番号=(1-1999)
1

短縮番号は、先頭に000を付けて入力することもできます。

グループ番号　0001
東芝グループ
登録済みです

補 足

入力したグループ番号がすでに使われている場合は、「登録済みです」というメッセージが約2秒間表示されたのち、グループ番号修正画面になります。

▲/▼ボタンで実施する項目を選択し、[OK]ボタンを押してください。

グループ番号　0001
1.取り消し ▲
2.修正
3.変更なし ▼

「1.取り消し」
登録されている内容を取り消します。手順4から実施してください。

「2.修正」
登録されている内容を修正します。手順5から実施してください。

「3.変更なし」
登録されている内容を変更しないで、グループ登録選択画面に戻ります。手順4から実施してください。

5 ▲/▼ボタンで「2.局名」を選択し、[OK]ボタンを押します。

局名の入力画面が表示されます。

グループ番号　0001
1.終了 ▲
2.局名
3.宛先入力 ▼

6 テンキーで局名（最大、半角で20文字、全角で10文字）を入力し、[OK]ボタンを押します。

P.101「局名の入力」

ひらがな（あいう・・・）

7 検索文字を確認または設定し、[OK]ボタンを押します。

P.89「ID検索」

グループ番号　0001
[OK]　：登録終了 [0-9]　：検索文字修正
局名 =東芝グループ
検索文字 =

8 ▲/▼ボタンで「3.宛先入力」を選択し、[OK]ボタンを押します。

宛先の入力画面が表示されます。

グループ番号　0001
1.終了 ▲
2.局名
3.宛先入力 ▼

9 グループに登録する宛先（短縮番号またはワンタッチボタン）を指定します。

グループ番号
短縮番号かワンタッチ
を押して下さい

- 短縮番号はテンキーで入力し、[OK]ボタンを押します。
- ワンタッチ番号は、グループに加えたい宛先が割り当てられているワンタッチボタンを押して入力します。
  指定した宛先が約2秒間表示され、グループ登録画面が表示されます。

グループ番号	0001
短縮番号=	020
関東支社	

補 足

- Eメールアドレスが入力されていない宛て先を登録しようとした場合は、アラームが鳴り、「登録されていません」というメッセージが、約2秒間表示されたのち、宛先の入力画面になります。
- 同じ宛先を登録しようとした場合は、アラームが鳴り、「登録済みです」というメッセージが、約2秒間表示されたのち、宛先の入力画面になります。

グループ番号	0001
短縮番号=	005
登録されていません	

グループ番号	0001
短縮番号=	005
関東支社	
登録済みです	

10 ▲/▼ボタンで実施する項目を選択し、[OK]ボタンを押してください。

グループ番号	0001
1.次の宛先追加	▲
2.宛先確認	
3.終了	▼

「1. 次の宛先追加」

続けてグループに宛先を追加します。手順9から実施してください。

「2. 宛先確認」

作成中のグループに登録された宛先の確認、取り消し、修正を行います。詳しくは、P.125「グループの宛先確認」を参照してください。

「3.　終了」

宛先の追加を終了します。手順11から実施してください。

11 ▲/▼ボタンで「1.終了」を選択し、[OK]ボタンを押します。

グループ番号	0001
1.終了	▲
2.局名	
3.宛先入力	▼

12 登録するワンタッチボタンを押します。

ワンタッチボタンに登録しないときは、[OK]ボタンを押します。

```
グループ番号                    0001
登録するワンタッチか、
又は「OK」を押して下さい
```

「操作完了しました」のメッセージが、約2秒間表示され、グループ登録選択画面に戻ります。

```
グループ番号                    0001

操作完了しました
```

```
グループ番号
グループ番号=（1-1999）
```

続けてグループ番号の登録を行う場合は、手順4〜手順12を行ってください。

補 足

入力したワンタッチボタンがすでに使われている場合は、「登録済みです」というメッセージが約2秒間表示されたのち、ワンタッチ番号取り消し画面になります。

```
グループ番号                    0001
ワンタッチ番号=                   02
東芝
登録済みです
```

▲/▼ボタンで実施する項目を選択し、[OK]ボタンを押してください。

```
ワンタッチ番号                    02
1.取り消し                         ▲
2.変更なし
                                   ▼
```

「1.取り消し」

登録されている宛先情報を取り消し、新しい登録を行います。手順12から実施してください。

「2.変更なし」

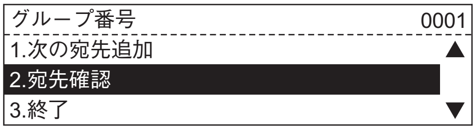
登録されている宛先情報を変更しないで、ワンタッチ登録画面に戻ります。手順12から実施してください。

グループの宛先確認

グループ番号画面にて登録した宛先に対し、確認、取り消し、修正を行います。

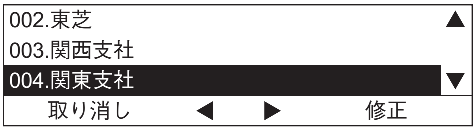
登録された宛先を確認する

1 **▲/▼ボタンで「2.宛先確認」を選択し、[OK]ボタンを押します。**



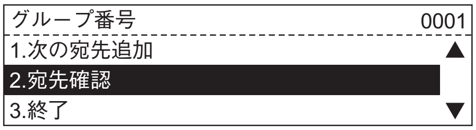
2 **▲/▼ボタンで登録されている宛先を確認します。**

[戻る/取消]ボタンを押します。P.121「グループ番号の登録のしかた」手順11から実施してください。

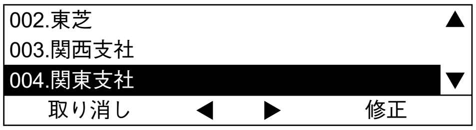


登録された宛先を取り消す

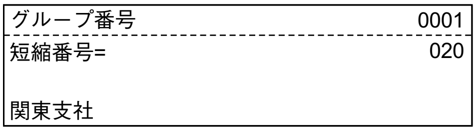
1 **▲/▼ボタンで「2.宛先確認」を選択し、[OK]ボタンを押します。**



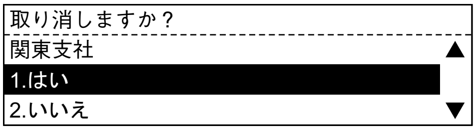
2 **▲/▼ボタンで取り消す宛先を選択し、◀ボタンを押します。**



取り消す宛先の内容が、約2秒間表示されます。



3 **▲/▼ボタンで「1.はい」を選択し、[OK]ボタンを押します。**



取り消しを行わないときは「2.いいえ」を選択し、[OK]ボタンを押します。

- 宛先の修正を行う場合は、次の「登録された宛先を修正する」を実施してください。
- 取り消しも修正も行わない場合は、[戻る/取消]ボタンを押し、P.121「グループ番号の登録のしかた」手順11から実施してください。

登録された宛先を修正する

1 ▲/▼ボタンで「2.宛先確認」を選択し、[OK]ボタンを押します。

グループ番号	0001
1.次の宛先追加	▲
2.宛先確認	
3.終了	▼

2 ▲/▼ボタンで修正する宛先を選択し、▶ボタンを押します。

002.東芝			▲
003.関西支社			
004.関東支社			▼
取り消し	◀	▶	修正

修正前の宛先の内容が、約2秒間表示されます。

グループ番号	0001
短縮番号=	020
関東支社	

3 修正後の宛先を指定します。

グループ番号	0001
短縮番号=(1-999)	
	50

注 意

修正前の宛先が、ワンタッチボタンでグループに登録された宛先だった場合は、ワンタッチボタンで修正後の宛先を入力してください。
修正前の宛先が、短縮番号でグループに登録された宛先だった場合は、短縮番号で修正後の宛先を入力し、[OK]ボタンを押してください。

修正後の宛先の内容が、約2秒間表示されます。

002.東芝			
003.関西支社			
004.東北支社			
取り消し	◀	▶	修正

[戻る/取消]ボタンを押し、P.121「グループ番号の登録のしかた」手順11から実施してください。

12

トラブルシューティング

スキャン機能に関するトラブルシューティングについて説明しています。

TWAIN ドライバエラー 128
TWAIN ドライバエラー状況 128

TWAINドライバエラー

このセクションでは、TWAINドライバにおいて発生する確率が最も高いエラーと対処方法について説明します。ここで述べられている措置を行ってもエラーを解除できない場合は、使用していたアプリケーション名や、どのような操作を行っていたのか、エラーメッセージが表示されているかなどをご確認のうえ、弊社販売店またはサービスエンジニアにお問い合わせください。

補 足

その他の問題については、TWAINドライバのREADMEファイルを参照してください。

TWAINドライバエラー状況

下記エラー状況に対する適切な処理は、下記を参照してください。

P.128「本機を検索できない」
P.129「ローカル検索した本機に接続できない」
P.129「カラー混在原稿の取り込みで画像が壊れる」
P.129「文書を取得できない」
P.130「マルチページ文書を取得できない」

本機を検索できない

エラー詳細:
ローカル検索機能を使用しても本機を検索できない。

対処方法:
以下を確認してください。

- 本機およびコンピュータがTCP/IPでネットワークに接続している
- デバイスが異なるサブネットにある場合、ゲートウェイ設定が正しく設定されている

注 意

TWAINドライバはGL-1010やGL-1020をサポートしておりません。したがって、ローカル検索機能を使用しても、これらのデバイスを検索することはできません。

ローカル検索した本機に接続できない

エラー詳細:

ローカル検索で本機を検出したが、検出された本機を選択しても接続できない。

対処方法:

1. Microsoft Internet Explorer 5.5 SP2以上がインストールされているか確認する。
2. Microsoft Internet Explorer のプロキシ設定が本機に接続できる設定になっているか確認する。
3. Microsoft Internet Explorerがオフラインになっている場合はオンラインに変更する。

補 足

本機に接続するコンピュータの数が許容量を超えている場合も接続に失敗することがあります。しばらく時間をおいてから再度接続してみてください。

文書を取得できない

エラー詳細:

TWAINドライバを使用して文書を取得できない。

対処方法:

ご利用になっているアプリケーションによっては、TWAINドライバに接続できないことや、接続する際に、アプリケーションやTWAINドライバで設定が必要なことがあります。TWAINドライバのネイティブUIの表示機能や、データ転送モードなどの設定を変更することで、接続できることもありますので、詳しくはアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。

カラー混在原稿の取り込みで画像が壊れる

エラー詳細:

TWAINドライバを使用してカラー／モノクロが混在した原稿を取り込むと画像が壊れる。

対処方法:

一部のアプリケーションでは、カラー／モノクロが混在した原稿の取り込みをサポートしていないため、画像の取り込みが正しく行えない場合があります。その場合は、カラーページとモノクロページを別々に取り込んでください。

マルチページ文書を取得できない

エラー詳細:

アプリケーションからマルチページ文書を取得できない。

対処方法:

アプリケーションによっては、TWAINインターフェイスからのマルチページスキャンに対応していないことや、マルチページファイルを取得するための設定が必要なことがあります。詳しくはアプリケーションの取扱説明書などを参照してください。

13

付録

ダイヤルリストについて説明しています。

ダイヤルリスト....................132
短縮番号リスト....................133
グループ番号リスト....................134
ワンタッチリスト....................135
スキャン結果の確認....................136
通信管理記録(ジャーナル)による確認....................136
メッセージ表示パネルによる確認....................139
送信レポート(メモリ送信結果表)....................140
エラーコード表....................141
文字コード表....................146

ダイヤルリスト

ダイヤルリストは、電話帳に登録されている宛先を、一覧表にして印刷する機能です。ダイヤルリストには、短縮番号リスト、グループ番号リスト、ワンタッチリストがあります。全リストを一度に印刷することもできます。各リストの内容は、以下のページを参照してください。

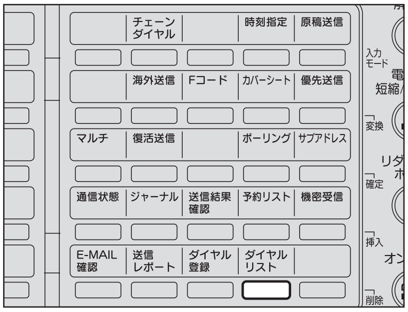
P.133「短縮番号リスト」
P.134「グループ番号リスト」
P.135「ワンタッチリスト」

1 [スキャン]ボタンを押して、スキャンモードに切り替えます。
次に、▲/▼ボタンで「Eメール送信」を選択し、[OK]ボタンを押します。

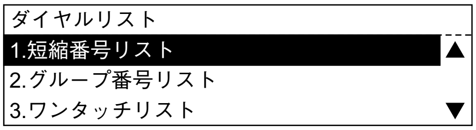
注 意

ファクスキットが装着されている場合は、以下のモードでも登録可能となります。
- [ファクス]ボタンを1回押してファクスモードに切り替える。
- [ファクス]ボタンを2回押して、インターネットファクスモードに切り替える。

2 ダイレクトファンクションアクセスボタンの[ダイヤルリスト]を押します。



3 ▲/▼ボタンで出力するリストを選択し、[OK]ボタンを押します。

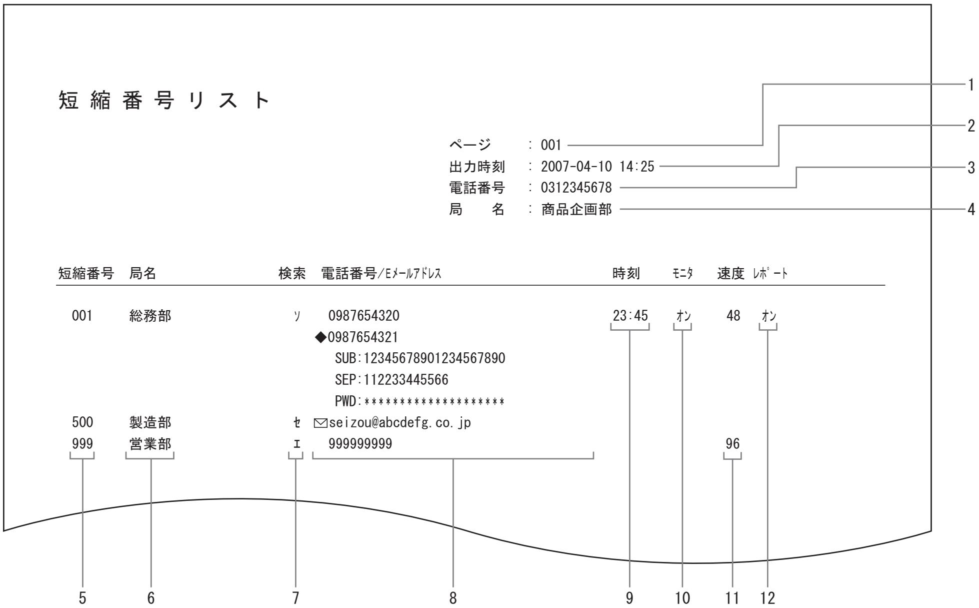


リストの種類は以下のとおりです。
1. 短縮番号リスト
2. グループ番号リスト
3. ワンタッチリスト
4. 全リスト

短縮番号リスト

本機に登録されている短縮番号の局名、電話番号やEメールアドレスなどを一覧表にしたリストです。

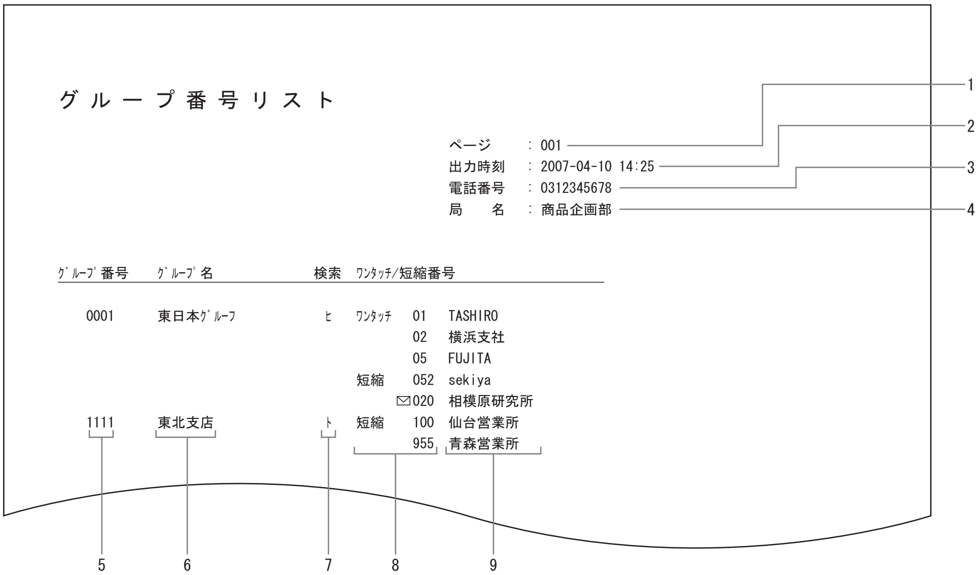
＜出力例＞



1	短縮番号リストのページ数
2	短縮番号リストを出力した日時
3	自局の電話番号
4	自局名
5	短縮番号
6	宛先の局名
7	ID検索時の検索文字
8	宛先の電話番号またはEメールアドレス サブダイヤルが使われた場合は、先頭に◆が付く Eメールアドレスが登録されている場合は、先頭に✉印が付く
9	時刻指定のときの指定時刻(オフのときは空白となる)
10	回線モニタ設定(オフのときは空白となる)
11	海外通信指定のときの通信速度(オフのときは空白となる)
12	通信レポートの付加設定(付加しないときは空白となる)

グループ番号リスト

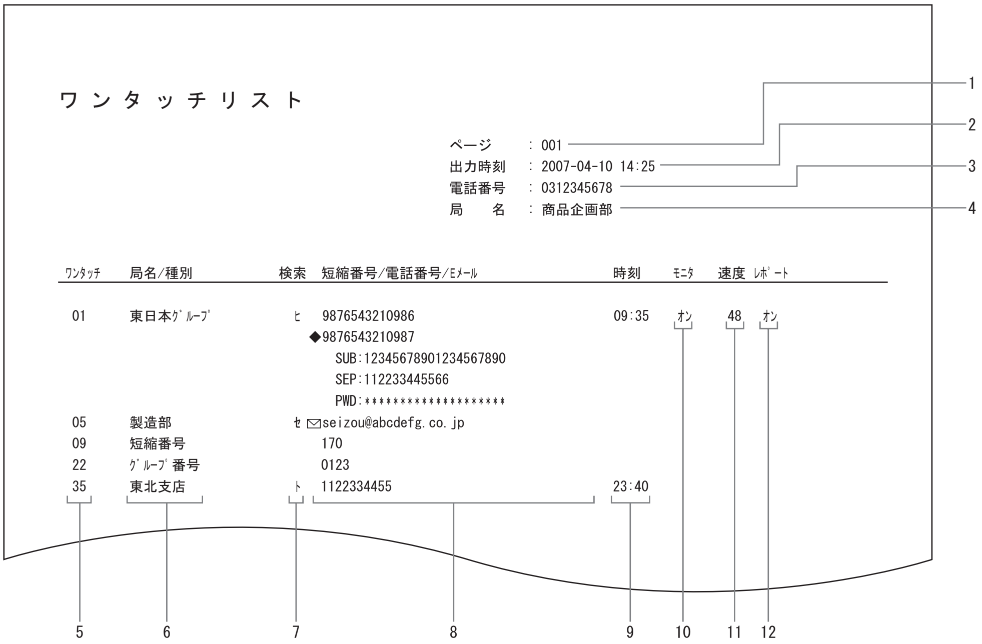
本機に登録されているグループの名称および、グループに含まれる短縮番号やワンタッチ番号などを一覧表にしたリストです。
<出力例>



1	グループ番号リストのページ数
2	グループ番号リストを出力した日時
3	自局の電話番号
4	自局名
5	グループ番号
6	グループ名称
7	ID検索時の検索文字
8	登録の種別とグループに登録されている宛先の、短縮番号またはワンタッチ番号
9	グループに登録されている宛先の名称 Eメールアドレスが登録されている場合は、先頭に✉印が付く

ワンタッチリスト

ワンタッチボタンに登録されている短縮番号やグループ番号などを一覧表にしたリストです。
＜出力例＞



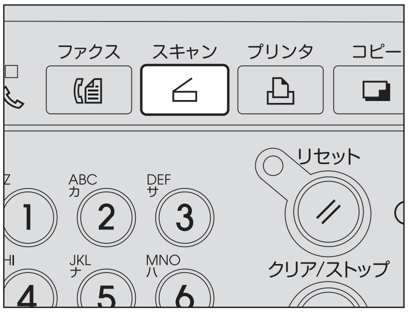
1	ワンタッチリストのページ数
2	ワンタッチリストを出力した日時
3	自局の電話番号
4	自局名
5	ワンタッチ番号
6	宛先の局名
7	ID検索時の検索文字
8	宛先の電話番号またはEメールアドレス サブダイヤルが使われた場合は、先頭に◆が付く Eメールアドレスが登録されている場合は、先頭に ✉ 印が付く
9	時刻指定のときの指定時刻(オフのときは空白となる)
10	回線モニタ設定(オフのときは空白となる)
11	海外通信指定のときの通信速度(オフのときは空白となる)
12	通信レポートの付加設定(付加しないときは空白となる)

スキャン結果の確認

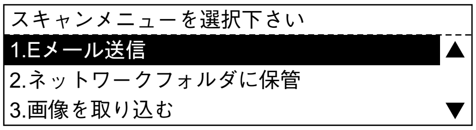
通信管理記録(ジャーナル)による確認

スキャンやインターネットファクスなどの履歴一覧表です。送信ジャーナルと受信ジャーナルがあり、それらを同時に印刷します。スキャン機能の履歴は、送信ジャーナルにのみ記録されます。
スキャンモード、ファクスモード、インターネットファクスモードのときに[ジャーナル]ボタンを押すと出力できます。詳しくは**取扱説明書[ファクス編]**を参照してください。

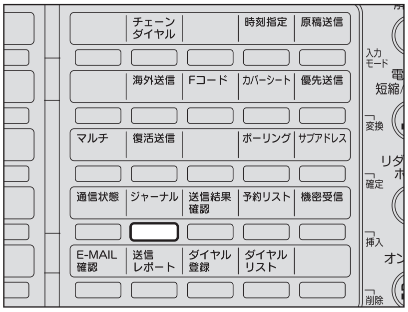
1 [スキャン]ボタンを押します。



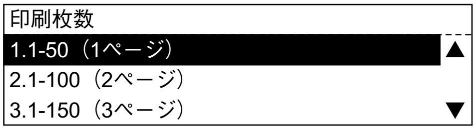
2 ▲/▼ボタンで「**1.E**メール送信」、「**2.**ネットワークフォルダに保管」、「**3.**画像を取り込む」のどれかを選択し、[**OK**]ボタンを押します。

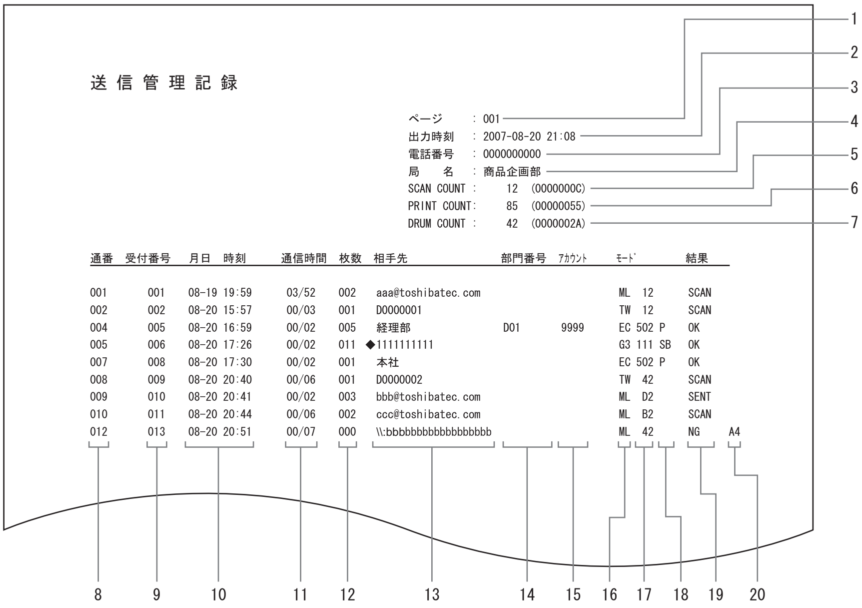


3 [ジャーナル]ボタンを押します。



4 ▲/▼ボタンで印刷する枚数を選択し、[**OK**]ボタンを押します。





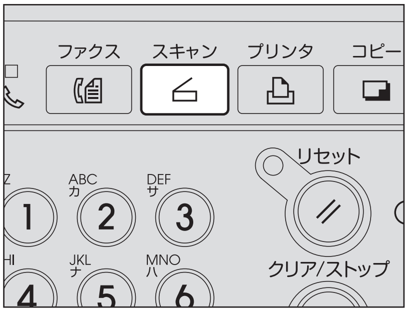
1	送信管理記録のページ数
2	送信管理記録を出力した日時
3	自局の電話番号
4	自局名
5	原稿の読み取り枚数
6	印字枚数
7	ドラム回転数に換算したときの印字枚数
8	通信ごとに付与される連続番号(001〜999)
9	通信の受付番号
10	通信を開始した日時
11	通信にかかった時間(分／秒　1時間を超えた場合は、59/59と記録される)
12	通信した枚数(001〜999　1000ページを超えた場合は、999と記録される)
13	通信した相手先 短縮番号やワンタッチ番号が使われた場合は、宛先の名称が記録される サブダイヤルが使われた場合は、先頭に◆が付く DXXXXXXXは画像の取り込み先
14	部門コード(部門管理していない場合は空白となる)
15	アカウントコード(アカウント管理していない場合は空白となる)
16	通信モード 通信モード　記録 G3モード　G3 独自エラー制御モード*　EX エラー制御モード　EC Eメールモード　ML ネットワークフォルダに保管　FL 画像を取り込む　TW *東芝オリジナルモードが使われた場合

17	通信速度 (bps)/解像度(pels/mm)/ 符号化方式 0 : 2400 　0 : 8 x 3.85 　0 : MH 1 : 4800 　1 : 8 x 7.7 　1 : MR 2 : 7200 　2 : 8 x 15.4 　2 : MMR 3 : 9600 　4 : 16 x 15.4 　3 : JBIG 4 : 12000 　8 : 300 dpi 5 : 14400 　B : 600 dpi 6 : V.34 　D : 150 dpi
18	特殊通信モード P : ポーリング通信 SR, R: 中継同報通信 SB : Fコードメールボックス通信 S : サブアドレス通信 I :ネットワークファクス通信 F : ファクス/インターネットファクス転送 O : オフランプゲートウェイ
19	通信結果 OK NG SCAN スキャンの実行 SENT インターネットファクス送信
20	エラーコード(通信が正常に終了した場合は空白となる)

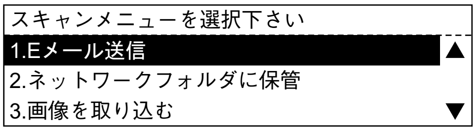
メッセージ表示パネルによる確認

過去150件までのスキャン送信結果をメッセージ表示パネルにより確認します。

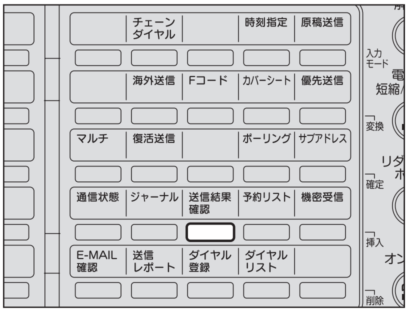
1 ［スキャン］ボタンを押します。



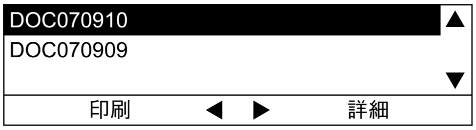
2 ▲/▼ボタンで「**1.E**メール送信」、「**2.**ネットワークフォルダに保管」、「**3.**画像を取り込む」のどれかを選択し、［**OK**］ボタンを押します。

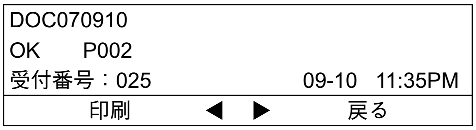


3 ［送信結果確認］ボタンを押します。



4 ▲/▼ボタンで確認する結果を選択します。



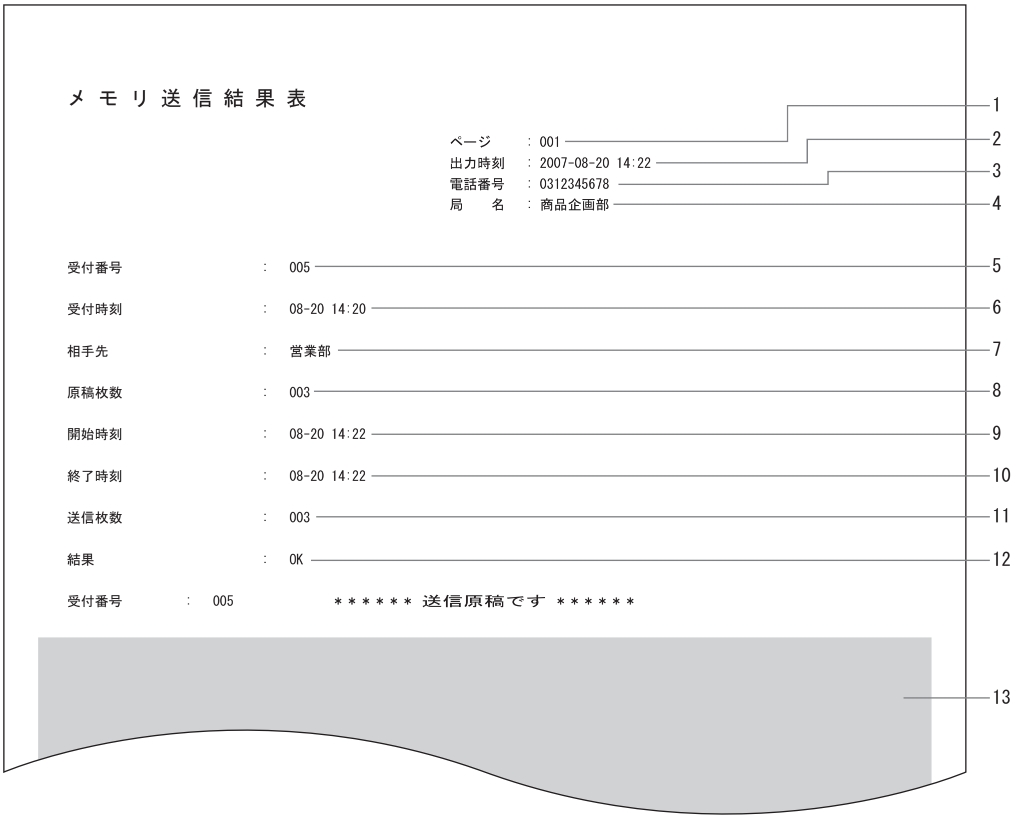


- ◀を押すと、表示している送信の結果表を印刷します。
- ▶を押すと、表示している送信の詳細情報を表示します。引き続き他の結果を確認したい場合は、再度▶を押すと、送信結果確認画面に戻ります。
- ［戻る/取消］を押すと、基本画面へ戻ります。

送信レポート（メモリ送信結果表）

インターネットファクス送信時に出力します。

📖 P.111「短縮番号の登録」
📖 P.116「ワンタッチ番号の登録」



1	ページ数
2	リストを出力した日時
3	自局の電話番号
4	自局名
5	通信の受付番号
6	通信を受け付けた日時
7	宛先の局名
8	メモリ入力された原稿枚数
9	通信を開始した時刻
10	通信を終了した時刻
11	送信した枚数
12	結果（OK/NG）
13	送信原稿の1枚目（原稿付加がONの場合）

エラーコード表

エラーコード	原因	対処方法
10	記録紙がありません。	記録紙を補給します。
11	記録紙がつまっています。	つまった記録紙を取り除きます。
12	原稿がつまっています。	つまった原稿を取り除きます。
13	受信部カバーが開いています。	開いているところを確実に閉めます。
20	停電が発生しました。	停電発生リストを確認します。
E0	メモリエラーです。	サービスエンジニアに連絡してください。
30	リセットしました。	通信が中止されました。相手機に確認のうえ、通信し直します。
32	原稿枚数と設定した送信枚数が不一致です。	原稿の枚数を数え直して、確認します。（枚数の不一致でも、原稿は送信しています。）
33	パスワードが不一致です。	正しいパスワードを確認して、通信し直します。
42	メモリの残量がなくなり中断しました。	十分なメモリ残量になったことを確認して、通信し直します。
50	リダイヤルしても通じません。	通信し直します。
53,B1	相手機との機能が不一致です。	相手機の能力を確認のうえ、通信し直します。
B0,B2～B5,D0～D2,F0,F1,84	通信異常です。	相手機に確認のうえ、通信し直します。
87	相手機のメモリ残量がありません。	相手機に確認のうえ、通信し直します。

送信時のエラーコード

エラーコード	原因	対処方法
60	イメージデータの処理中にエラーが発生しました。	本機を再起動してください。それでも継続してエラーが発生する場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。
61	テキストデータの処理中にエラーが発生しました。	
62	ネットワークインターフェイスカードへアクセスできませんでした。	
63	USBインターフェイスにてシーケンスエラーが発生しました。	
71	SMTPサーバーとの通信中にタイムアウトエラーが発生しました。	ネットワークケーブルが正しく接続されていて、SMTPサーバーが正常に動作しているかを確認してください。 または、**設定ガイド[スキャン編]**を参照し、SMTPクライアントを正しく設定してください。
72	本機のホスト名(装置名称)が不正なため、相手側からエラー応答が返されました。	**設定ガイド[印刷編]**を参照し、本機のホスト名を正しく設定してください。
73	本機のEメールアドレス(送信者アドレス)について、設定されていないか、不正文字が含まれています。	**設定ガイド[スキャン編]**を参照し、本機のEメールアドレスを正しく設定してください。
74	SMTPサーバーアドレスが設定されていません。	**設定ガイド[スキャン編]**を参照し、SMTPサーバーアドレスを正しく設定してください。
75	本機のIPアドレスが設定されていません。	**設定ガイド[印刷編]**を参照し、本機のIPアドレスを正しく設定してください。
76	送信データのサイズが送信最大容量を超えています。	**設定ガイド[スキャン編]**を参照し、送信最大容量の設定値を大きくしてください。 または、ページ数を減らすなどして、送信データのサイズを小さくしてください。
7C	Eメール送信の場合: 宛先Eメールアドレスが不正です。	**設定ガイド[スキャン編]**(アドレス帳使用時)または P.86「宛先の指定方法について」を参照し、宛先Eメールアドレスを正しく設定してください。
	ファイル保存の場合: ネットワークパス、サーバー名称、ログインユーザ名、パスワードのいずれかが不正です。	**設定ガイド[スキャン編]**を参照し、保存先フォルダ(ネットワークフォルダに保管設定)を正しく設定してください。
7D	メモリの空き容量が不足していたため、データを送信できませんでした。	現在実行中のジョブが完了するのを待ち、メモリの空き容量を十分確保してください。それでも継続してエラーが発生する場合は、本機を再起動してください。
A0	システム内部でエラーが検出されました。テンプレートを使用している場合は、そのテンプレートが不正です。	**設定ガイド[スキャン編]**を参照し、当該テンプレートを正しく再設定してください。それでも継続してエラーが発生する場合は、本機を再起動してください。
A1	アドレス帳を読み込めませんでした。	本機を再起動してください。それでも継続してエラーが発生する場合は、**設定ガイド[スキャン編]**または**取扱説明書[ファクス編]**を参照し、アドレス帳を正しく再設定してください。

エラーコード	原因	対処方法
A2	SMTP認証エラーが発生しました。	**設定ガイド[スキャン編]**を参照し、SMTPクライアントを正しく設定してください。 または、SMTPサーバーが正常に動作しているかを確認してください。
A4	ファイルを保存できませんでした。	ファイル保存先となるフォルダについて、書き込み可能な状態であること、空き容量が十分であることを確認してください。
A5	ファイル保存のプロトコル(FTPまたはSMB)が無効です。	**設定ガイド[スキャン編]**を参照し、保存先フォルダ(ネットワークフォルダに保管設定)のプロトコルを正しく設定してください。
A6	以下のような理由により、TWAINデータを保存できませんでした。 • メモリの空き容量が不足している。 • ページ数、ドキュメント数、フォルダ数のいずれかが保存可能な最大値に達している。	ページ数を減らすなどして、保存するTWAINデータのサイズを小さくしてください。 または、P.56「ボックス文書を削除する」を参照し、現在保存されているTWAINデータを適切に削除してメモリの空き容量を確保してください。
AF	システムエラーが発生しました。	本機を再起動してください。それでも継続してエラーが発生する場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。

受信時のエラーコード

エラーコード	原因	対処方法
80	USBインターフェイスにてシーケンスエラーが発生しました。	本機を再起動してください。それでも継続してエラーが発生する場合は、サービスエンジニアまたは弊社販売店へ連絡してください。
90	以下のような理由により、インターネットファクス/Eメールを正常に受信できずに、エラー転送アドレスへデータを転送しました。 • データが破損している。 • フォーマット、圧縮方式、解像度、紙サイズのいずれかが本機でサポートしていないデータだった。	転送されたデータを確認してください。 または、📖 P.73「インターネットファクスを受信する」を参照し、本機が受信可能なデータ仕様を確認した後、それに適合するインターネットファクス/Eメールを再送信するように送信者へ依頼してください。
91	以下のような理由により、インターネットファクス/Eメールを正常に受信できませんでした。 • データが破損している。 • フォーマット、圧縮方式、解像度、紙サイズのいずれかが本機でサポートしていないデータだった。	📖 P.73「インターネットファクスを受信する」を参照し、本機が受信可能なデータ仕様を確認した後、それに適合するインターネットファクス/Eメールを再送信するように送信者へ依頼してください。
92	以下のような理由により、インターネットファクス/Eメールを正常に受信できずに、エラー転送アドレスへデータを転送しました。 • データが破損している。 • 書式、添付ファイルフォーマット、文字セットのいずれかが本機でサポートしていないデータだった。	転送されたデータを確認してください。 または、📖 P.73「インターネットファクスを受信する」を参照し、本機が受信可能なデータ仕様を確認した後、それに適合するインターネットファクス/Eメールを再送信するように送信者へ依頼してください。
93	以下のような理由により、インターネットファクス/Eメールを正常に受信できませんでした。 • データが破損している。 • 書式、添付ファイルフォーマット、文字セットのいずれかが本機でサポートしていないデータだった。	📖 P.73「インターネットファクスを受信する」を参照し、本機が受信可能なデータ仕様を確認した後、それに適合するインターネットファクス/Eメールを再送信するように送信者へ依頼してください。
94	メモリの空き容量が不足していたため、インターネットファクス/Eメールを正常に受信できずに、エラー転送アドレスへデータを転送しました。	転送されたデータを確認してください。 または、現在実行中のジョブが完了するのを待ち、メモリの空き容量を十分確保した後、インターネットファクス/Eメールを再送信するように送信者へ依頼してください。
95	メモリの空き容量が不足していたため、インターネットファクス/Eメールを正常に受信できませんでした。	現在実行中のジョブが完了するのを待ち、メモリの空き容量を十分確保した後、インターネットファクス/Eメールを再送信するように送信者へ依頼してください。
9A	オフランプゲートウェイ使用時、転送先ファクス番号がアドレス帳に登録されていなかったため、セキュリティ機能によりインターネットファクス/Eメールの転送を中止しました。	受信管理記録にて転送先ファクス番号を確認し、転送が中止されたことを送信者へ連絡してください。 必要に応じて、**設定ガイド[スキャン編]**または**取扱説明書[ファクス編]**を参照し、転送先ファクス番号をアドレス帳へ登録してください。

エラーコード	原因	対処方法
9B	オフランプゲートウェイ使用時、転送先ファクス番号がアドレス帳に登録されていなかったため、セキュリティ機能によりインターネットファクス/Eメールの転送を中止し、エラー転送アドレスへデータを転送しました。	受信管理記録または転送されたデータにて転送先ファクス番号を確認し、転送が中止されたことを送信者へ連絡してください。 必要に応じて、**設定ガイド[スキャン編]**または**取扱説明書[ファクス編]**を参照し、転送先ファクス番号をアドレス帳へ登録してください。
9C	オフランプゲートウェイ使用時、転送先ファクス番号に不正な文字が使用(または41件以上の転送先が指定)されていたため、インターネットファクス/Eメールの転送を中止し、エラー転送アドレスへデータを転送しました。	受信管理記録または転送されたデータにて転送先ファクス番号を確認し、それを訂正(最大転送先数は40件)してからインターネットファクス/Eメールを再送信するように送信者へ依頼してください。
9D	オフランプゲートウェイ使用時、転送先ファクス番号に不正な文字が使用(または41件以上の転送先が指定)されていたため、インターネットファクス/Eメールの転送を中止しました。	受信管理記録にて転送先ファクス番号を確認し、それを訂正(最大転送先数は40件)してからインターネットファクス/Eメールを再送信するように送信者へ依頼してください。
9E	以下のような理由により、インターネットファクス/Eメールを正常に分割受信することができませんでした。 • 分割受信待ち時間内に受信が完了しなかった。 • 受信中に分割受信設定が無効になった。 • 本機がサポートしていない形式で分割送信されてきた。	**設定ガイド[スキャン編]**を参照し、分割受信設定を正しく設定した後、インターネットファクス/Eメールを再送信するように送信者へ依頼してください。なお、本機がサポートしていない形式で分割送信されてきた場合は、システム管理者へ連絡してください。
9F	POP3サーバーへ接続できませんでした。	ネットワークケーブルが正しく接続されていて、POP3サーバーが正常に動作しているかを確認してください。 または、**設定ガイド[スキャン編]**を参照し、POP3を正しく設定してください。

文字コード表

	1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	010			、	。	，	．	・	：	；	？
	011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
	012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
	013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
	014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
	015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
	016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
	017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
	019	★	○	●	◎	◇					
	020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
	021	→	←	↑	↓	〓					
数字	031							0	1	2	3
	032	4	5	6	7	8	9				
アルファベット	033				A	B	C	D	E	F	G
	034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	036						a	b	c	d	e
	037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	039	z									
ひらがな	040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
	041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
	042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
	043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
	044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
	046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
	047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	048	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
	051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
	052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
	054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
	057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
ギリシャ文字	060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
	061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
	062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
	063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
	064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
ロシア文字	070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
	071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	073	Ь	Э	Ю	Я						
	074										а
	075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	078	ю	я								

	1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	164	鞍	杏								
い	164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	169	引	飲	淫	胤	蔭					
	170		院	陰	隠	韻	吋				
う	170							右	宇	烏	羽
	171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	173	云	運	雲							
え	173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お	178								於	汚	甥
	179	凹	央	奥	往	応					
	180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か	182									下	化
	183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	189	恢	懐	戒	拐	改					
	190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
	194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
	197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
	199	噛	鴨	栢	茅	萱					
	200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
	204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	207	贋	雁	頑	顔	願					

	1〜3桁目	4桁目									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
き	207						企	伎	危	喜	器
	208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	209	旗	既	期	棋	棄					
	210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
	214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	219	禦	魚	亨	享	京					
	220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く	226										九
	227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	229	串	櫛	釧	屑	屈					
	230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	232	郡									
け	232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
	236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	239	建	憲	懸	拳	捲					
	240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
	242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	243	絃	舷	言	諺	限					
こ	243						乎	個	古	呼	固
	244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
	249	効	勾	厚	口	向					
	250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
	259	忽	惚	骨	狛	込					
	260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ	261										些
	262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
	264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁

	1〜3桁目	4桁目									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	269	鮭	笹	匙	冊	刷					
	270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
	273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し	273								仕	仔	伺
	274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
	276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
	279	字	寺	慈	持	時					
	280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
	281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
	282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
	284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	289	綬	需	囚	収	周					
	290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
	292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
	299	恕	鋤	除	傷	償					
	300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	309	醸	錠	嘱	埴	飾					
	310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す	315									笥	諏
	316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	319	椙	菅	頗	雀	裾					
	320		澄	摺	寸						
せ	320					世	瀬	畝	是	凄	制
	321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
	322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
	323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
	324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
	325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙

	1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
	327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
	329	煽	旋	穿	箭	線					
	330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
	331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	332	全	禅	繕	膳	糎					
そ	332						噌	塑	岨	措	曾
	333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	339	霜	騒	像	増	憎					
	340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た	343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
	345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	349	諾	茸	凧	蛸	只					
	350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	354	暖	檀	段	男	談					
ち	354						値	知	地	弛	恥
	355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	359	丁	兆	凋	喋	寵					
	360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	363								津	墜	椎
	364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	366							亭	低	停	偵
	367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	369	艇	訂	諦	蹄	逓					
	370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
	373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と	373									兎	吐
	374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
	376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
	379	答	筒	糖	統	到					
	380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒

	1～3桁目	4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	386	頓	呑	曇	鈍						
な	386					奈	那	内	乍	凪	薙
	387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	388	軟	難	汝							
に	388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
	389	虹	廿	日	乳	入					
	390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ	390									濡	禰
	391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
	393	脳	膿	農	覗	蚤					
は	393						巴	把	播	覇	杷
	394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	399	爆	縛	莫	駁	麦					
	400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ	405										匪
	406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	409	枇	毘	琵	眉	美					
	410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
	412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	415	敏	瓶								
ふ	415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	419	伏	副	復	幅	服					
	420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	422							丙	併	兵	塀
	423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
	426	鞭									
ほ	426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	429	抱	捧	放	方	朋					
	430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	436	本	翻	凡	盆						
ま	436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾

	1〜3桁目	4桁目									
		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	439	繭	麿	万	慢	満					
	440		漫	蔓							
み、む	440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	務
	442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め	442										冥
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も	444							摸	模	茂	妄
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	447	紋	門	匁							
や	447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	449	鑓									
ゆ	449		愉	愈	油	癒					
	450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	452										予
	453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
	456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	456										羅
	457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り	458									利	吏
	459	履	李	梨	理	璃					
	460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
	464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る、れ	466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
	467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	469	漣	煉	簾	練	聯					
	470		蓮	連	錬						
ろ	470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
	473	肋	録	論							
わ	473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	475	碗	腕								

索引

A
AＩ辞書変換入力 104
AＩ辞書変換入力モード 103

E
E-MAIL確認ボタン 24
Eメールアドレスの入力 110
Eメール送信 12
Eメール送信について 26

F
Fコードボタン 23

I
ID検索 89

O
OKボタン 20

S
Scan Utilities CD-ROM 17

T
TWAINドライバ 17
TWAINドライバエラー 128
TWAINドライバで画像を取り込む 38
TWAINドライバでの画像の取り込み 47
TWAINドライバのアンインストール 42
TWAINドライバのインストール 40
TWAINドライバの必要条件 38

あ
アイテム数 57, 58
宛先の指定方法 86
アラームランプ 20
暗証番号 57

い
インターネットファクス 14, 68

え
エラーコード表 141

お
オフランプゲートウェイ 16, 78
オンフックボタン 21
オンランプゲートウェイ 15, 76

か
海外送信ボタン 23
解像度 60
解像度ボタン 21
解像度を変更する 80
拡張キーボード 21
画像回転をオンにする 84
画像サイズ 60
画像を取り込む 13
カバーシートボタン 23

き
キーボード 24
機密受信ボタン 24
局名の入力 101

く
クリア/ストップボタン 20
グループの宛先確認 125
グループ番号 91
グループ番号の登録 120
グループ番号リスト 134

け
原稿混載ボタン 18
原稿サイズ 60
原稿サイズボタン 20
原稿送信ボタン 22
原稿モードボタン 20

こ
更新日時 57, 58, 59
コピーボタン 19
コンテンツウィンドウ 55
コントラスト調整つまみ 19

さ
最終アクセス日時 59
サイズ 57, 59, 60
作成日時 57, 58, 59
サブアドレスボタン 23

し
時刻指定ボタン 22
自動受信 73
自動用紙選択･自動倍率選択ボタン 21
ジャーナルボタン 23
受信する 73
受信履歴 93
手動受信 74
上下左右ボタン 20
使用上のご注意 69
状態 57, 58, 59
新規デバイスを追加する 61

す
スキャン機能 12
スキャン機能の設定 80
スキャンボタン 19
スタートボタン 20
ステータスバー 55

せ
設定/登録ボタン 18
節電ボタン 18
セレクトボタン A, B, C 19

そ
操作パネル 18
送信結果確認ボタン 23
送信する 70
送信履歴 92
送信レポートボタン 24

た
ダイヤル登録ボタン 24
ダイヤルリスト 132
ダイヤルリストボタン 24
ダイレクトファンクションアクセスボタン 22
短縮番号 88
短縮番号の登録 111
短縮番号リスト 133

ち
チェーンダイヤルボタン 22
直接入力 86

つ
通信状態ボタン 23
通信管理記録（ジャーナル） 136
通信レポート（メモリ通信結果表） 140
通知先メールアドレス 57
ツールバー 55
ツリーウィンドウ 55

て
データランプ 20
テンキー 20, 102
テンプレート 64
電話帳/短縮/グループボタン 21
電話帳に登録する 100

と
同報（マルチ） 94
同報（マルチ）の宛先確認 96
取り込み先のデバイスを変更する 61

に
入力元 59, 60

ね
ネットワークフォルダに保管 12, 32

の
濃度調整ボタン 20

は
はじめてTWAINドライバを起動するとき 49
半角英数字入力モード 103
半角英数字の入力 106
半角カタカナ入力モード 102
半角カタカナの入力 106

ひ
表示メニュー
　更新 55
　サムネイルサイズ 55
　詳細 55
　並べ替え 55
　リスト 55
ひらがな入力モード 102
ひらがなの入力 105

ふ
ファイル形式を変更する 82
ファイルの保存先を変更する 82
ファイルメニュー
　削除 54
　閉じる 54
　取込み 54
　プロパティ 54
ファクス通信ランプ 19
ファクスボタン 19
ファクスを利用するスキャン機能 14
フォルダ 58, 59
復活送信ボタン 23
ブックパネル 21, 22
プリンタボタン 19
文書保存期間 57

へ
ページ数 59
ヘルプ
　バージョン情報 55
　ヘルプ 55
編集機能確認ボタン 19
編集メニュー
　全て選択 54

ほ
ポーリングボタン 23
ボックス情報 57
ボックスの選択
　接続先選択 55
　接続先の検索 55
ボックス文書
　削除 56
ボックス文書を削除する 56
ボックス／文書／ページのプロパティ 57
本機の操作パネルでの操作 44
本体操作パネル 18

ま
マルチボタン 23

め
メインウィンドウ 54
メッセージ表示パネル 19
メニューバー 54

も

文字コード入力 107
文字コード入力モード 103
文字コード表 146
文字入力 100, 101, 104
文字の修正 108
戻る/取消ボタン 20

ゆ

優先送信ボタン 23

よ

用紙サイズボタン 20
用紙トレイボタン 20
予約リストボタン 24

り

リセットボタン 19
リダイヤル/ポーズボタン 21
両面原稿をスキャンする 83

わ

割り込みボタン 18
ワンタッチ番号の登録 116
ワンタッチボタン 22, 87
ワンタッチリスト 135

東芝デジタル複合機
スキャンガイド

GA-1200J

＜開発・製造元＞
東芝テック株式会社

＜販売元＞
東芝テックビジネスソリューション株式会社

QUALITY SERVICE

R061120D1302-TTEC
Ver02　2008-06

© 2007, 2008 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved